



(地Ⅲ20)

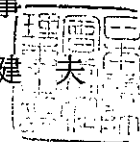
平成20年4月17日

都道府県医師会

担当理事 殿

日本医師会 常任理事

内田 健夫



「都道府県別死因の分析結果について」の送付について

時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて今般、厚生労働省では、死因には地域差がありその地域差をもたらす要因は様々であると考えられますが、国民ならびに地方自治体等が現状を把握し、今後の生活習慣や施策の見直しにつなげるための参考資料となることを目的として、標記の分析結果を公表しました。

つきましては、本分析結果及びその概要をお送りいたしますので、ご活用いただきますようよろしくお願い申し上げます。

甲	乙	丙	丁	戊	己	庚	辛	壬	癸

## 都道府県別死因の分析結果について (概要)

平成18年人口動態統計(厚生労働省)の死亡数及び推計人口(総務省統計局)を用いて、都道府県別の標準化死亡比を算出した。死因には地域差があり、その地域差をもたらす要因は様々であると考えられるが、国民ならびに地方自治体等が現状を把握し、今後の生活習慣や施策の見直しにつなげるための参考資料となることを目的として公表するものである。

本概要では、疾患毎の死因の多い都道府県及び少ない都道府県を列挙し、参考として各疾患の主な危険因子を記載した。全都道府県の標準化死亡比については「都道府県別死因の分析結果について(平成20年3月厚生労働省老健局老人保健課)」を参照されたい。

## (1) 脳血管疾患

## 多い都道府県

	男	女
1	岩手県	岩手県
2	青森県	秋田県
3	秋田県	栃木県

## 少ない都道府県

	男	女
1	奈良県	沖縄県
2	香川県	香川県
3	沖縄県	大阪府

(参考) 脳血管疾患の主な危険因子：高血圧症、糖尿病、喫煙 等

## (2) 心疾患

## 多い都道府県

	男	女
1	青森県	愛媛県
2	愛媛県	岐阜県
3	和歌山県	奈良県

## 少ない都道府県

	男	女
1	福岡県	福岡県
2	富山県	沖縄県
3	沖縄県	富山県

(参考) 虚血性心疾患の主な危険因子：高コレステロール血症、高血圧症、喫煙、糖尿病 等

## (3) 糖尿病

## 多い都道府県

	男	女
1	徳島県	沖縄県
2	茨城県	徳島県
3	栃木県	栃木県

## 少ない都道府県

	男	女
1	奈良県	長崎県
2	愛知県	高知県
3	岐阜県	宮崎県

(参考) 糖尿病の主な危険因子：肥満 等

(4) 胃がん

多い都道府県

	男	女
1	秋田県	秋田県
2	山形県	富山県
3	茨城県	山形県

少ない都道府県

	男	女
1	沖縄県	沖縄県
2	鹿児島県	鹿児島県
3	熊本県	大分県

(参考) 胃がんの主な危険因子：喫煙、食塩、ヘリコバクターピロリの持続感染 等

(5) 肺がん

多い都道府県

	男	女
1	和歌山県	北海道
2	北海道	大阪府
3	京都府	福岡県

少ない都道府県

	男	女
1	長野県	長野県
2	宮崎県	山梨県
3	神奈川県	高知県

(参考) 肺がんの主な危険因子：喫煙、受動喫煙、アスベスト等の職業及び一般環境曝露 等

(6) 大腸がん

多い都道府県

	男	女
1	青森県	青森県
2	秋田県	佐賀県
3	東京都	東京都

少ない都道府県

	男	女
1	熊本県	熊本県
2	岡山県	愛媛県
3	長野県	三重県

(参考) 大腸がんの主な危険因子：家族歴、過体重、肥満、喫煙、飲酒、加工肉 等

(7) 肝がん

多い都道府県

	男	女
1	福岡県	佐賀県
2	佐賀県	福岡県
3	広島県	大阪府

少ない都道府県

	男	女
1	岩手県	沖縄県
2	沖縄県	秋田県
3	新潟県	富山県

(参考) 肝がんの主な危険因子：肝炎ウイルスの持続感染、大量飲酒、喫煙 等

(8) 子宮がん

多い都道府県

	女
1	熊本県
2	埼玉県
3	福岡県

少ない都道府県

	女
1	富山県
2	福井県
3	石川県

(参考) 子宮がんの主な危険因子

- ・ 子宮頸がん：HPV（ヒューマンパピローウイルス）感染、喫煙、経口避妊薬 等
- ・ 子宮体がん：閉経年齢が遅い、出産歴なし、肥満 等

(9) 乳がん

多い都道府県

	女
1	東京都
2	青森県
3	愛媛県

少ない都道府県

	女
1	三重県
2	鹿児島県
3	広島県

(参考) 乳がんの主な危険因子：経口避妊薬、閉経後のホルモン補充療法、初経年齢が早い、閉経年齢が遅い、出産歴なし、初産年齢が遅い、授乳歴なし、飲酒、家族歴 等

(10) 前立腺がん

多い都道府県

	男
1	宮城県
2	岩手県
3	青森県

少ない都道府県

	男
1	徳島県
2	石川県
3	富山県

(参考) 前立腺がんの主な危険因子：年齢（高年齢）、家族歴 等

(11) 肺炎

多い都道府県

	男	女
1	福岡県	佐賀県
2	佐賀県	福岡県
3	広島県	大阪府

少ない都道府県

	男	女
1	岩手県	沖縄県
2	沖縄県	秋田県
3	新潟県	富山県

(参考) の出典は以下の通り。詳細については各出典を参照されたい。

- (1) (3) 脳卒中対策に関する検討会中間報告書（平成11年）
- (2) 生活習慣病のしおり（生活習慣病予防研究会）
- (4)～(10) 国立がんセンターがん対策情報センターHP「部位別がんのリスク要因・予防要因」

# 都道府県別死因の分析結果について

平成20年3月

厚生労働省老健局老人保健課

## 都道府県別死因の分析結果について

### 1. 標準化死亡比(SMR)について

標準化死亡比においては、平成16年、平成17年及び平成18年の各年の人口動態統計(年報 厚生労働省大臣官房統計情報部)の死亡数及び各年の推計人口(総務省 統計局。ただし、平成17年については国勢調査)を用いた。

### 2. 対象疾患

以下の傷病を対象とした。

- (1)脳血管疾患 (2)心疾患 (3)糖尿病 (4)胃がん
- (5)肺がん (6)大腸がん (7)子宮がん (8)乳がん
- (9)肝がん (10)前立腺がん (11)肺炎

### 3. 結果

- (1)各都道府県別の標準化死亡比について(男女別)
- (2)標準化死亡比にみる各都道府県別の特徴

## \*標準化死亡比 (standardized mortality ratio:SMR)

### (1) 資 料

標準化死亡比においては、平成16年、平成17年及び平成18年の各年の人口動態統計(年報 厚生労働省大臣官房統計情報部)の死亡数及び各年の推計人口(総務省 統計局。ただし、平成17年については国勢調査)を用いた。

### (2) 標準化死亡比(SMR)の計算方法

$$SMR = \frac{D}{\sum pidi} \times 100$$

D : 当該自治体死亡数

pi : 当該自治体5歳階級別人口

di : 基準死亡率 =  $\frac{\text{各年の全国5歳階級死亡数}}{\text{各年の全国5歳階級別人口}}$

\*標準化死亡比は、基準死亡率(di)を当該自治体5歳階級別人口(pi)に乗じて総和したものを期待死亡数( $\sum pidi$ )として、それに対する当該自治体死亡数(D)との比で表している。

$$SMR = \frac{\text{実際の死亡数}}{\text{期待死亡数}} \times 100$$

### (3) 標準化死亡比について

死亡率は通常年齢によって大きな違いがあることから、異なった年齢構成を持つ地域別の死亡率をそのまま比較することはできない。比較を可能にするためには標準的な年齢構成に合わせて、地域別年齢階級別の死亡率を算出して比較する必要がある。

標準化死亡比は、基準死亡率(人口10万対の死亡数)を対象地域に当てはめた場合に、計算により求められる期待される死亡数と実際に観察された死亡数とを比較するものである。我が国の平均を100としており、標準化死亡比が100以上の場合は我が国の平均より死亡率が多いと判断され、100以下の場合は死亡率が低いと判断される。

標準化死亡比は、基準死亡率と対象地域の人口を用いれば簡単に計算できるので地域別の比較によく用いられる。

(参考)

A県 死亡率:23.6(人口千対) SMR:111.3

\*標準化死亡比(SMR)の計算

年齢階級	人口構成	死亡期待数	実際の死亡数	SMR
0-14	1,250 (14.2%)	28 (12.50×2.2)		
15-64	6,224 (70.8%)	5,695 (62.24×91.5)		
65-	1,315 (15.0%)	12,888 (13.15×980.1)		
計	8,789	18,611	20,716	111.3

※ 基準死亡率が10万対となっているので、人口も10万単位として計算

B県 死亡率:25.5(人口千対) SMR:96.6

\*標準化死亡比(SMR)の計算

年齢階級	人口構成	死亡期待数	実際の死亡数	SMR
0-14	157 (14.0%)	3 (1.57×2.2)		
15-64	731 (65.2%)	669 (7.31×91.5)		
65-	233 (20.8%)	2,284 (2.33×980.1)		
計	1,121	2,956	2,856	96.6

※ 基準死亡率が10万対となっているので、人口も10万単位として計算

基準死亡率

年齢階級	(人口10万対)
0-14	2.2
15-64	91.5
65-	980.1

(4) 基準死亡率

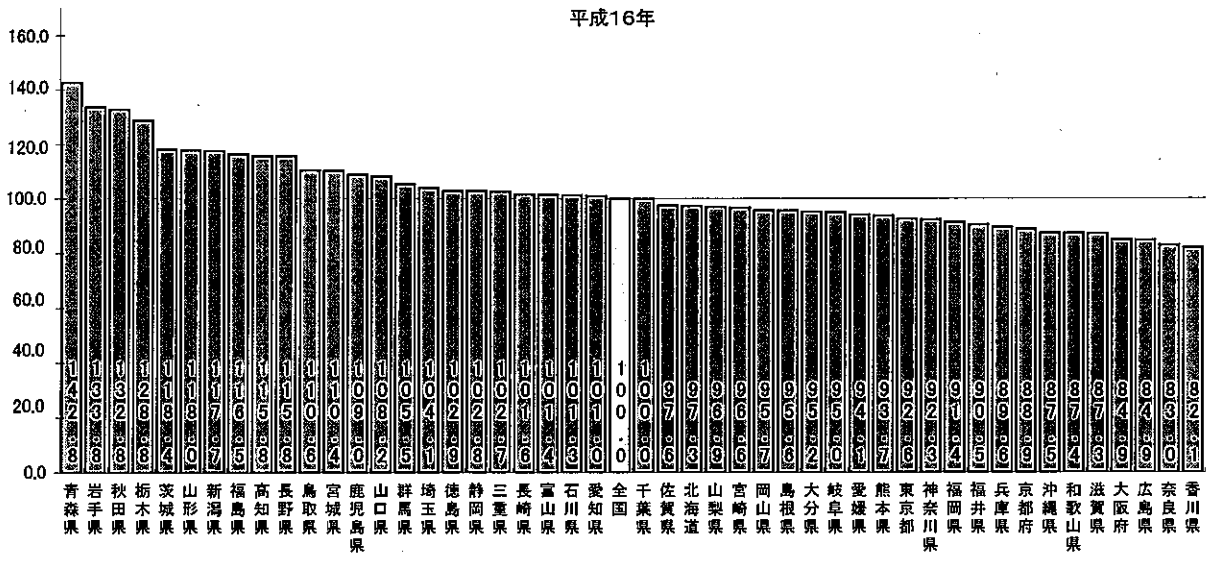
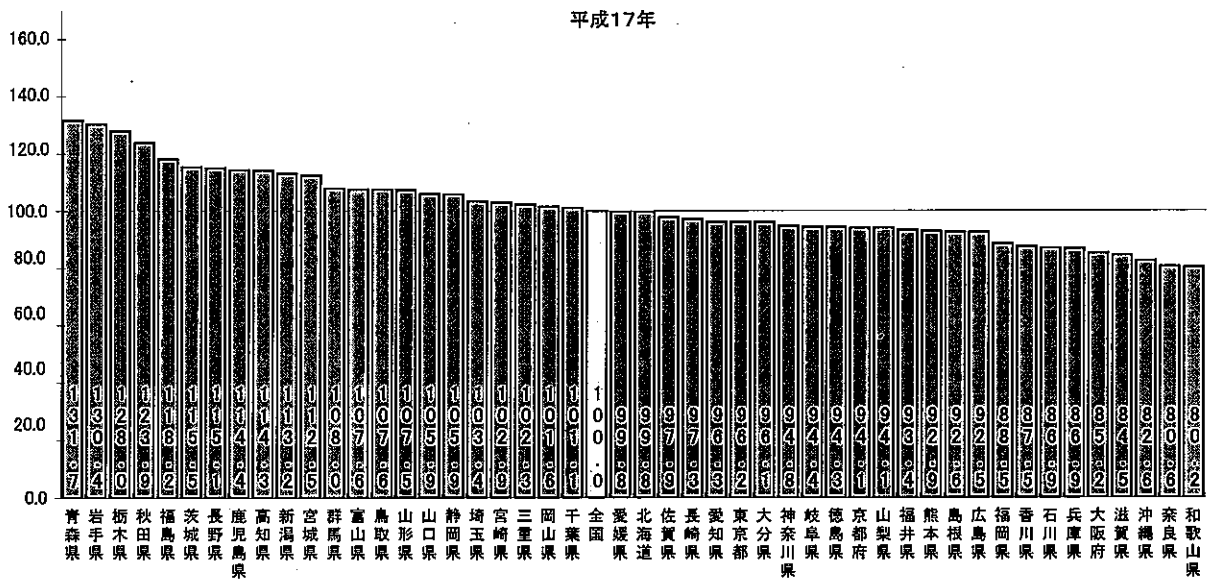
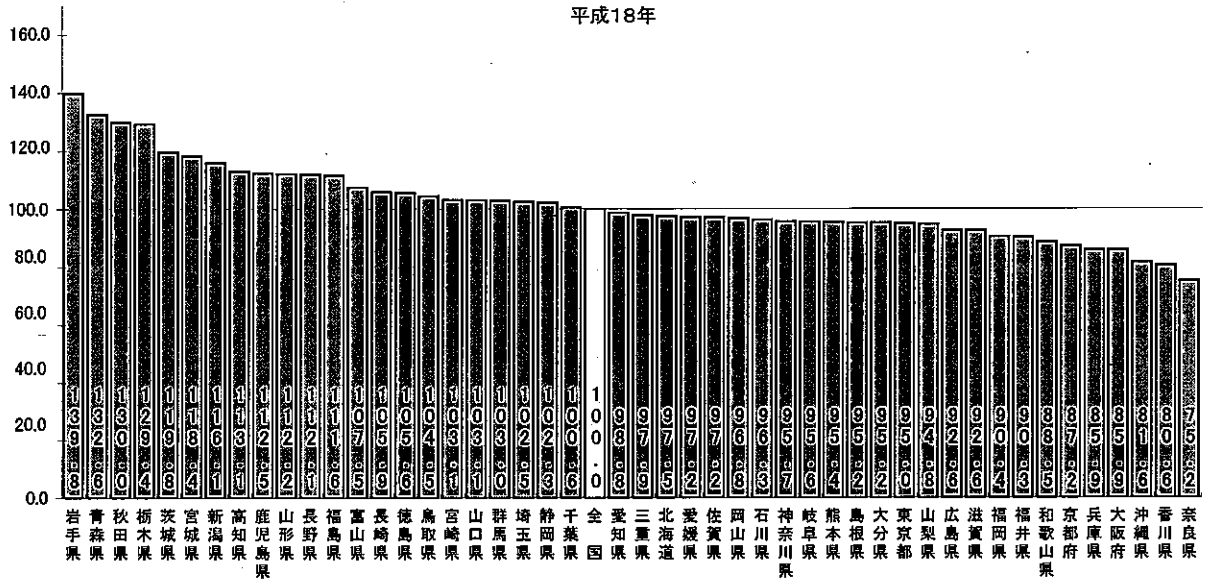
基準死亡率は以下のとおりである

死因名	人口10万対死亡率					
	平成16年		平成17年		平成18年	
	男	女	男	女	男	女
脳血管疾患	98.8	103.2	102.5	106.1	98.4	102.3
心疾患	124.4	125.6	135.3	136.7	132.8	137.8
糖尿病	10.7	9.1	11.5	9.9	11.7	9.8
胃がん	52.7	27.1	52.6	27.1	52.5	27.0
肺がん	70.5	24.5	72.8	25.9	73.7	26.5
大腸がん	35.1	27.8	35.7	28.6	35.9	28.5
肝がん	37.6	17.0	37.4	17.0	36.2	16.9
子宮がん	-	8.4	-	8.2	-	8.4
乳がん	-	16.1	-	16.4	-	17.1
前立腺がん	14.2	-	14.9	-	15.3	-
肺炎	82.4	67.6	92.3	76.5	90.8	77.4



# 都道府県別標準化死亡比 (SMR)

## 脳血管疾患(男)

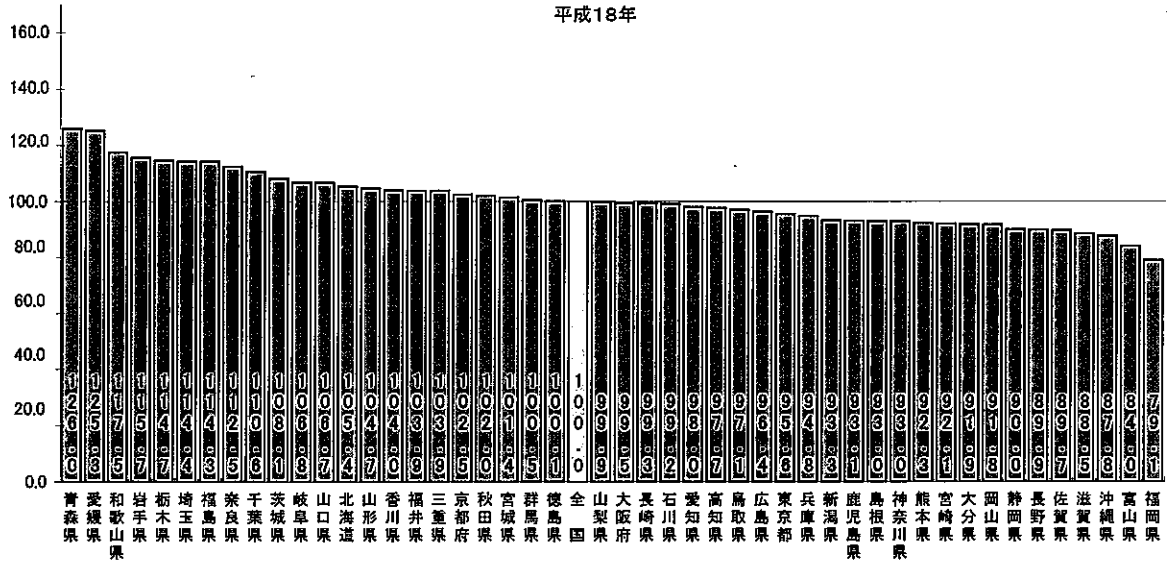




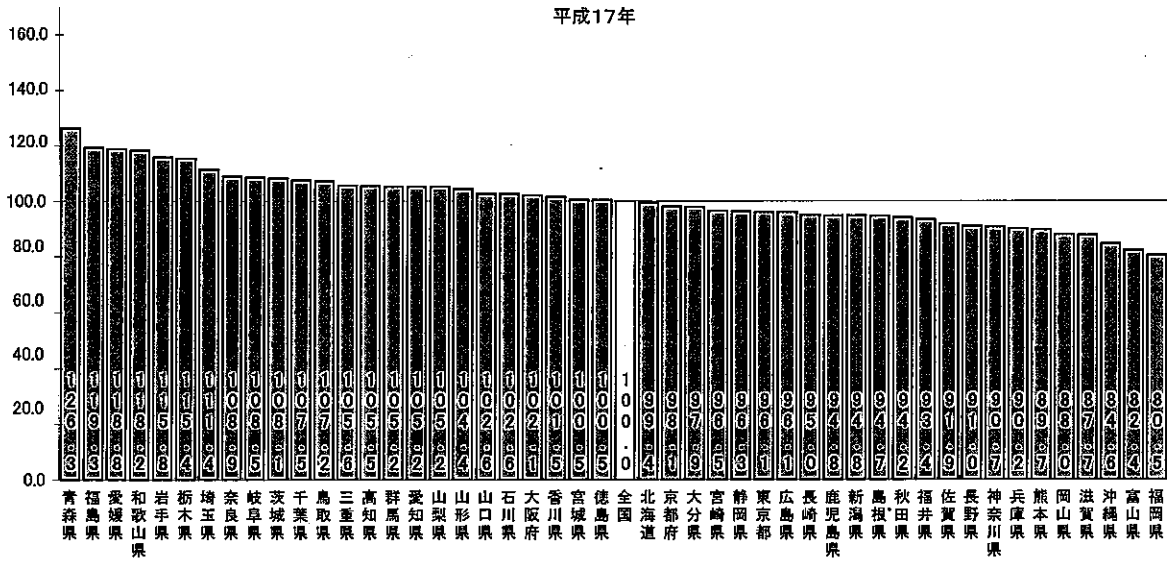
# 都道府県別標準化死亡比 (SMR)

## 心疾患(男)

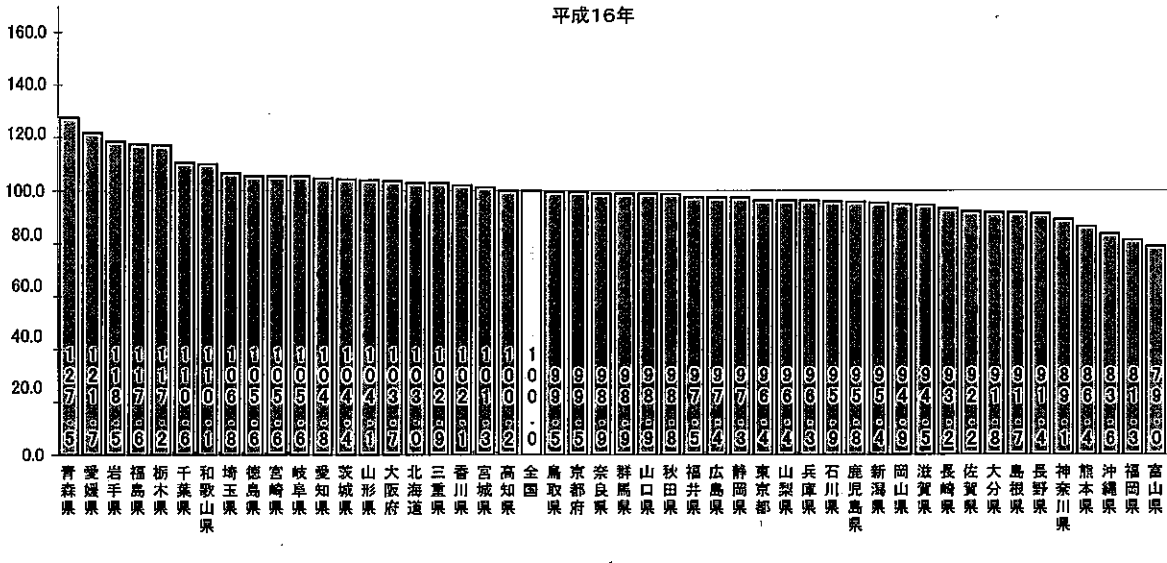
平成18年



平成17年

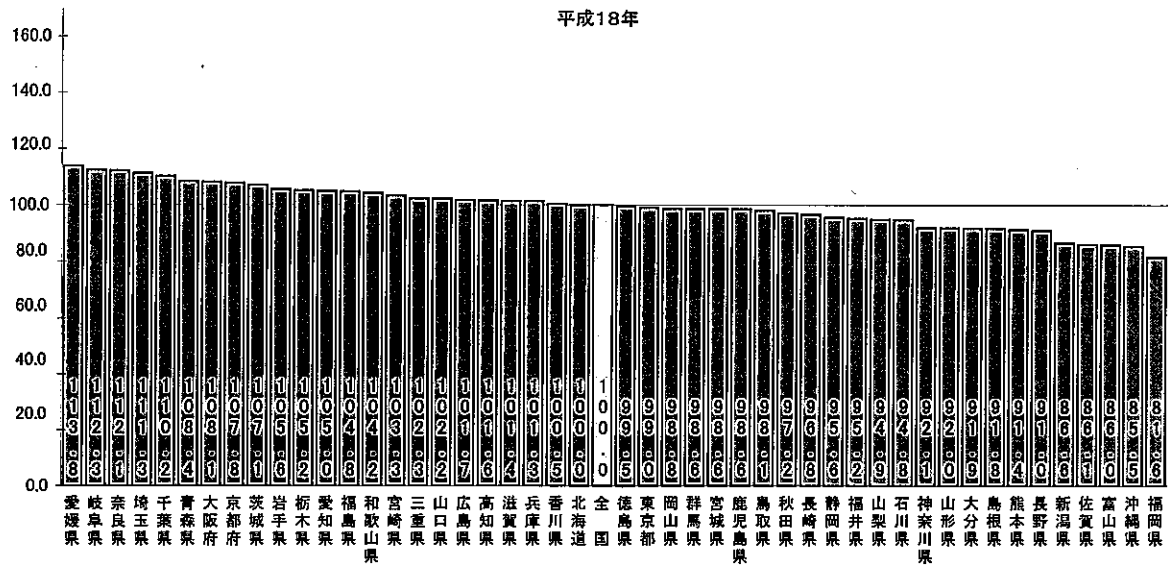


平成16年



# 都道府県別標準化死亡比 (SMR)

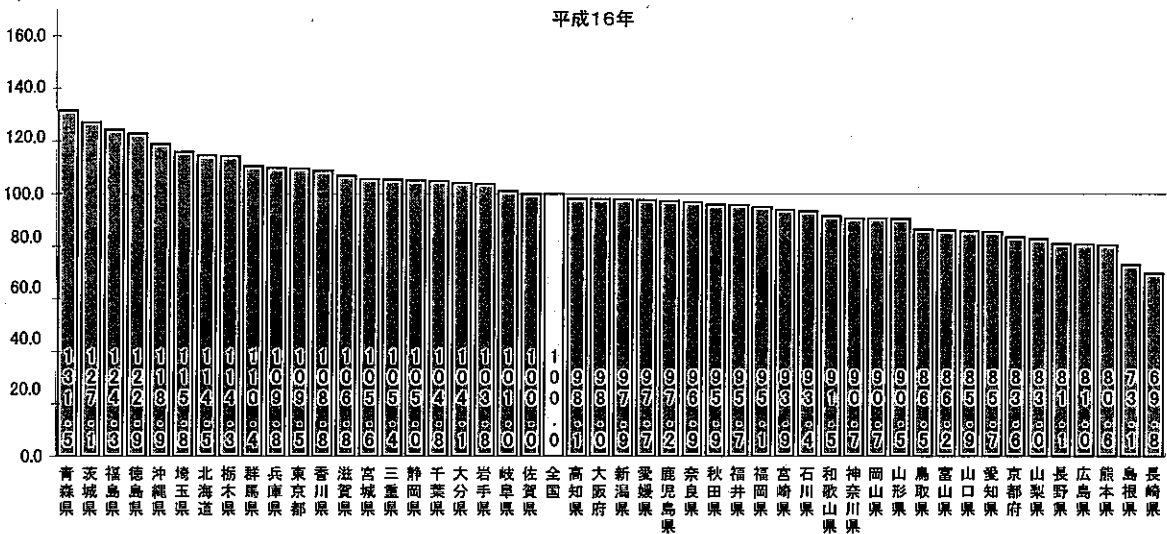
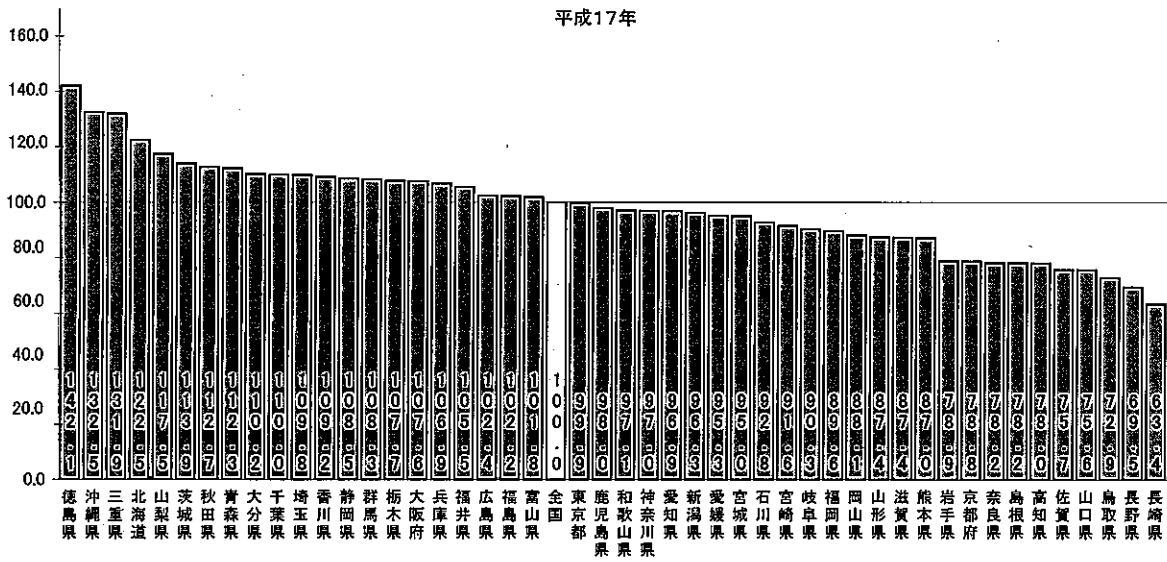
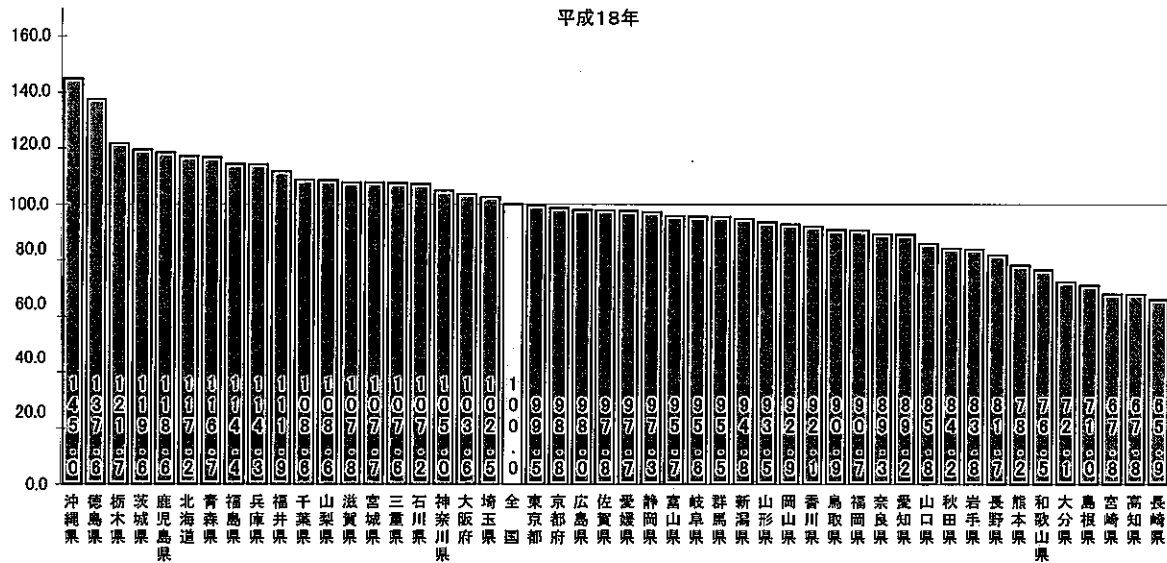
## 心疾患(女)





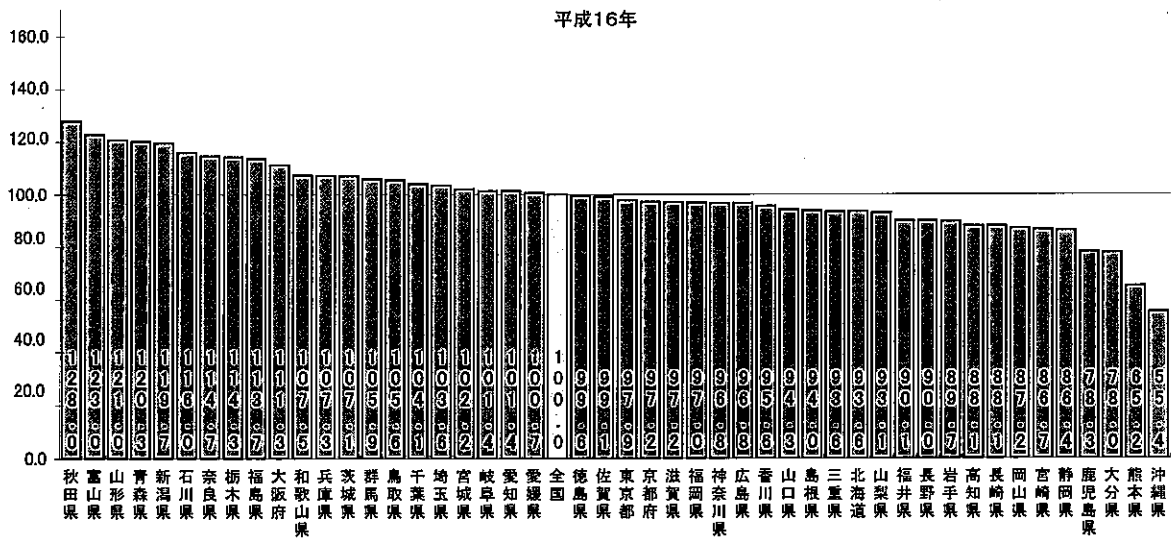
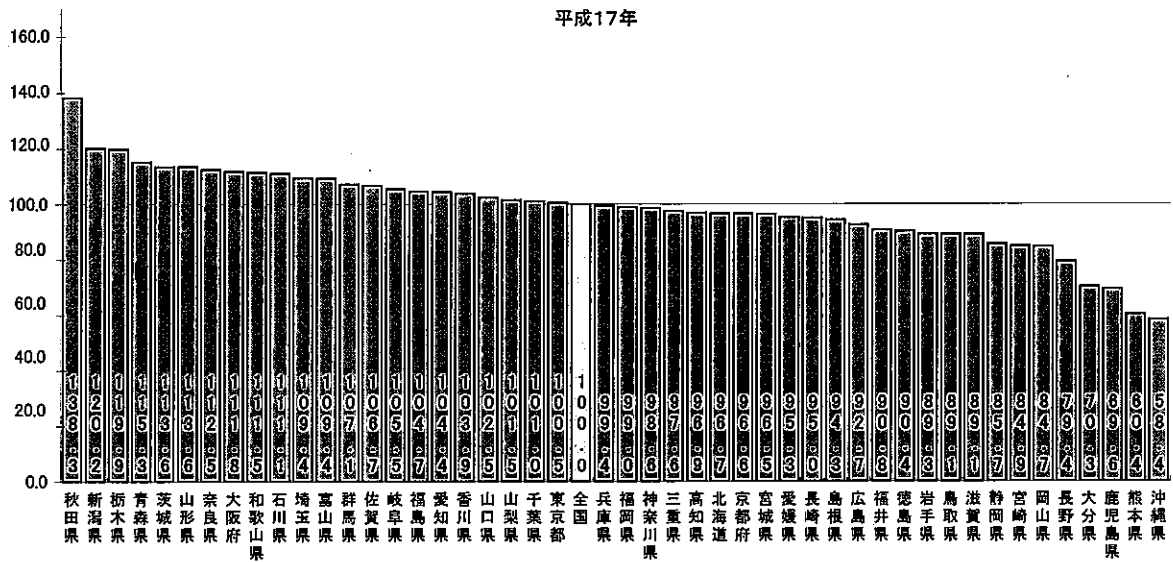
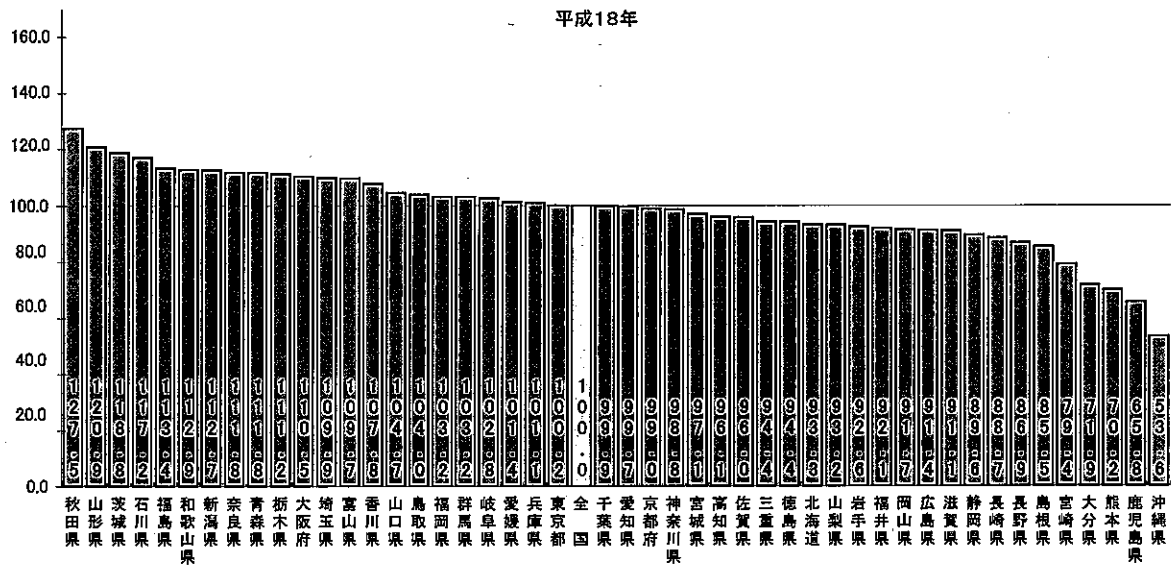
# 都道府県別標準化死亡比 (SMR)

## 糖尿病(女)



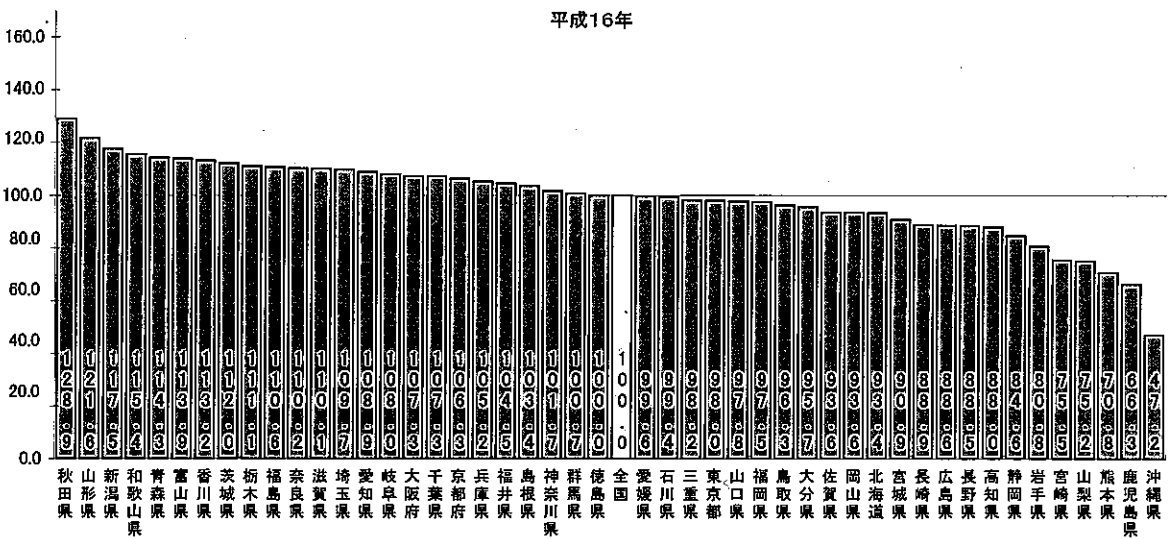
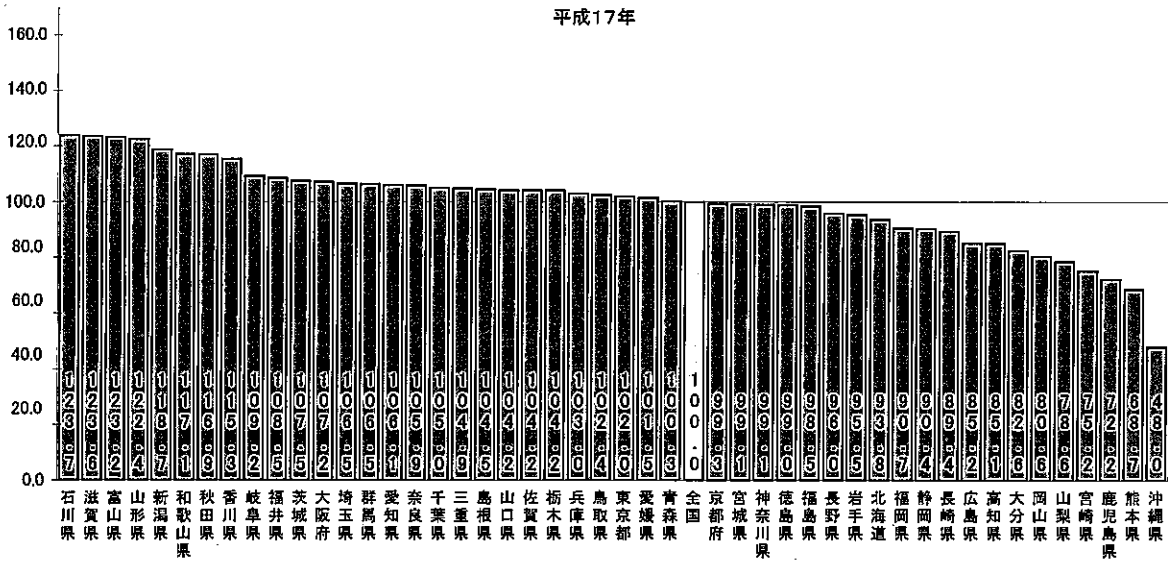
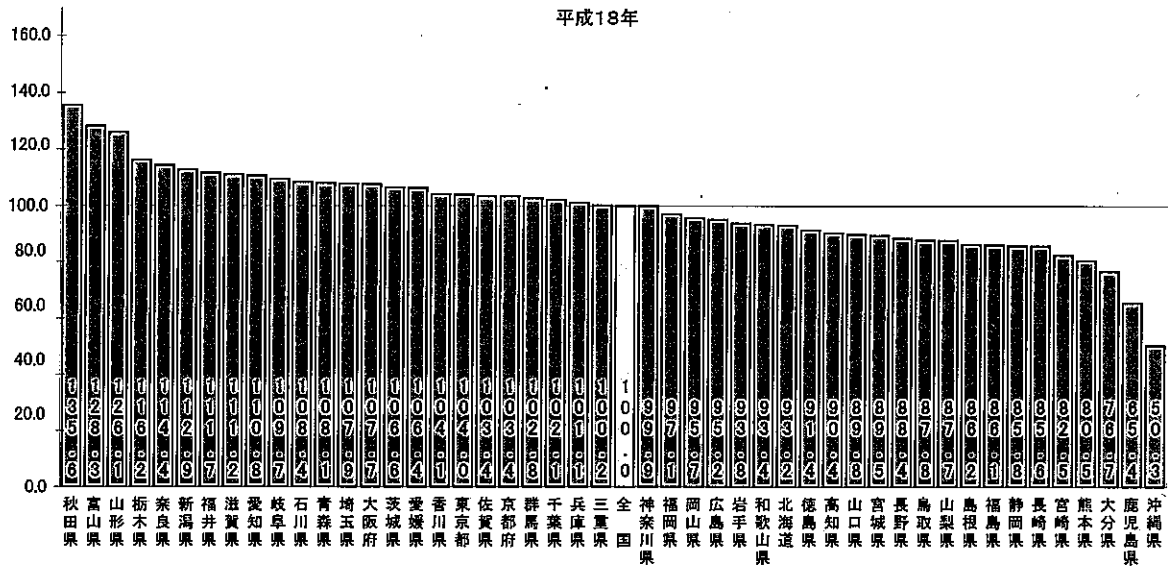
# 都道府県別標準化死亡比 (SMR)

## 胃がん(男)



# 都道府県別標準化死亡比 (SMR)

## 胃がん(女)

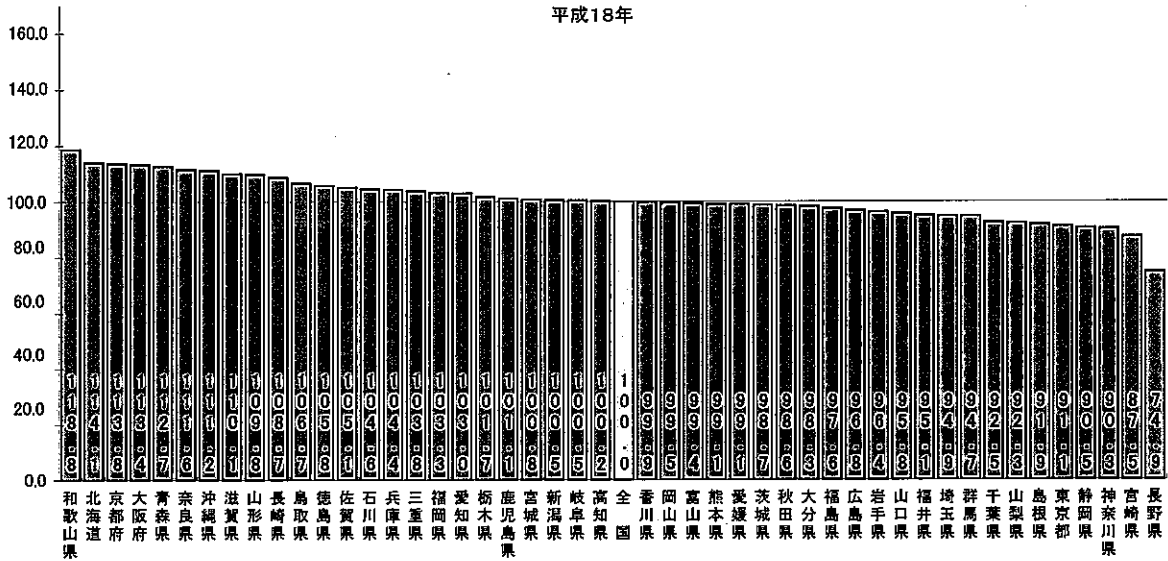




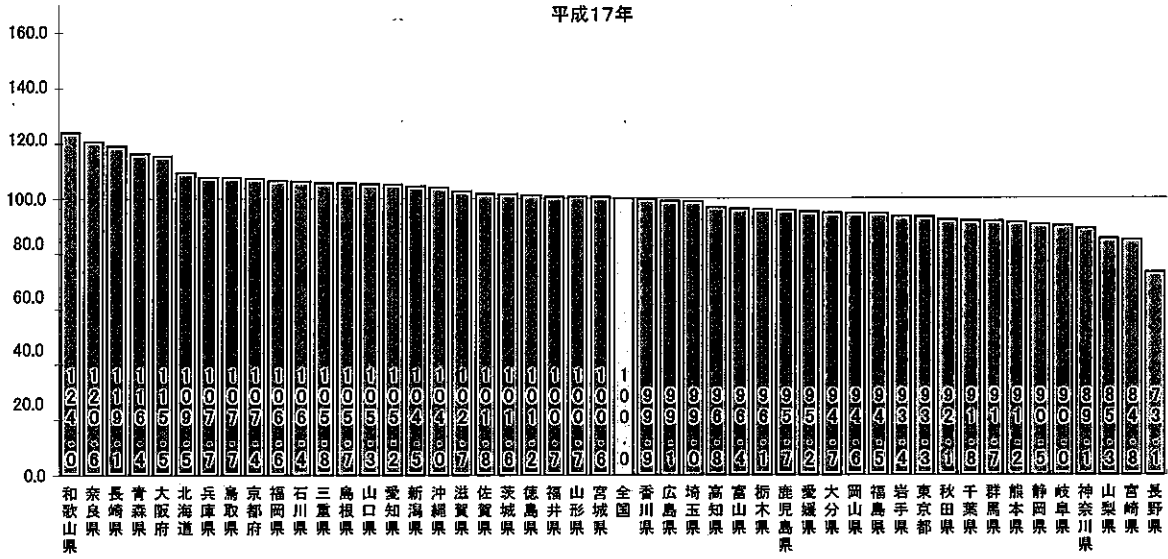
# 都道府県別標準化死亡比 (SMR)

## 肺がん(男)

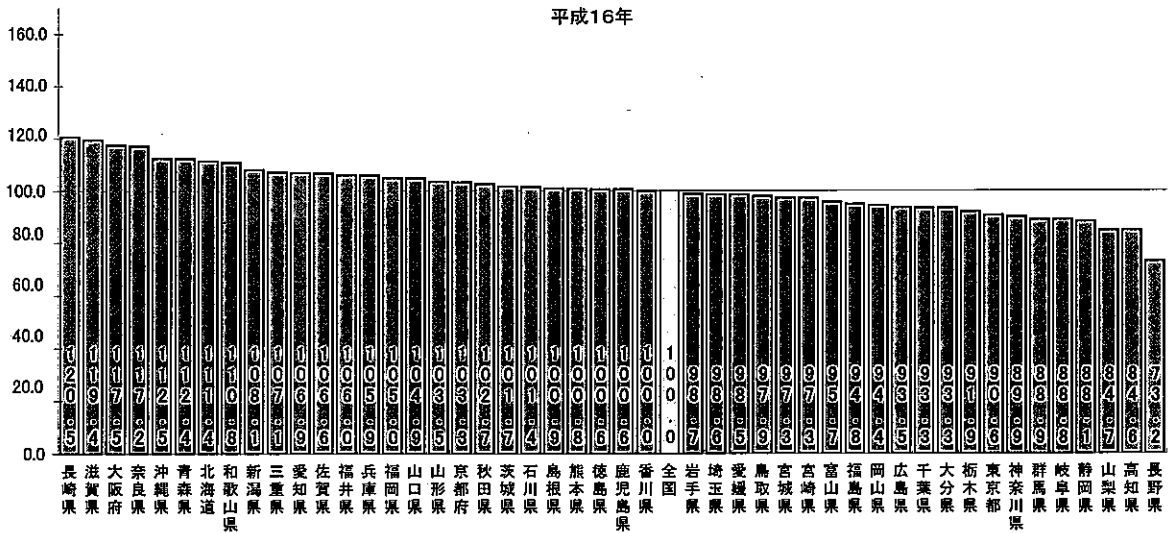
平成18年



平成17年



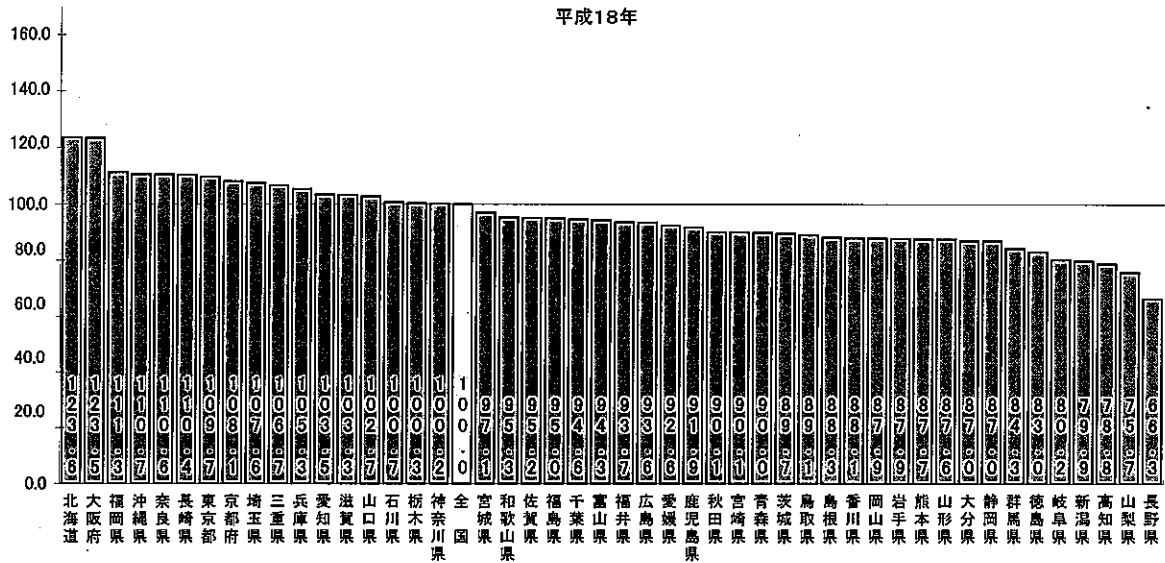
平成16年



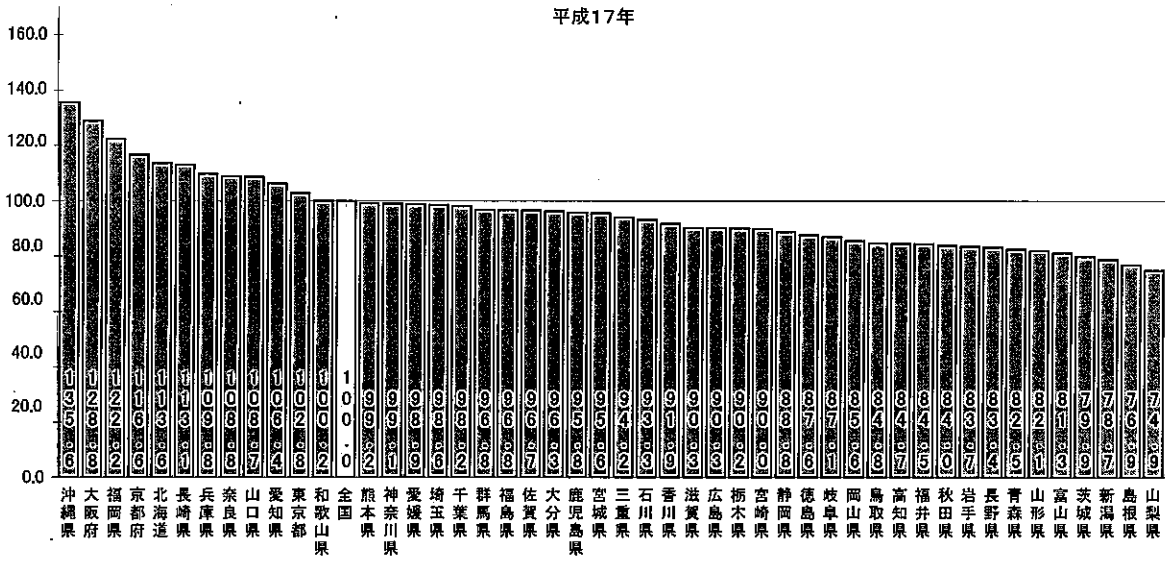
# 都道府県別標準化死亡比 (SMR)

## 肺がん(女)

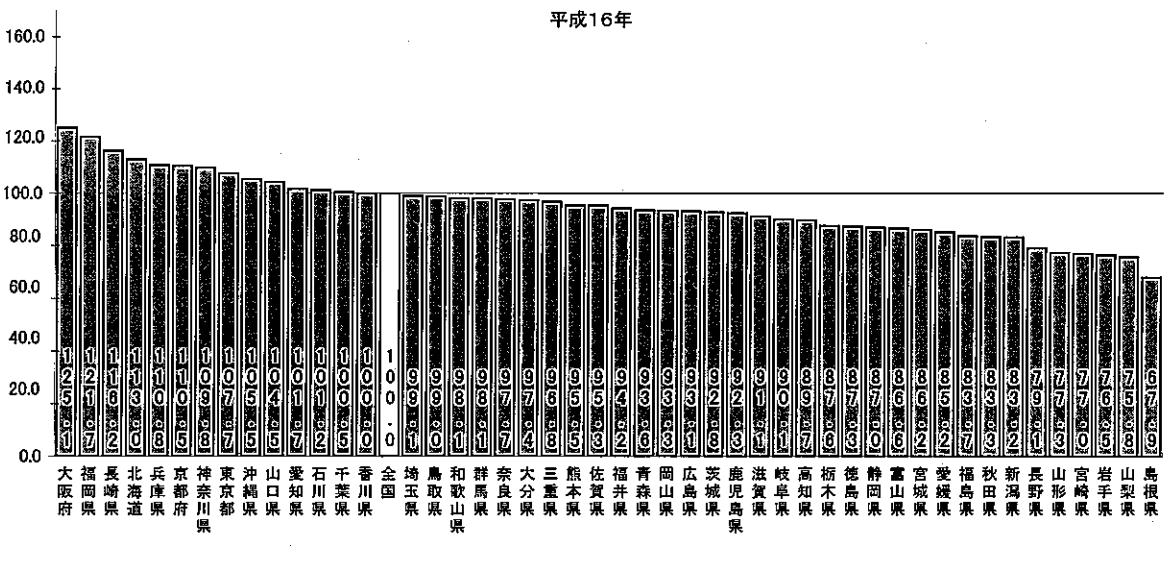
平成18年



平成17年

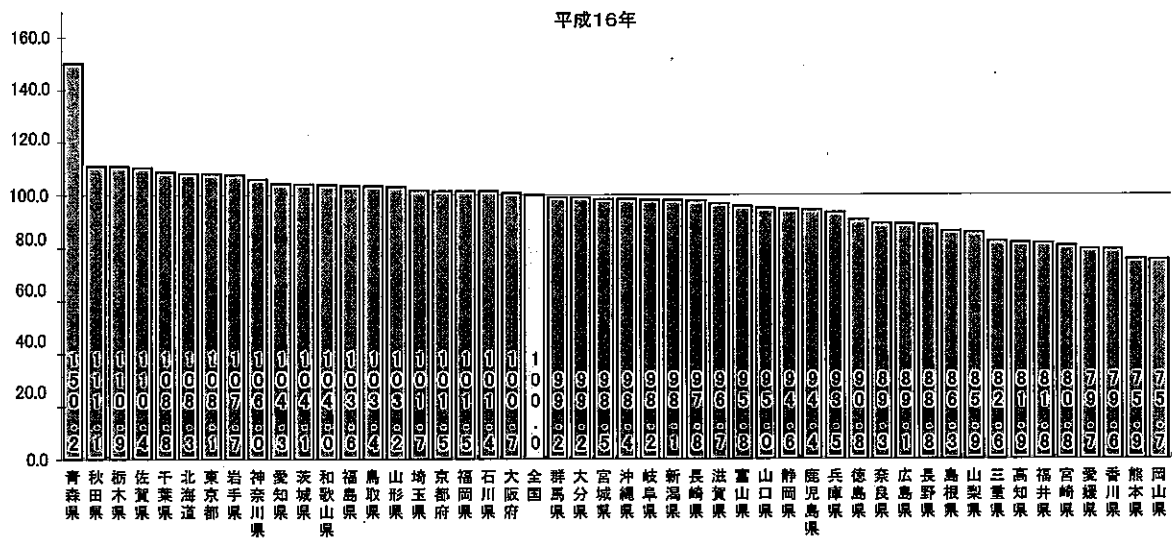
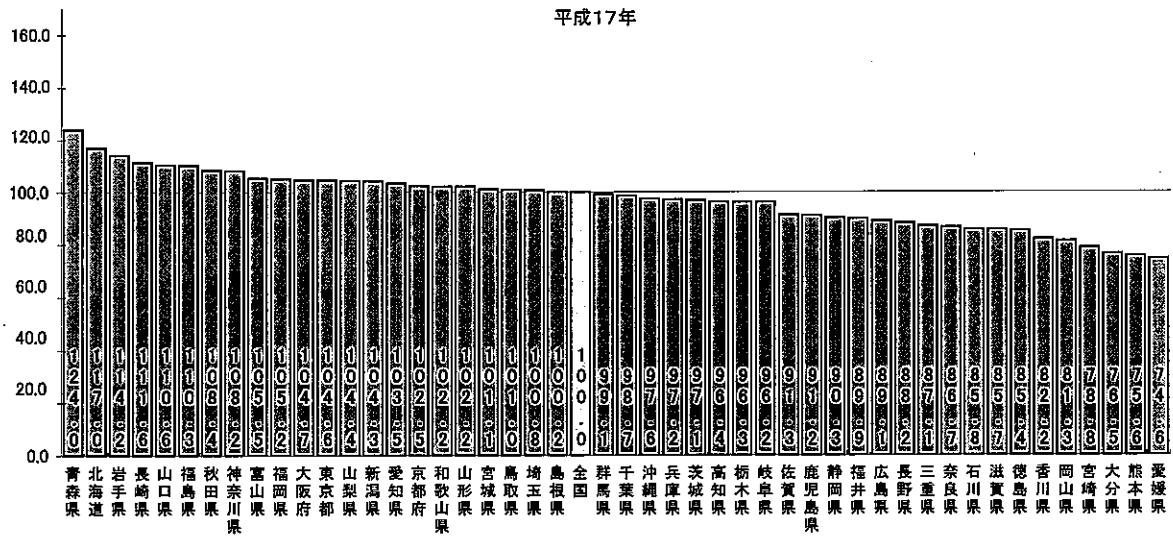
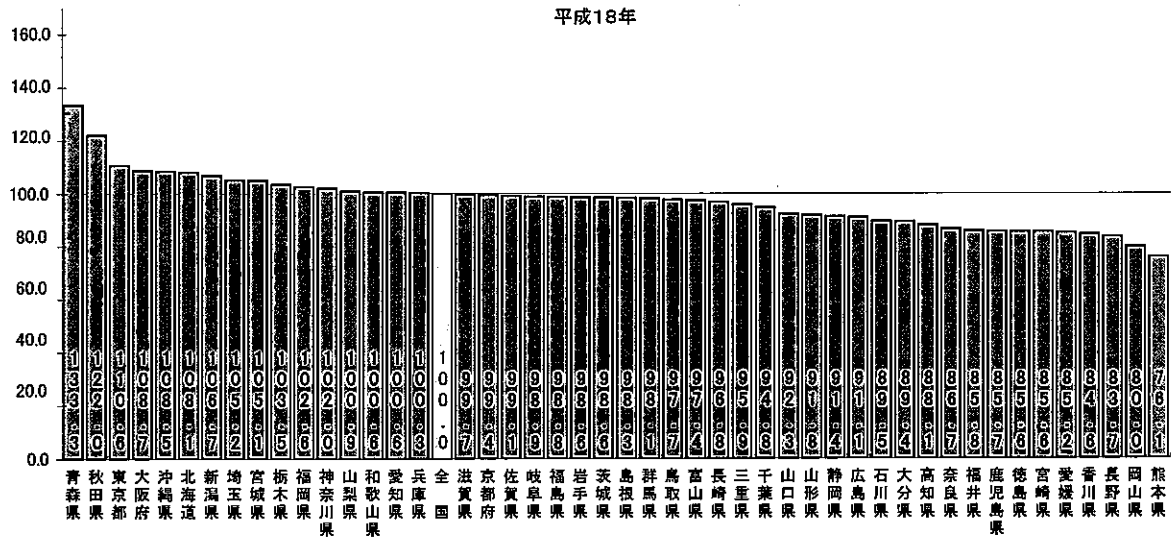


平成16年



# 都道府県別標準化死亡比 (SMR)

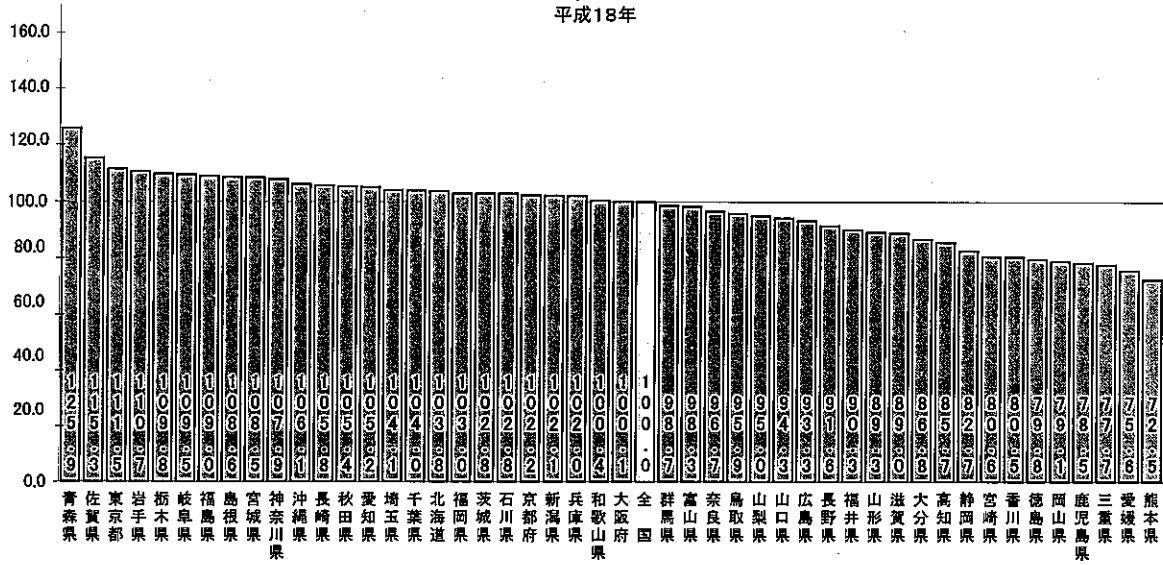
## 大腸がん(男)



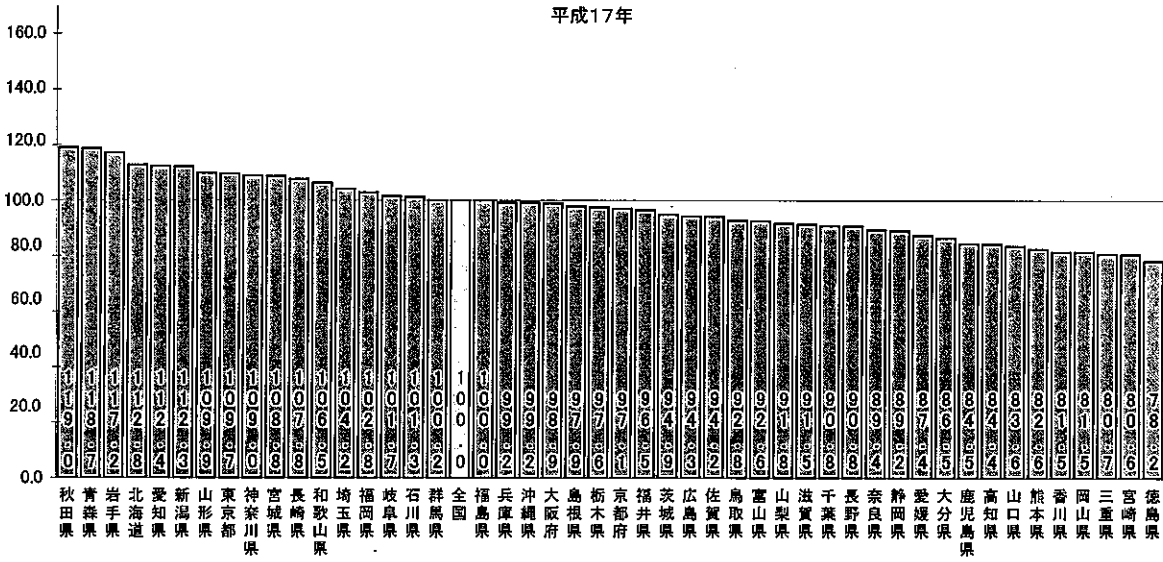
# 都道府県別標準化死亡比 (SMR)

## 大腸がん(女)

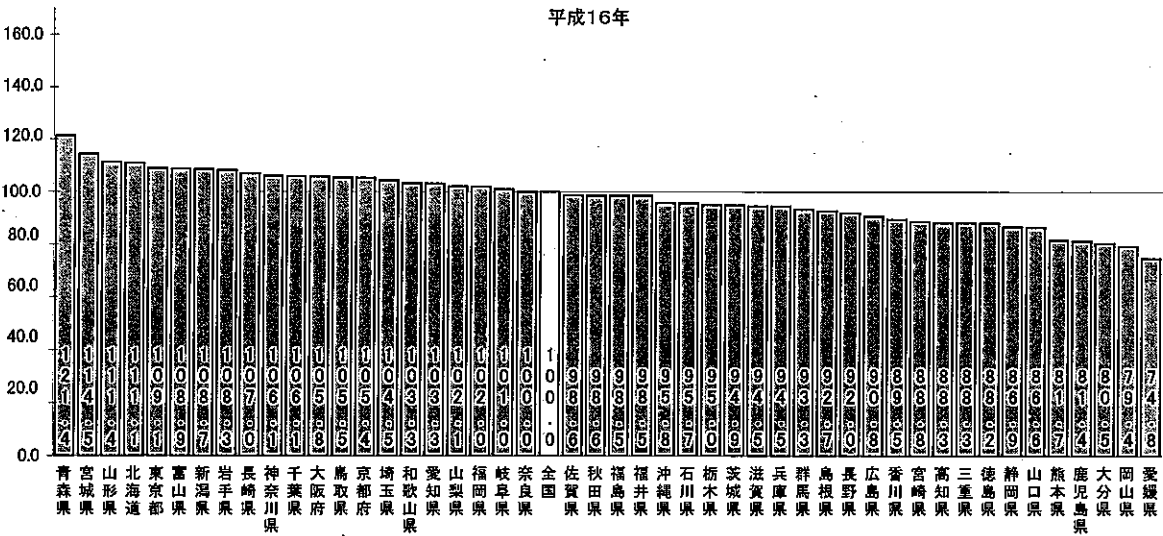
平成18年



平成17年



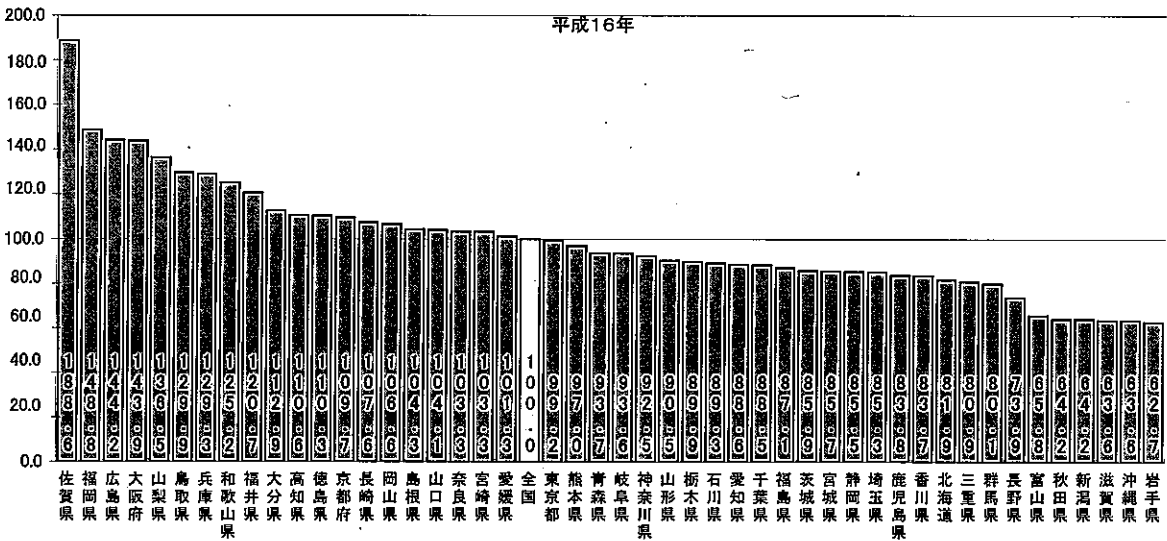
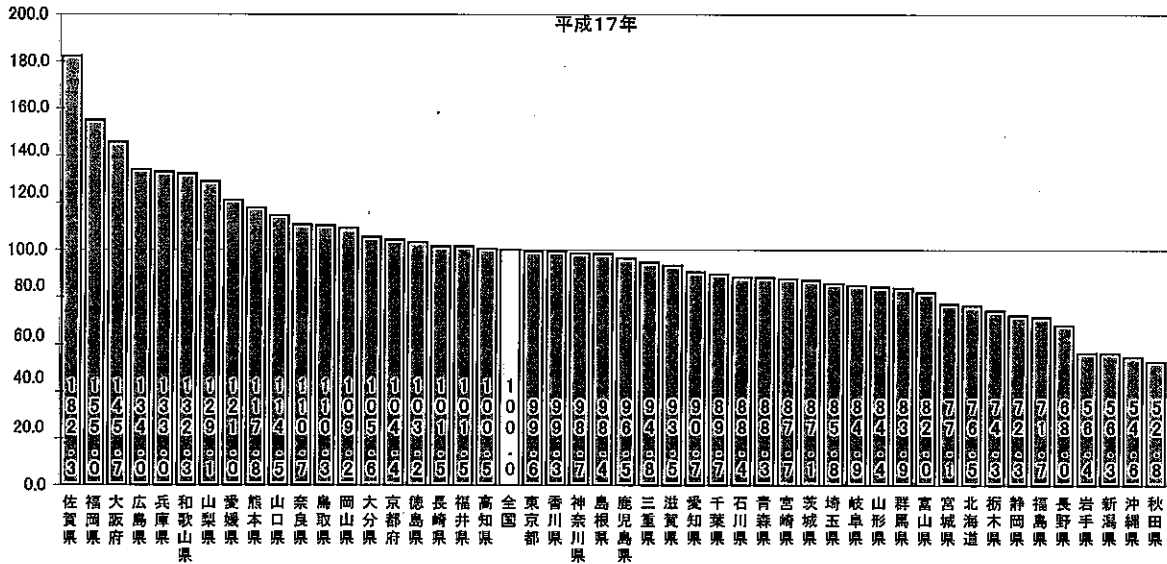
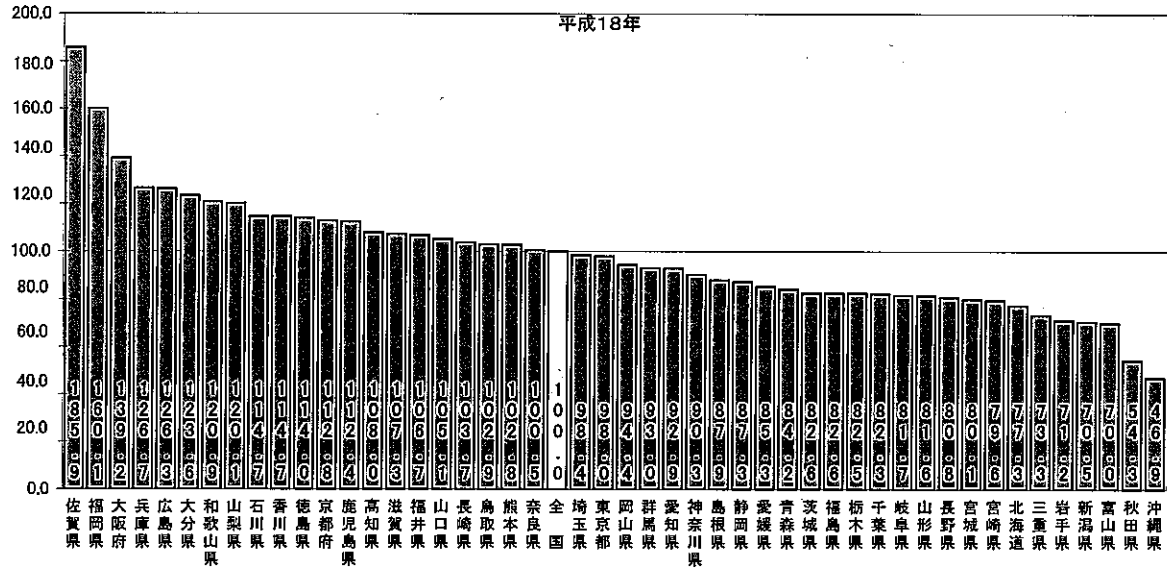
平成16年





# 都道府県別標準化死亡比 (SMR)

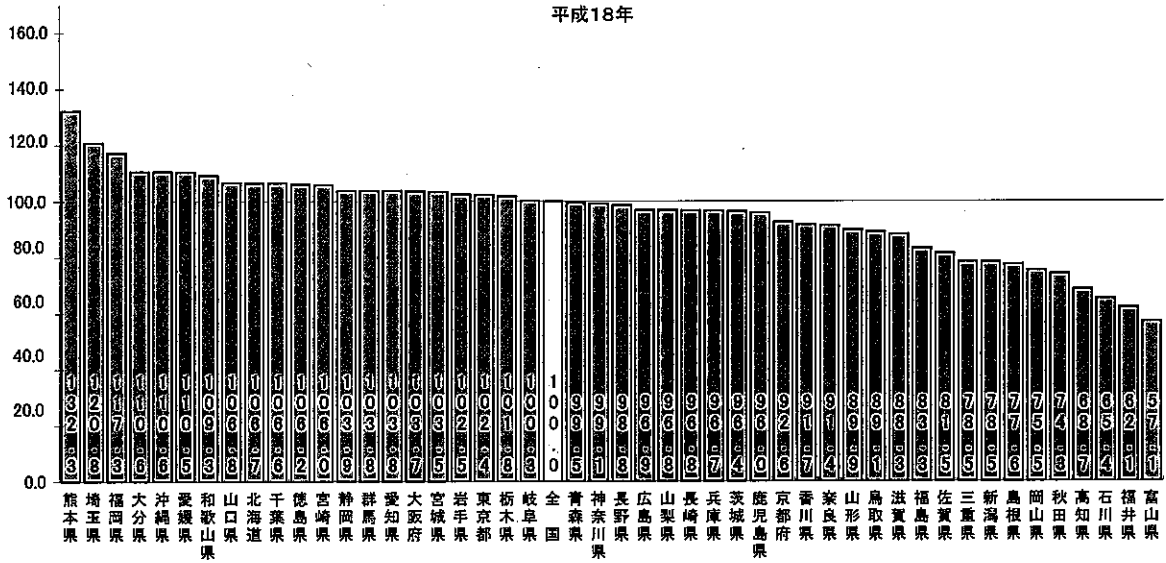
## 肝がん(女)



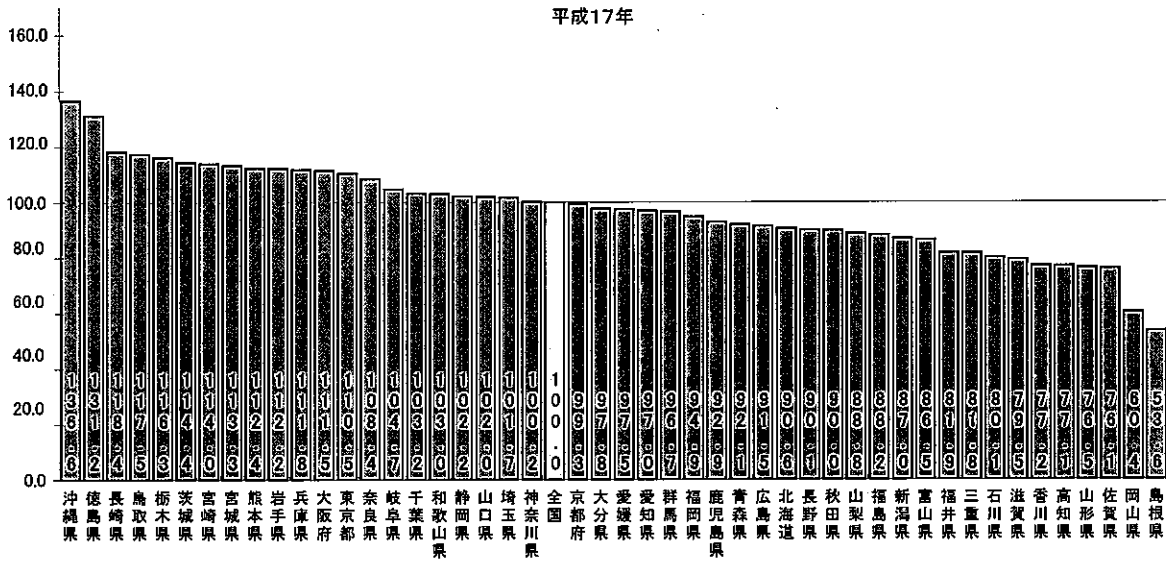
# 都道府県別標準化死亡比 (SMR)

## 子宮がん(女)

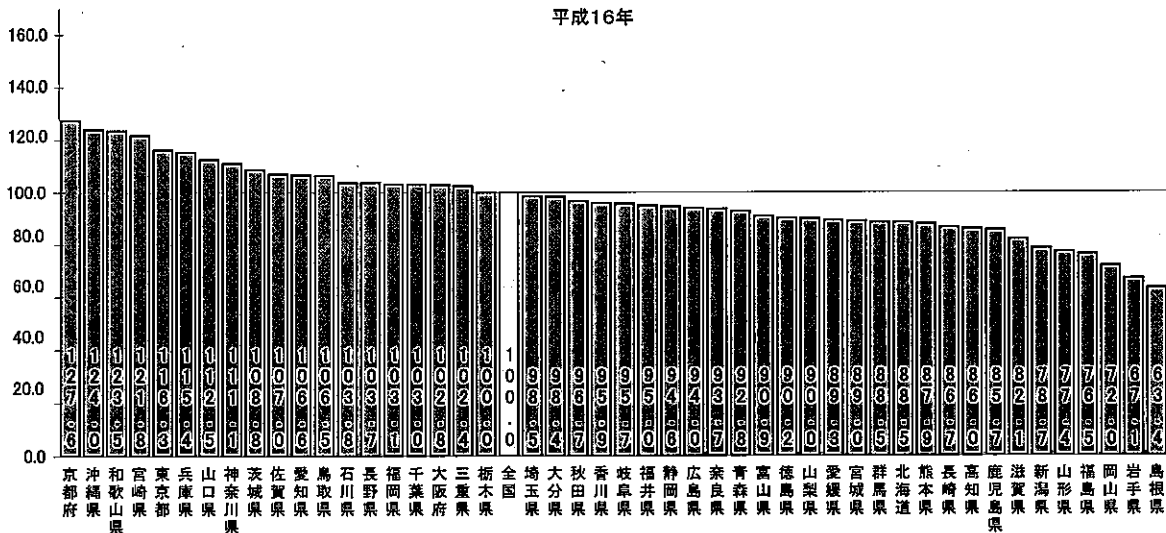
平成18年



平成17年

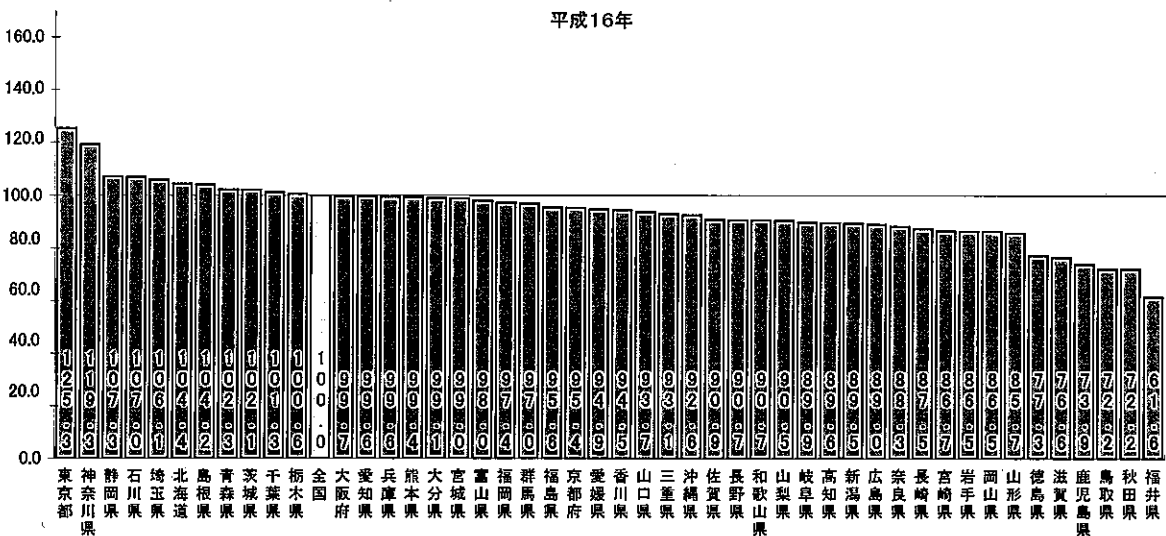
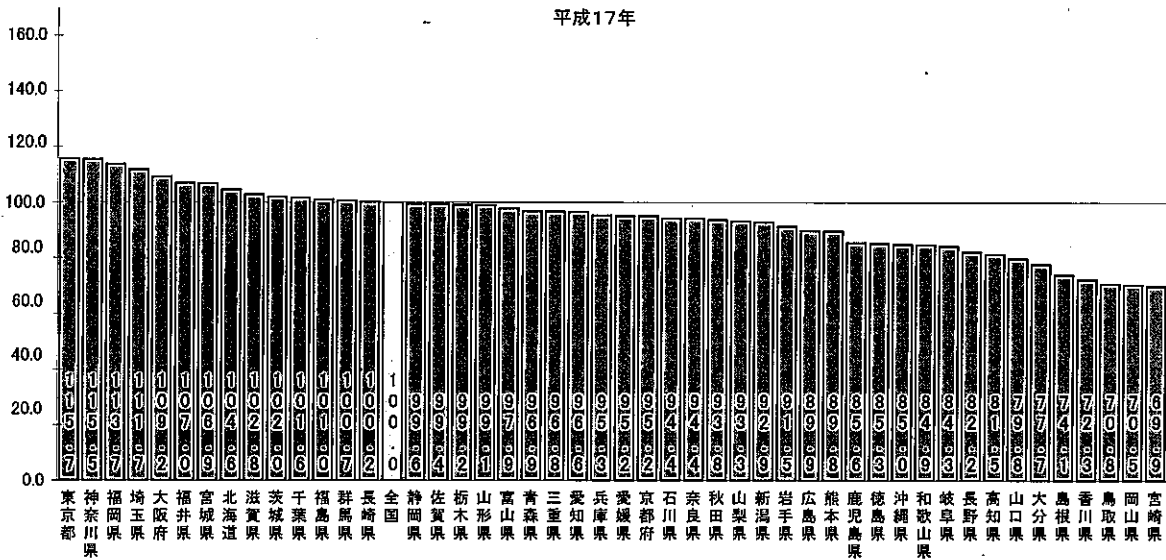
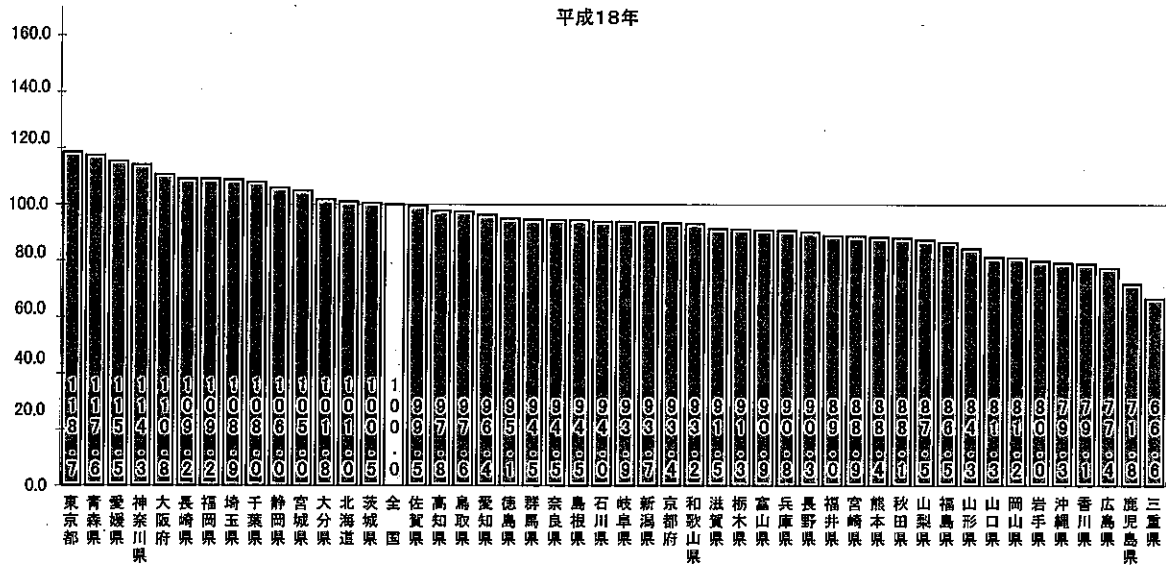


平成16年



# 都道府県別標準化死亡比 (SMR)

## 乳がん(女)

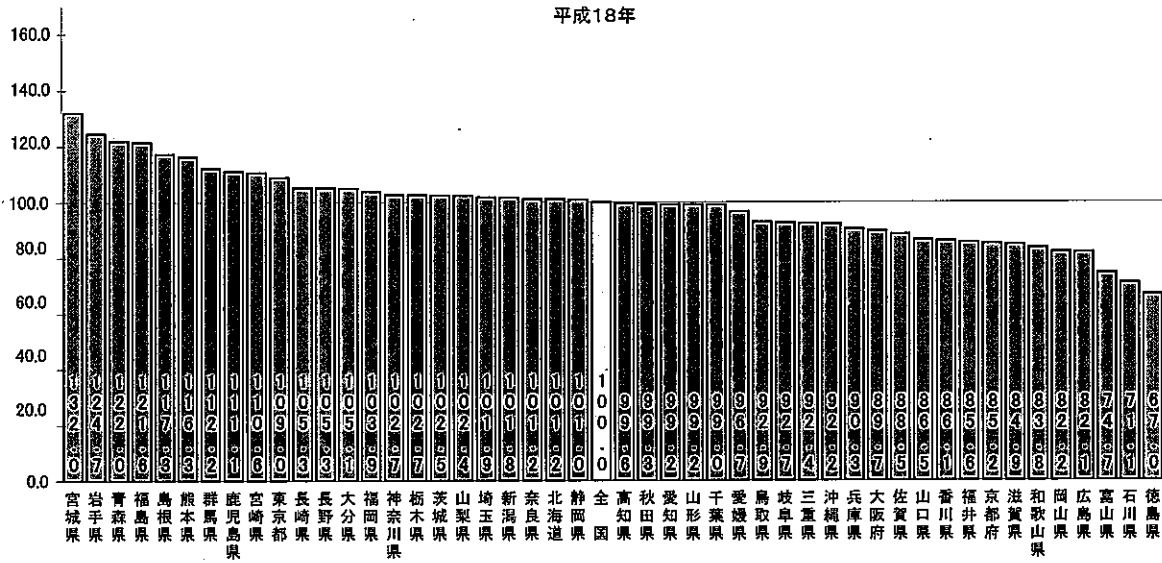




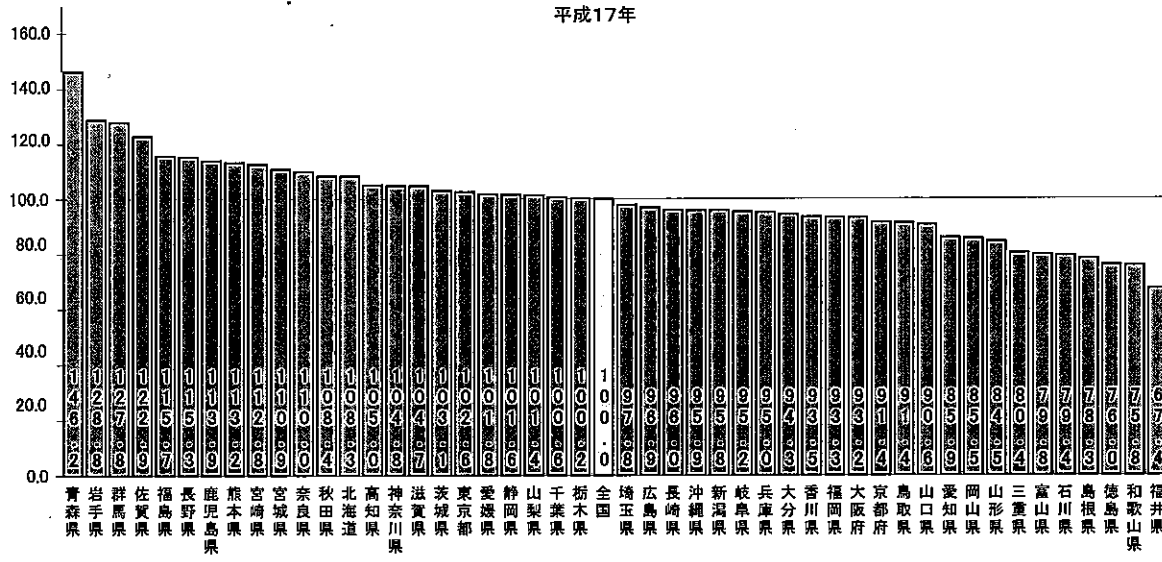
# 都道府県別標準化死亡比 (SMR)

## 前立腺がん(男)

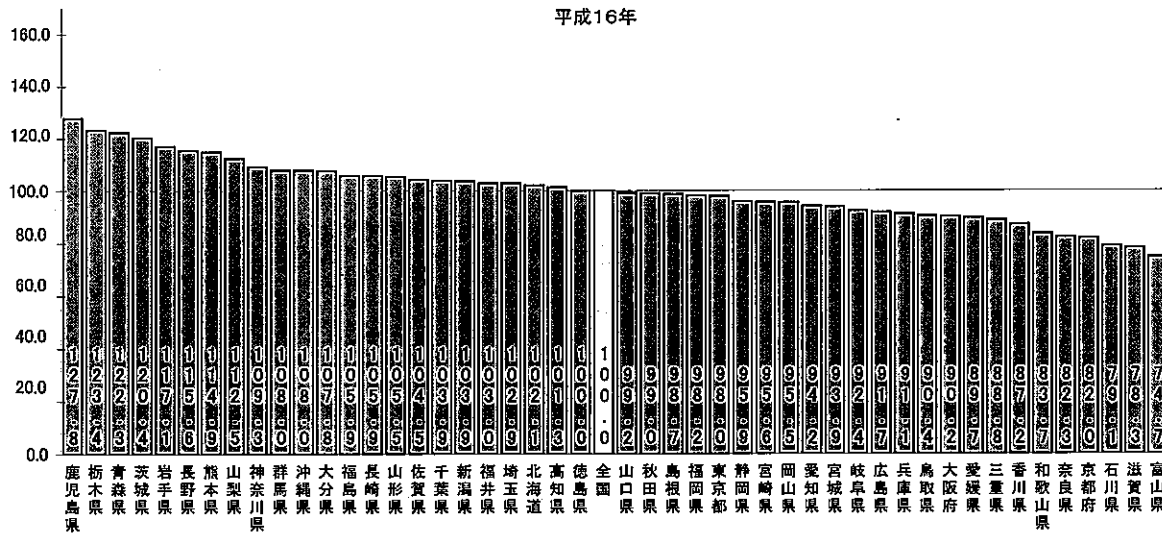
平成18年



平成17年



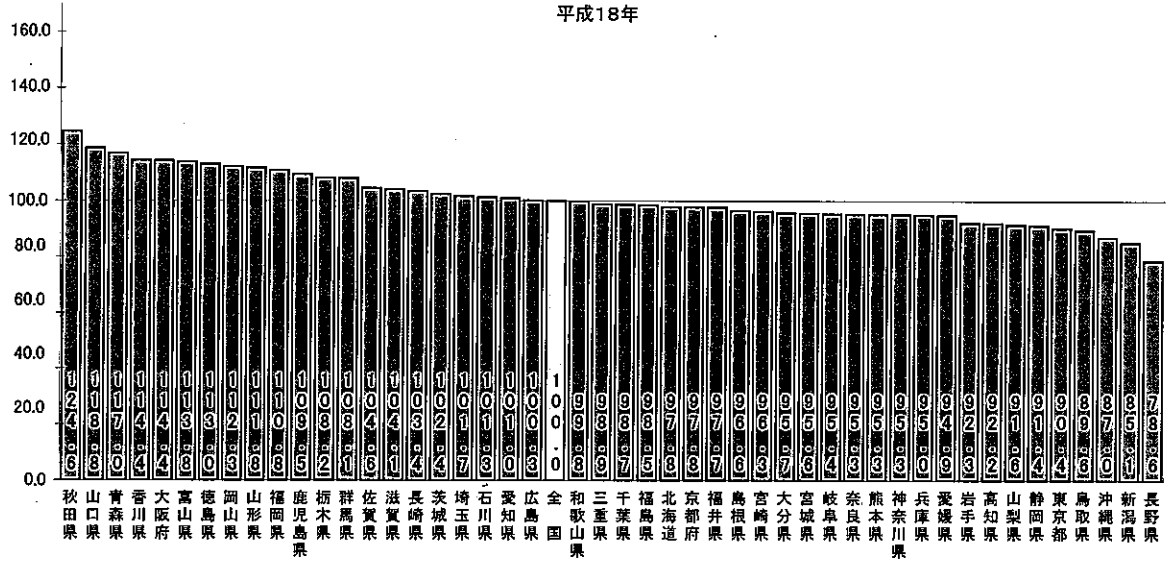
平成16年



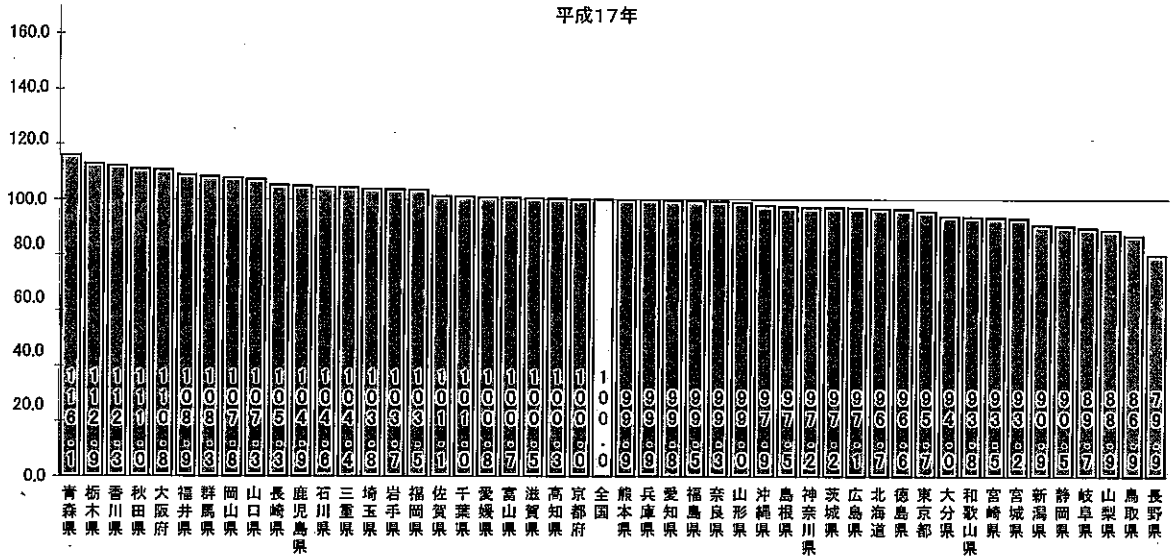
# 都道府県別標準化死亡比 (SMR)

## 肺炎(男)

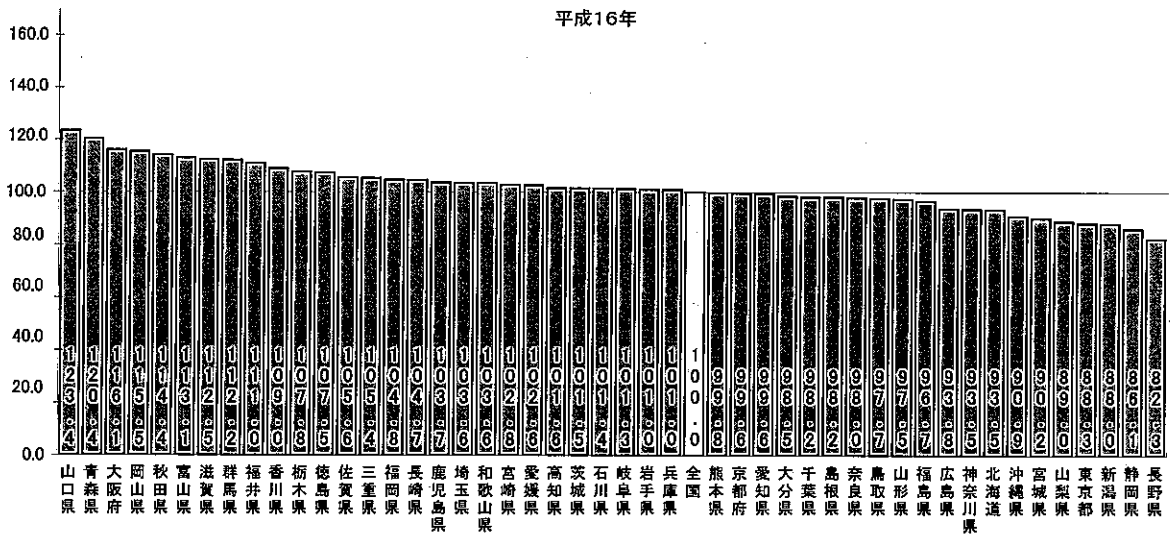
平成18年



平成17年



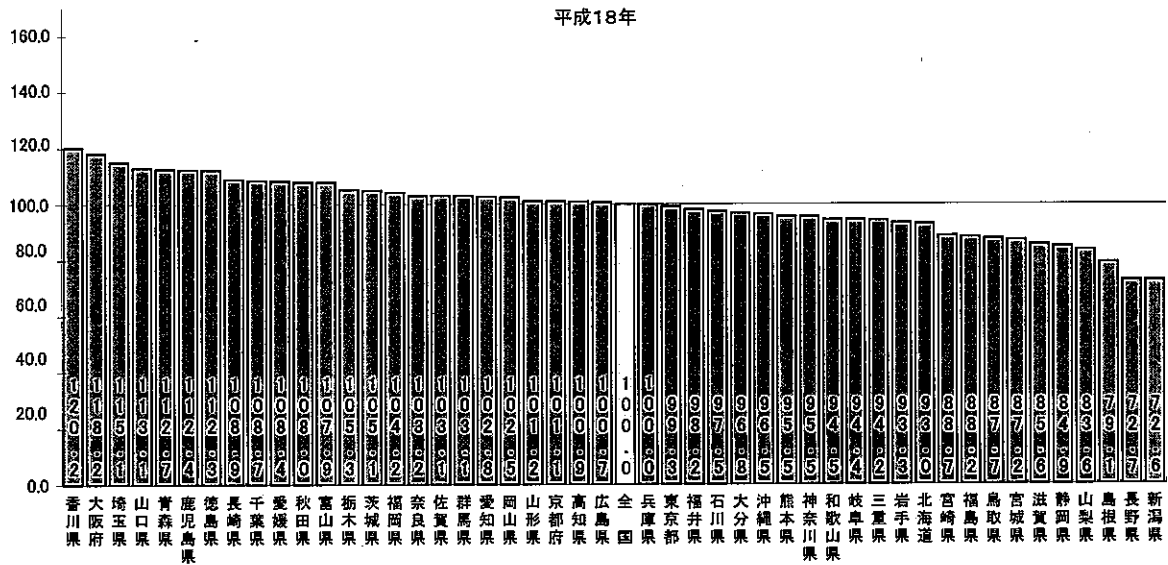
平成16年



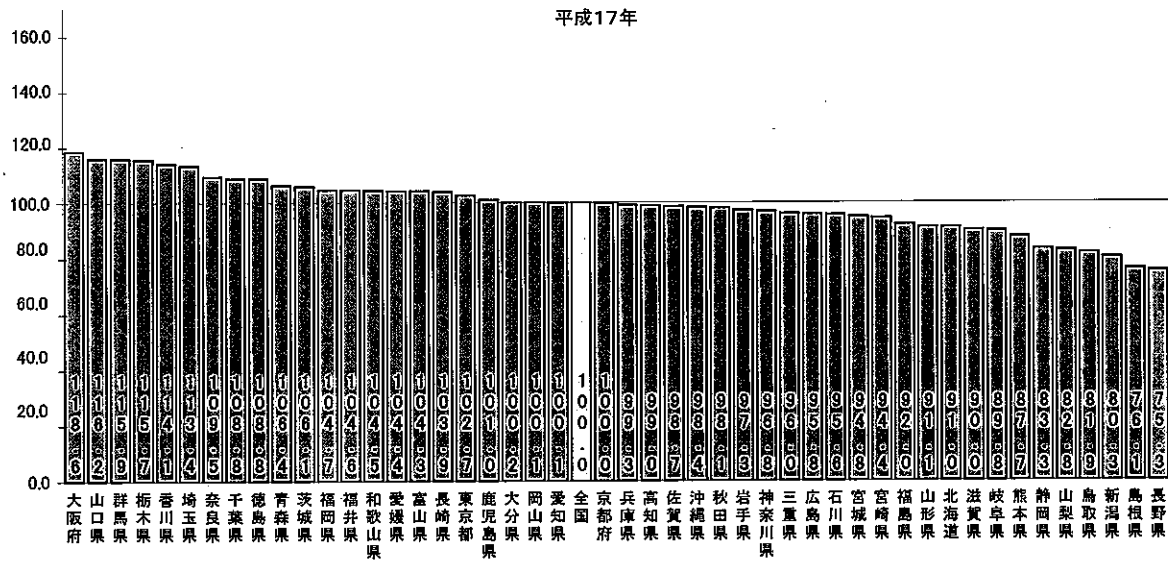
# 都道府県別標準化死亡比 (SMR)

## 肺炎(女)

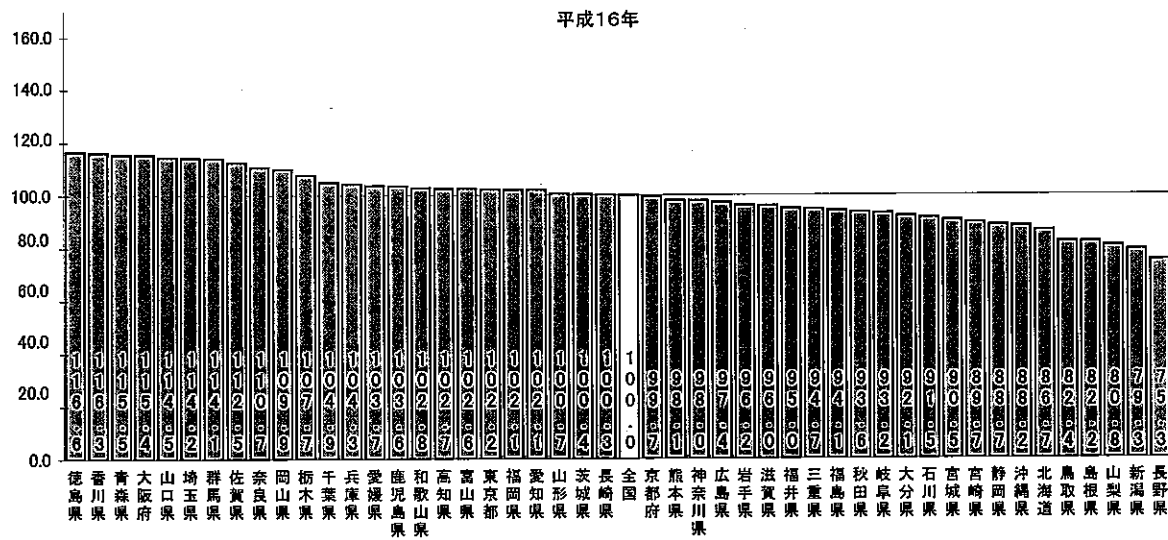
平成18年



平成17年



平成16年



標準化死亡比にみる都道府県別の特徴

都道府県	主な特徴
北海道	男性は肺がん、大腸がんがやや多い。 女性は糖尿病、肺がんが多く、大腸がんがやや多い。
青森県	男性は脳血管疾患、心疾患、糖尿病、胃がん、大腸がん、前立腺がん、肺炎が多く、肺がんがやや多い。 女性は脳血管疾患、糖尿病、大腸がんが多く、心疾患、胃がん、乳がん、肺炎がやや多い。
岩手県	男性は脳血管疾患、心疾患、前立腺がんが多く、大腸がんがやや多い。 女性は脳血管疾患が多く、大腸がんがやや多い。
宮城県	男性は脳血管疾患、前立腺がんがやや多い。 女性は脳血管疾患、大腸がんがやや多い。
秋田県	男性は脳血管疾患、胃がん、肺炎が多く、大腸がんがやや多い。 女性は脳血管疾患、胃がんが多く、大腸がんがやや多い。
山形県	男性は胃がんが多く、脳血管疾患がやや多い。 女性は胃がんが多く、脳血管疾患がやや多い。
福島県	男性は脳血管疾患、心疾患、糖尿病が多く、胃がん、前立腺がんがやや多い。 女性は脳血管疾患、糖尿病がやや多い。
茨城県	男性は脳血管疾患、糖尿病が多く、心疾患、胃がん、前立腺がんがやや多い。 女性は脳血管疾患、糖尿病が多く、胃がん、子宮がんがやや多い。
栃木県	男性は脳血管疾患、心疾患、糖尿病、胃がんが多く、前立腺がん、肺炎がやや多い。 女性は脳血管疾患が多く、心疾患、糖尿病、胃がん、子宮がん、肺炎がやや多い。
群馬県	男性は前立腺がんが多く、脳血管疾患、胃がん、肺炎がやや多い。 女性は脳血管疾患、肺炎がやや多い。
埼玉県	男性は心疾患、胃がんがやや多い。 女性は脳血管疾患、心疾患、糖尿病、胃がん、子宮がん、乳がん、肺炎がやや多い。
千葉県	男性は心疾患、糖尿病がやや多い。 女性は心疾患、糖尿病、肺炎がやや多い。
東京都	男性は糖尿病、大腸がんがやや多い。 女性は乳がんが多く、肺がん、大腸がん、子宮がんがやや多い。
神奈川県	男性は大腸がん、前立腺がんがやや多い。 女性は乳がんが多く、大腸がんがやや多い。
新潟県	男性は脳血管疾患、胃がんが多い。 女性は胃がんが多く、脳血管疾患、大腸がんがやや多い。
富山県	男性は脳血管疾患、糖尿病、胃がん、肺炎がやや多い。 女性は胃がんが多い。
石川県	男性は胃がんがやや多い。 女性は胃がんがやや多い。
福井県	男性は肺炎がやや多い。 女性は胃がん、肝がんがやや多い。

※都道府県別の特徴は、各疾患の標準化死亡比の3年間の平均が「115以上」を示した場合は「高い」、「115～105」を示した場合は「やや高い」とした。

標準化死亡比にみる都道府県別の特徴

都道府県	主な特徴
山梨県	男性は肝がんが多く、前立腺がんがやや多い。 女性は肝がんが多い。
長野県	男性は脳血管疾患、前立腺がんがやや多い。 女性は脳血管疾患が多い。
岐阜県	男性は心疾患がやや多い。 女性は心疾患、胃がんがやや多い。
静岡県	男女とも特に高い疾患はない。
愛知県	男性は肺がんがやや多い。 女性は心疾患、胃がん、大腸がんがやや多い。
三重県	男性は肺がんがやや多い。 女性は糖尿病がやや多い。
滋賀県	男性は肺がん、肺炎がやや多い。 女性は胃がんがやや多い。
京都府	男性は肺がんがやや多い。 女性は心疾患、肺がん、肝がん、子宮がんがやや多い。
大阪府	男性は肺がん、肝がんが多く、糖尿病、胃がん、肺炎がやや多い。 女性は肺がん、肝がん、肺炎が多く、心疾患、胃がん、子宮がん、乳がんがやや多い。
兵庫県	男性は肝がんが多く、糖尿病、肺がんがやや多い。 女性は肝がんが多く、糖尿病、肺がん、子宮がんがやや多い。
奈良県	男性は肺がん多く、心疾患、胃がん、肝がんがやや多い。 女性は心疾患、胃がん、肺がん、肺炎がやや多い。
和歌山県	男性は心疾患、肺がん、肝がんが多く、胃がんがやや多い。 女性は肝がんが多く、心疾患、胃がん、子宮がんがやや多い。
鳥取県	男性は糖尿病が多く、脳血管疾患、肝がんがやや多い。 女性は脳血管疾患、肝がんがやや多い。
島根県	男性は肝がんがやや多い。 女性は特に高い疾患はない。
岡山県	男性は肝がん、肺炎がやや多い。 女性は特に高い疾患はない。
広島県	男性は肝がんが多い。 女性は肝がんが多い。
山口県	男性は肝がん、肺炎が多く、脳血管疾患がやや多い。 女性は脳血管疾患、肺がん、肝がん、子宮がん、肺炎がやや多い。
徳島県	男性は糖尿病、肝がんが多く、肺炎がやや多い。 女性は糖尿病が多く、肝がん、子宮がん、肺炎がやや多い。

※都道府県別の特徴は、各疾患の標準化死亡比の3年間の平均が「115以上」を示した場合は「高い」、「115～105」を示した場合は「やや高い」とした。

標準化死亡比にみる都道府県別の特徴

都道府県	主な特徴
香川県	男性は糖尿病、肺炎がやや多い。 女性は肺炎が多く、胃がんがやや多い。
愛媛県	男性は心疾患、肝がんが多い。 女性は心疾患、肺炎がやや多い。
高知県	男性は脳血管疾患、肝がんがやや多い。 女性は脳血管疾患、肝がんがやや多い。
福岡県	男性は肝がんが多く、糖尿病、肺炎がやや多い。 女性は肺がん、肝がんが多く、子宮がん、乳がんがやや多い。
佐賀県	男性は肝がんが多く、前立腺がんがやや多い。 女性は肝がんが多い。
長崎県	男性は肺がん、肝がんが多い。 女性は肺がん、大腸がんがやや多い。
熊本県	男性は肝がんが多く、前立腺がんがやや多い。 女性は肝がん、子宮がんがやや多い。
大分県	男性は肝がんがやや多い。 女性は肝がんがやや多い。
宮崎県	男性は前立腺がんがやや多い。 女性は子宮がんがやや多い。
鹿児島県	男性は前立腺がんが多く、脳血管疾患、糖尿病、肺炎がやや多い。 女性は脳血管疾患、肺炎がやや多い。
沖縄県	男性は糖尿病が多く、肺がんがやや多い。 女性は糖尿病、肺がん、子宮がんが多い。

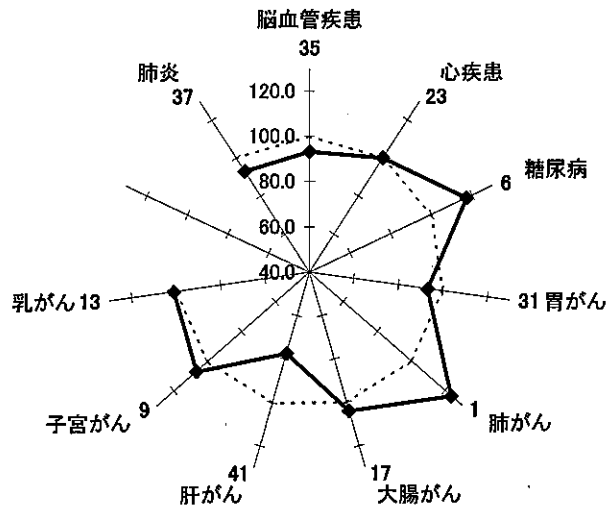
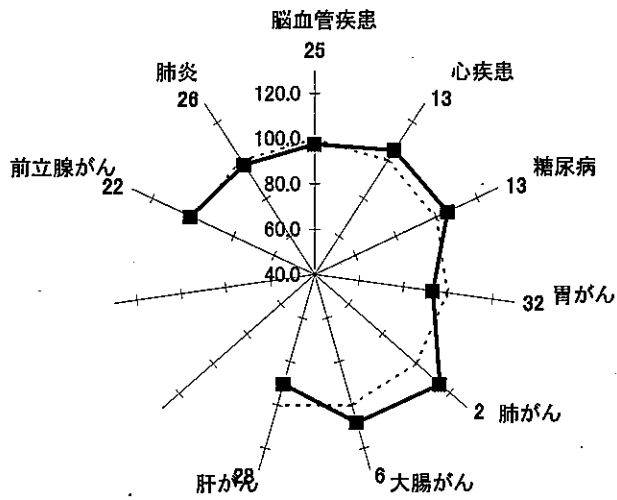
※都道府県別の特徴は、各疾患の標準化死亡比の3年間の平均が「115以上」を示した場合は「高い」、「115～105」を示した場合は「やや高い」とした。

# 北海道

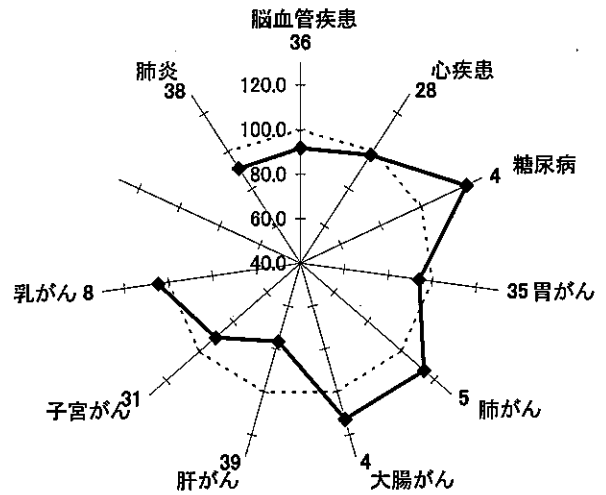
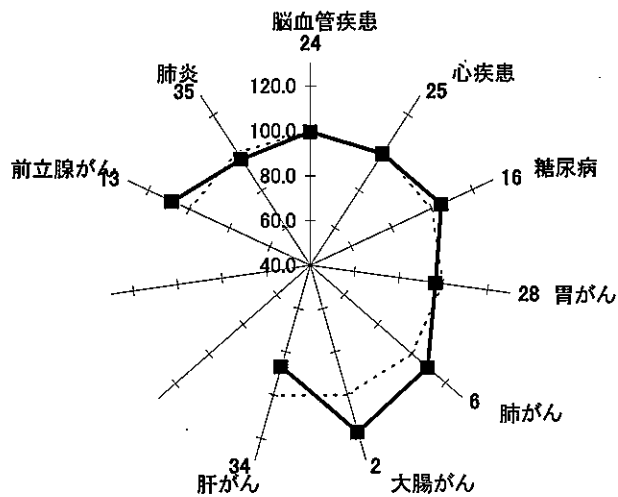
## 男

## 女

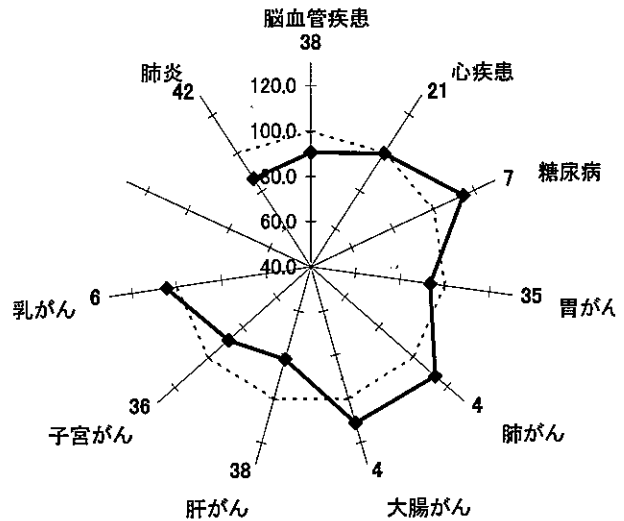
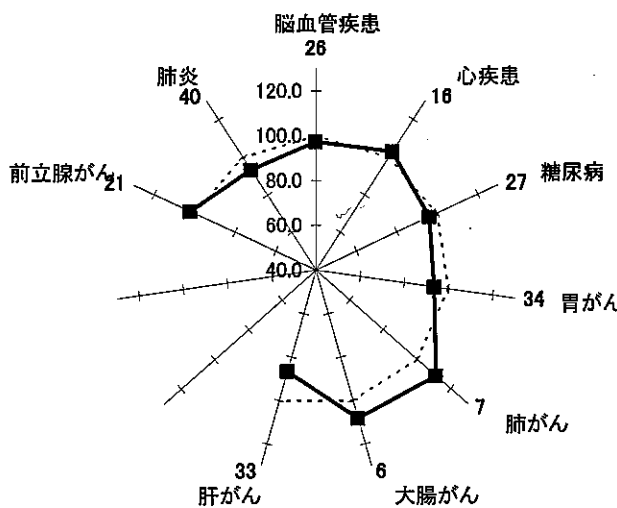
### 平成18年



### 平成17年



### 平成16年



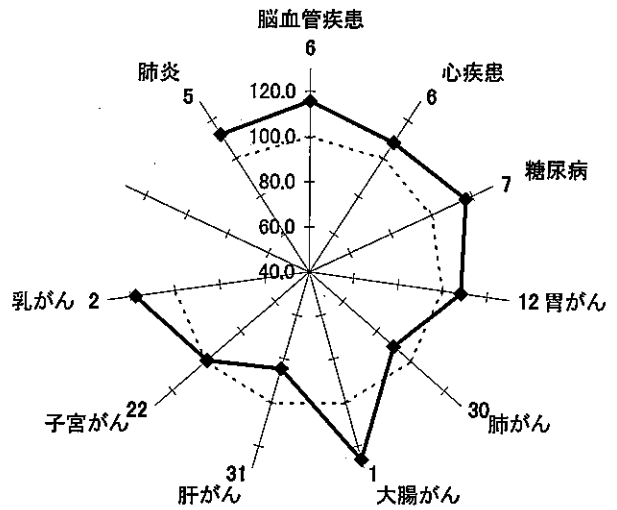
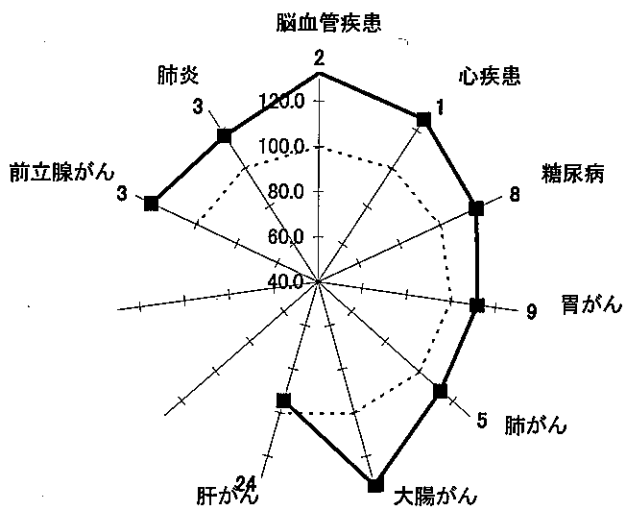
注：グラフ先端の数字は都道府県別の標準化死亡率の順位である。

# 青森県

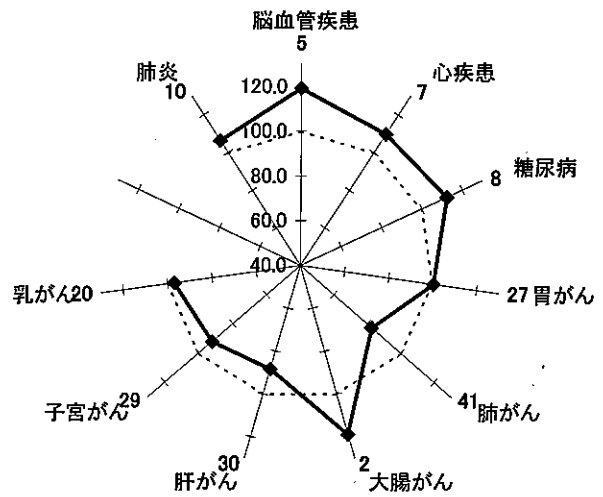
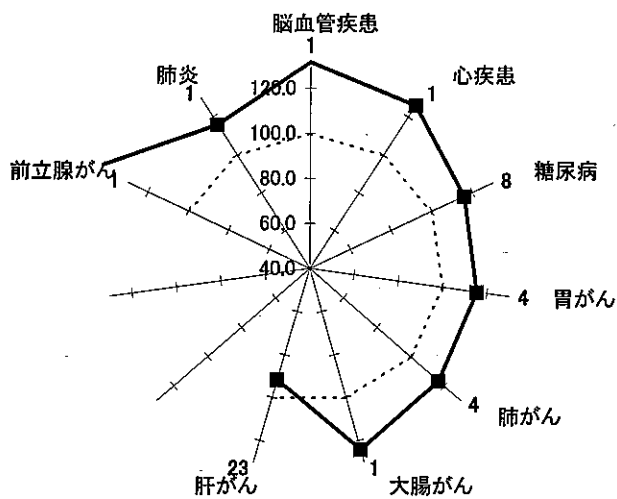
男

女

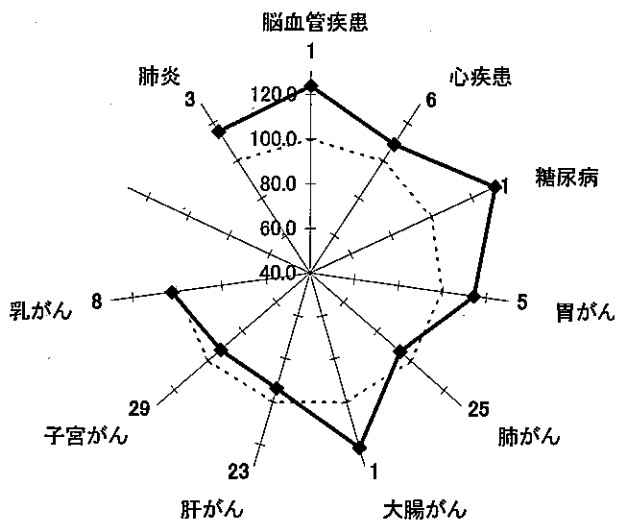
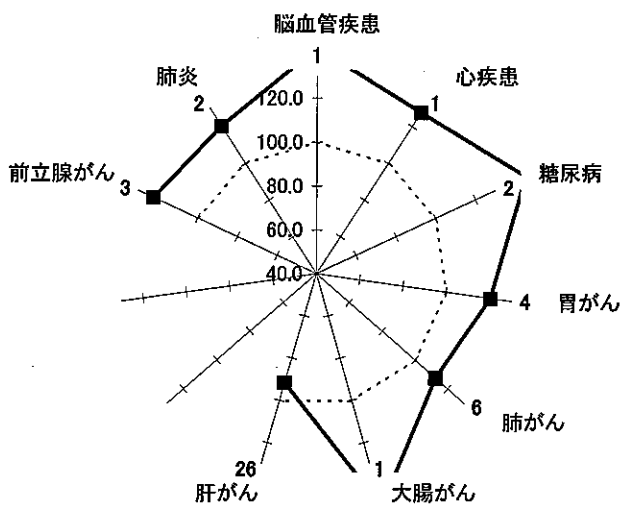
平成18年



平成17年



平成16年



注：グラフ先端の数字は都道府県別の標準化死亡比の順位である。

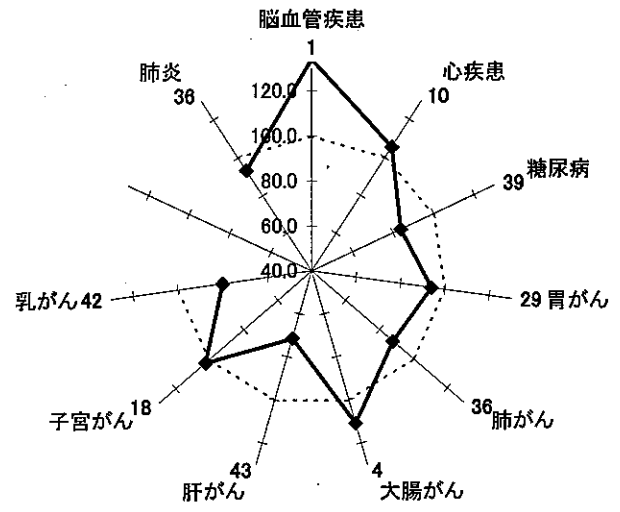
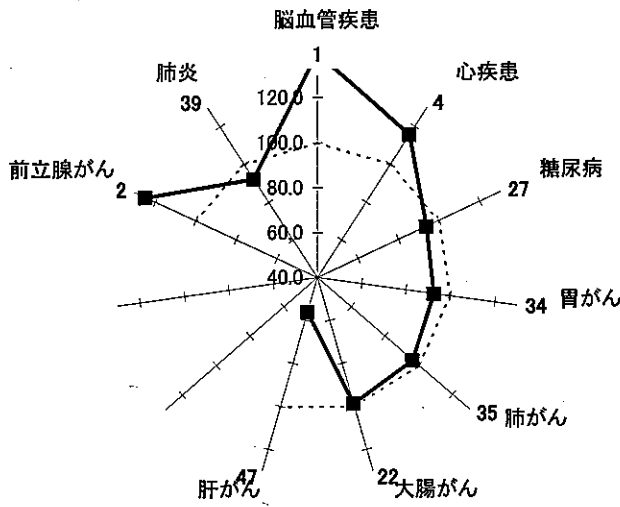


# 岩手県

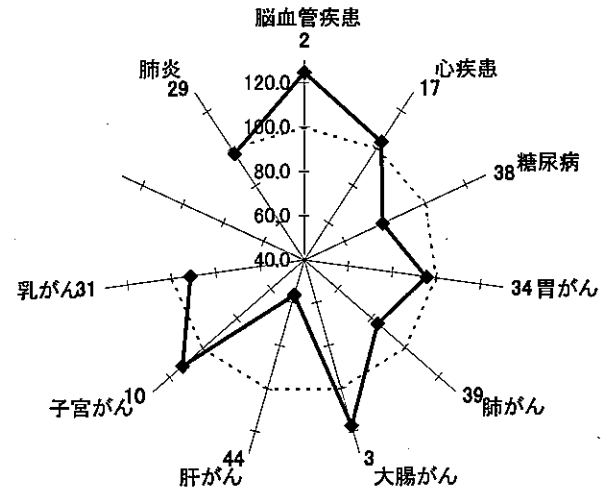
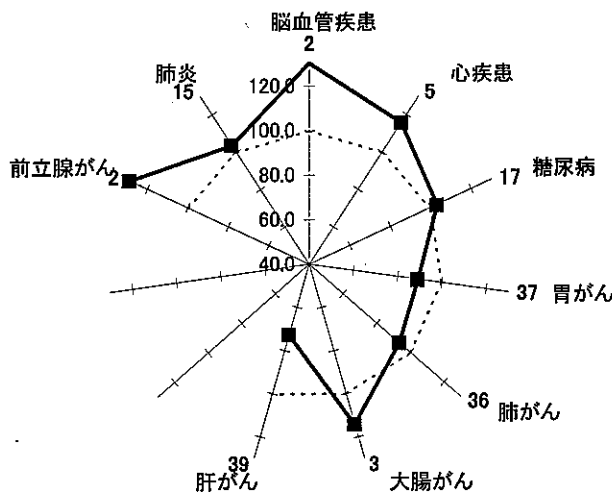
男

女

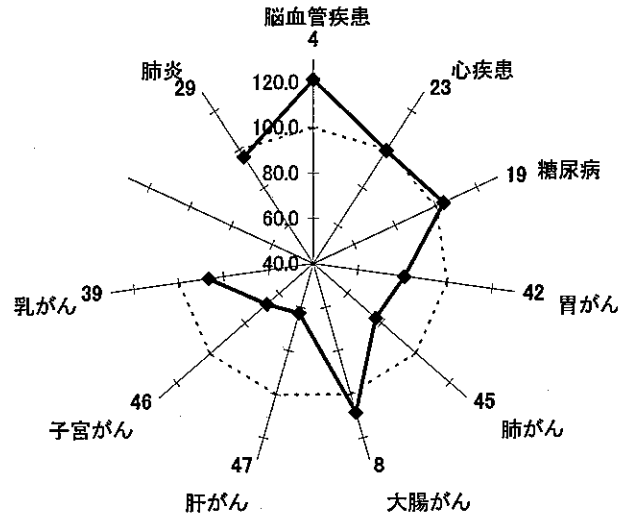
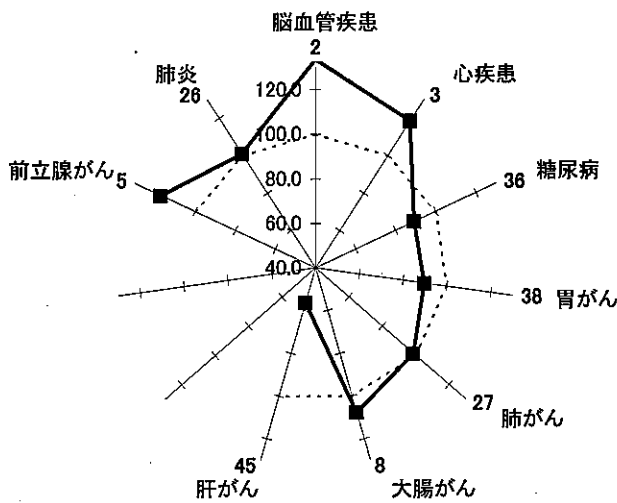
平成18年



平成17年



平成16年



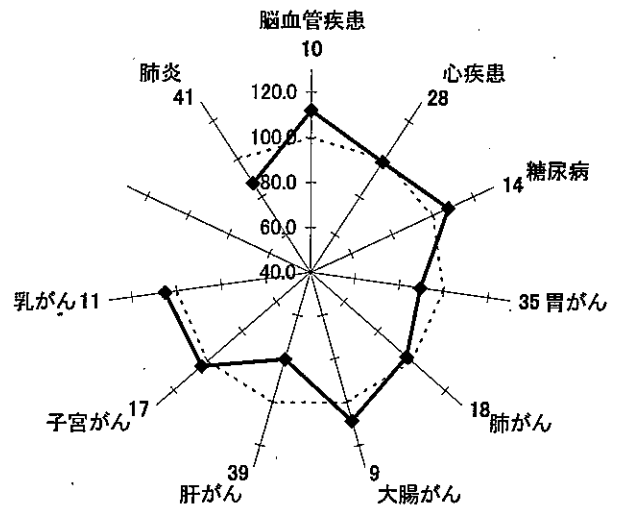
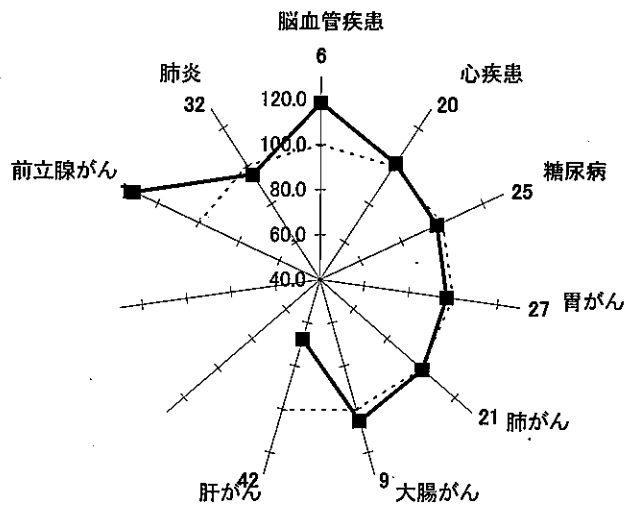
注：グラフ先端の数字は都道府県別の標準化死亡比の順位である。

# 宮城県

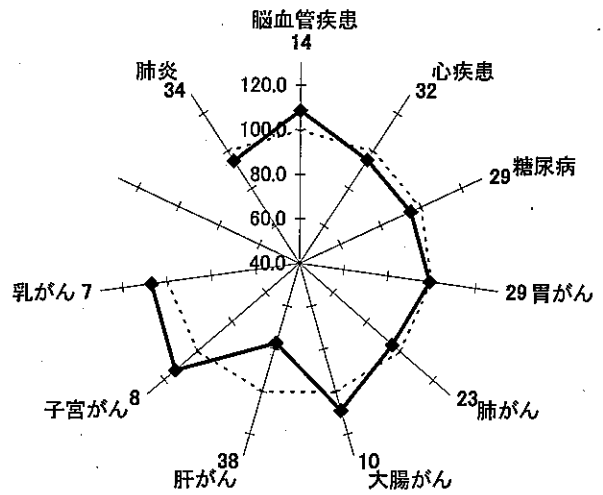
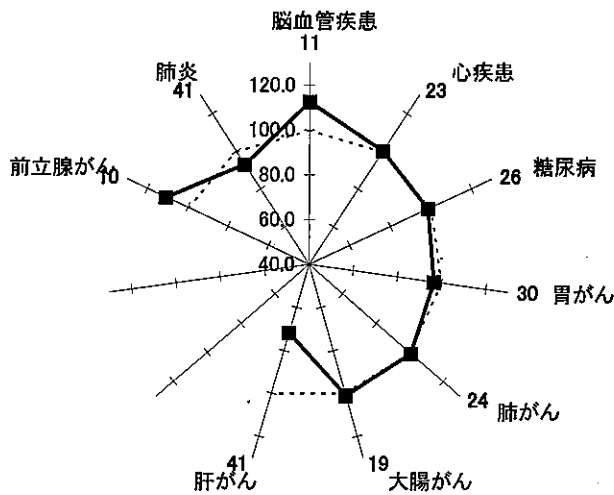
男

女

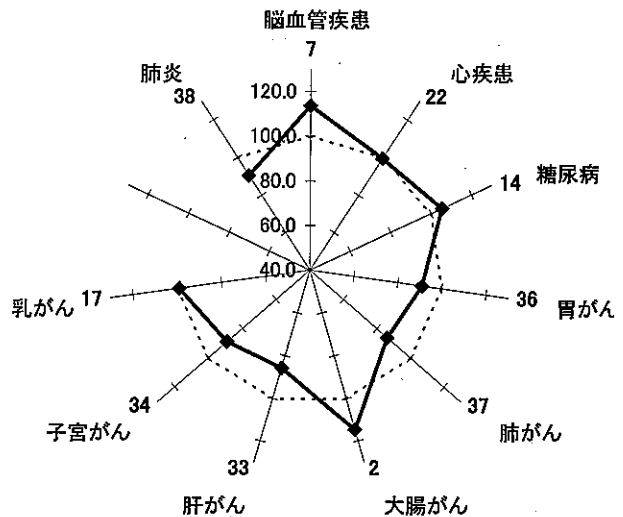
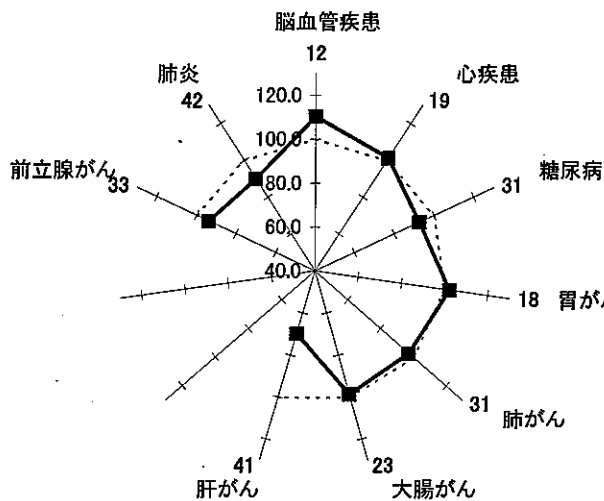
平成18年



平成17年



平成16年

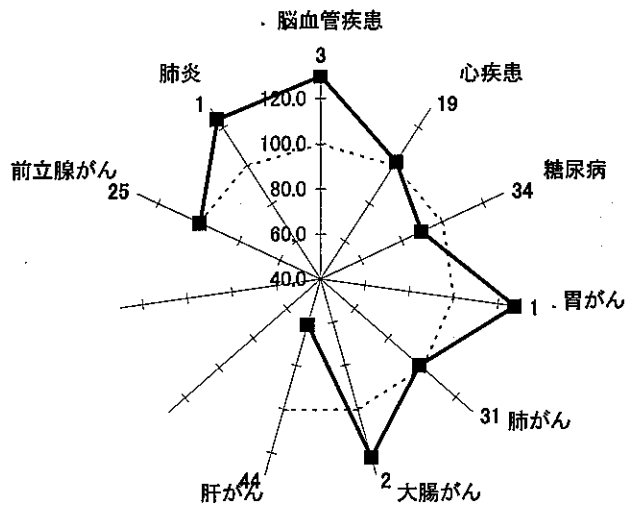


注：グラフ先端の数字は都道府県別の標準化死亡比の順位である。

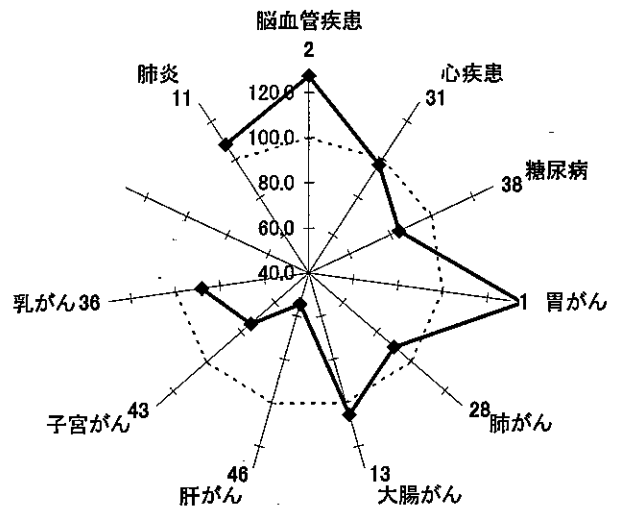
# 秋田県

平成18年

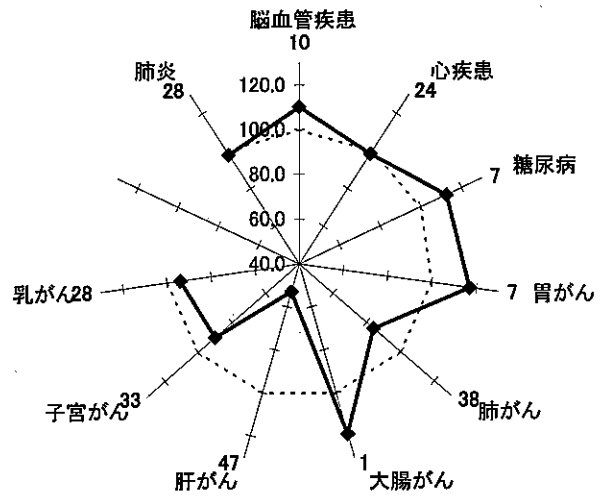
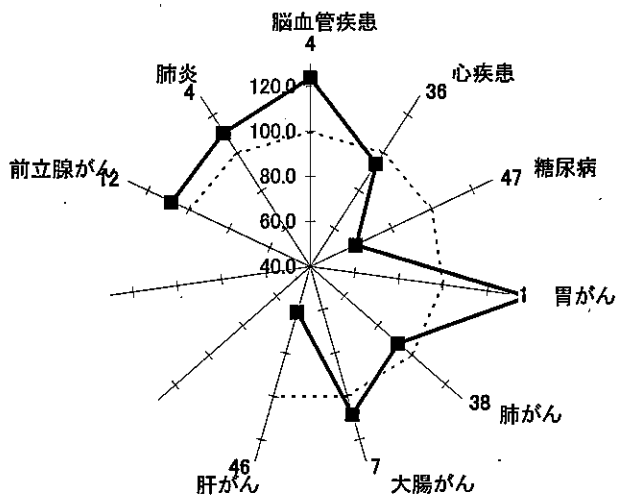
男



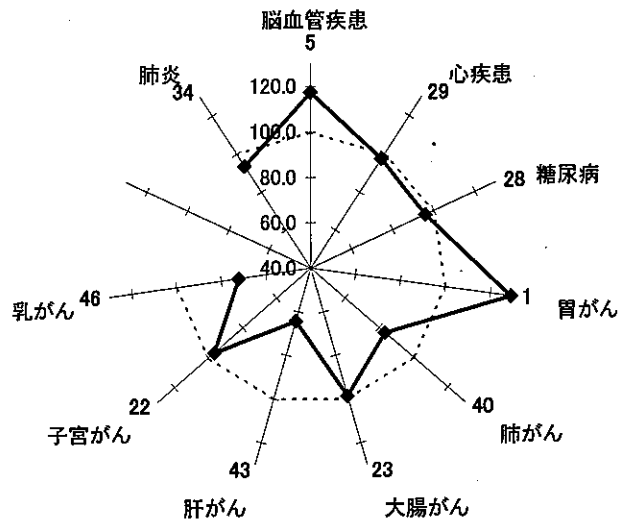
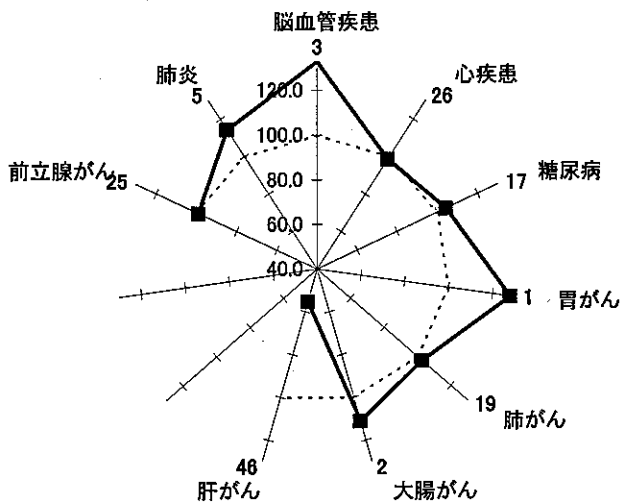
女



平成17年



平成16年

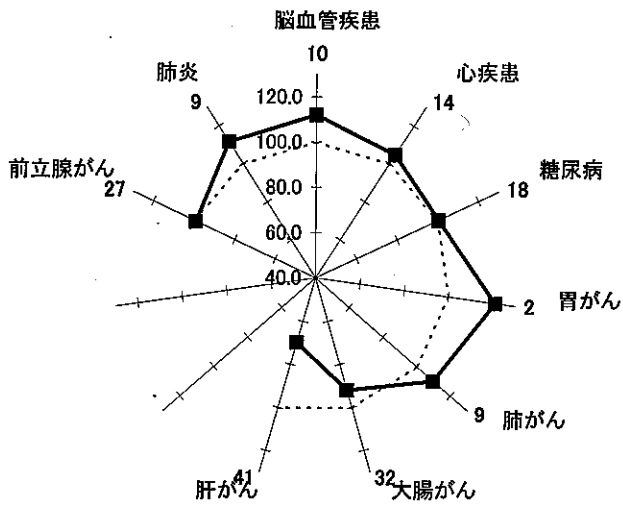


注：グラフ先端の数字は都道府県別の標準化死亡比の順位である。

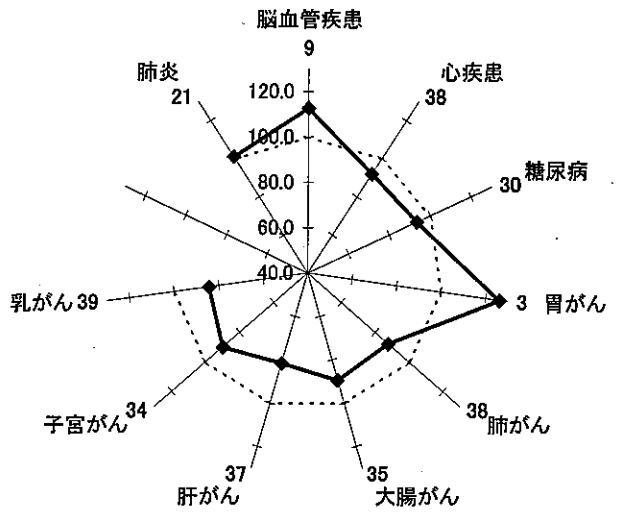
# 山形県

## 男

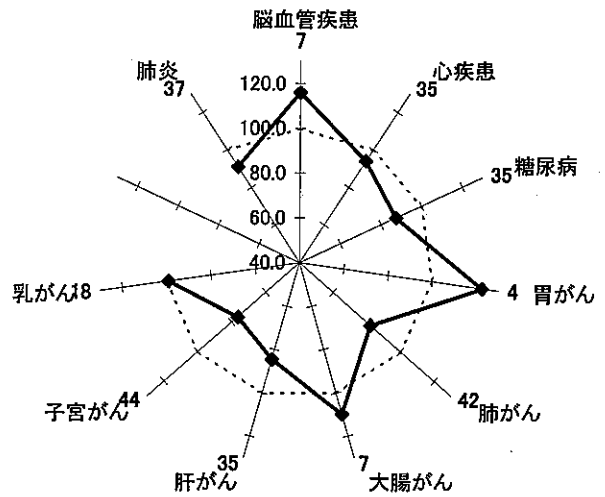
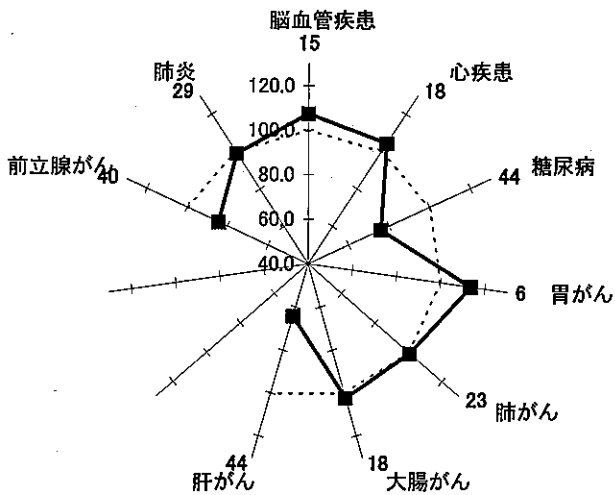
### 平成18年



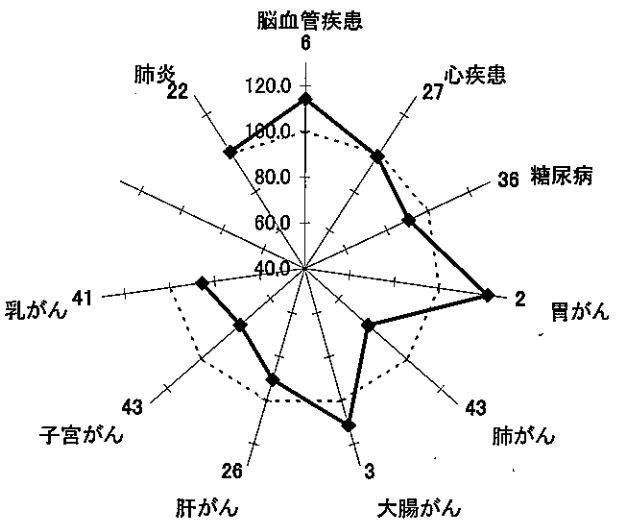
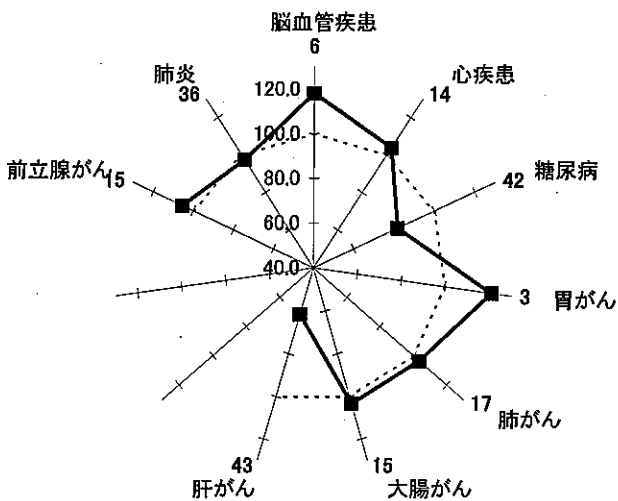
## 女



### 平成17年



### 平成16年

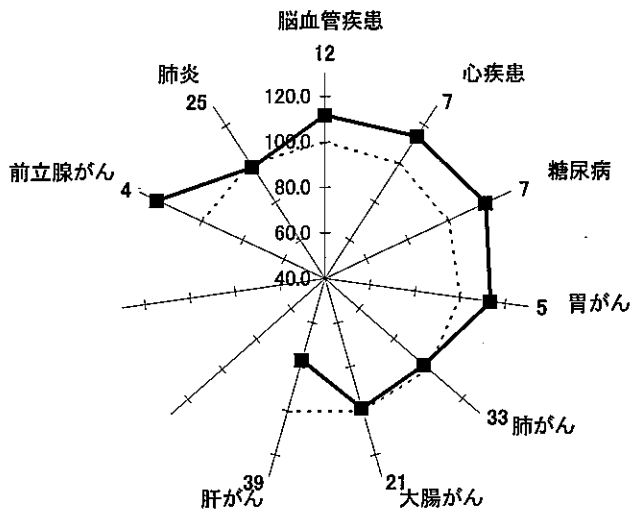


注：グラフ先端の数字は都道府県別の標準化死亡比の順位である。

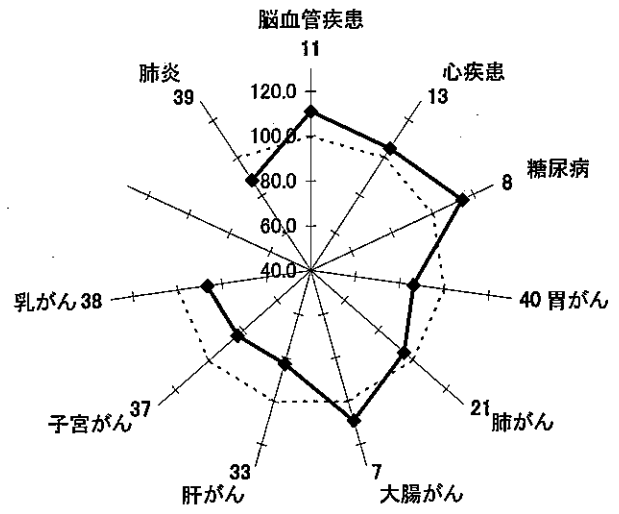
# 福島県

平成18年

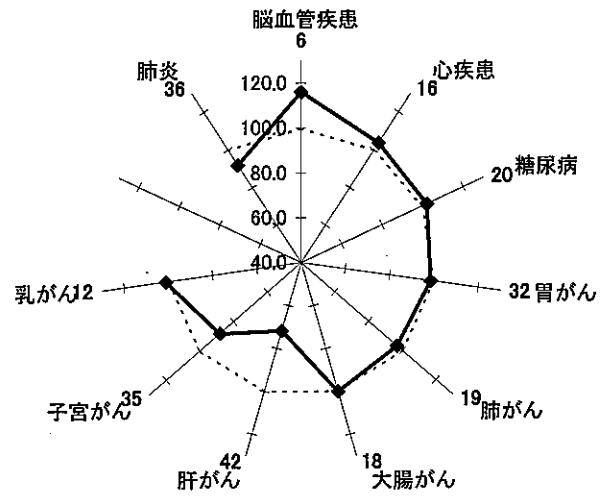
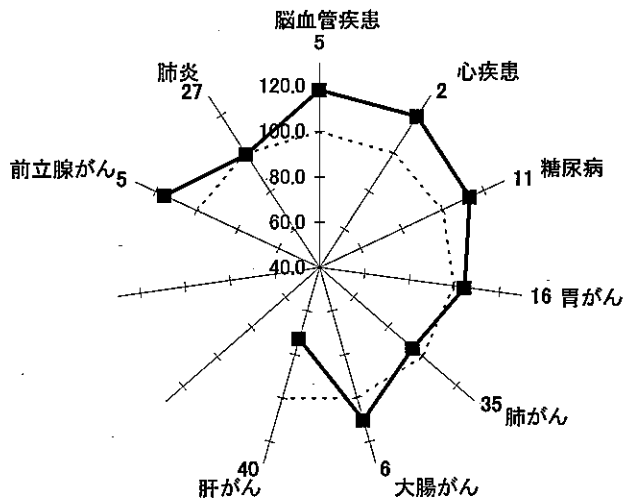
男



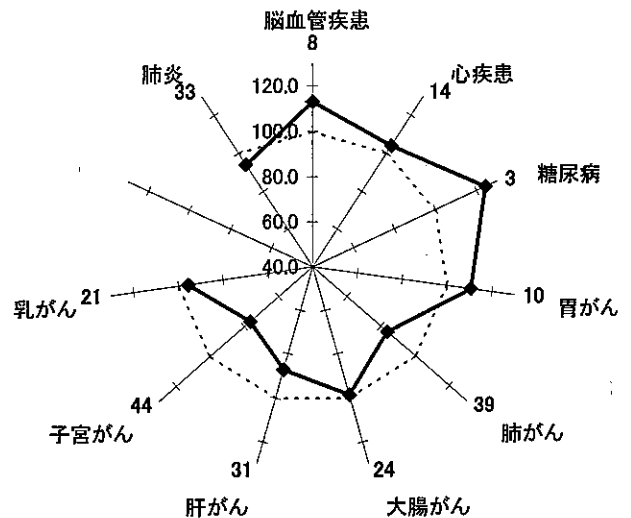
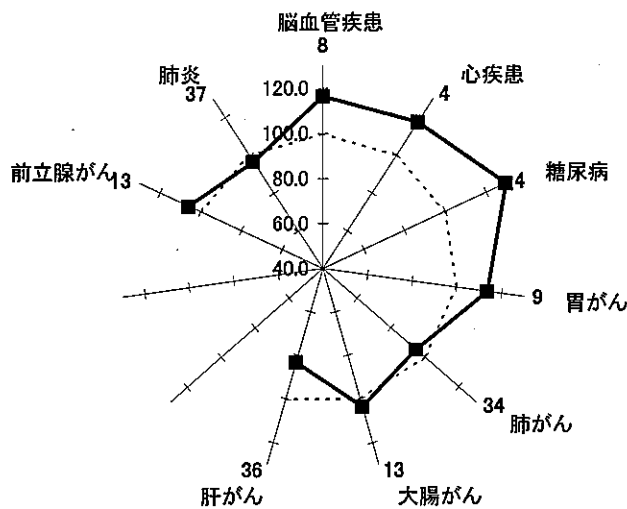
女



平成17年



平成16年



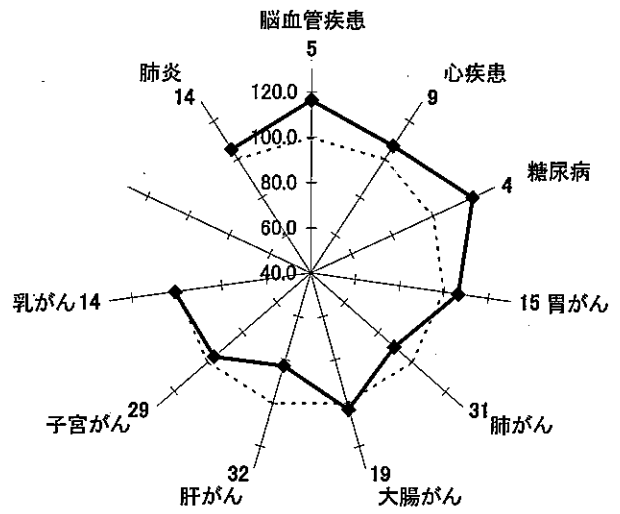
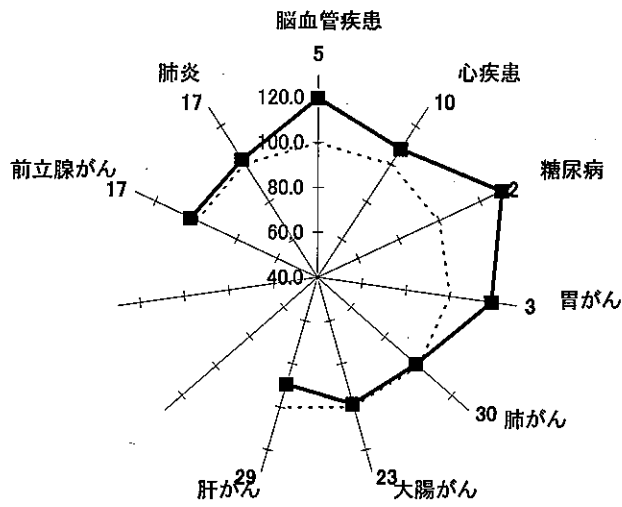
注：グラフ先端の数字は都道府県別の標準化死亡比の順位である。

# 茨城県

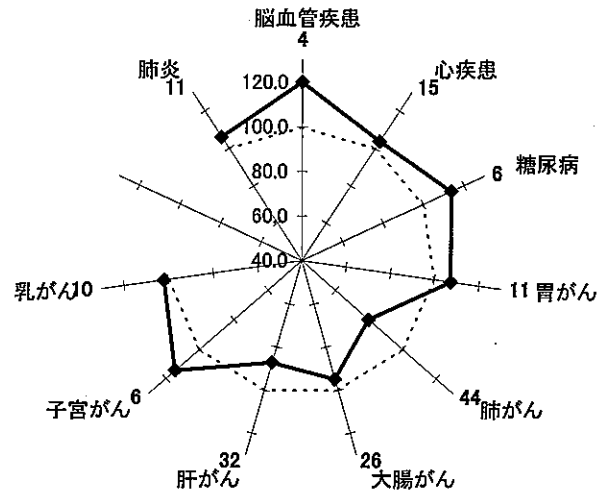
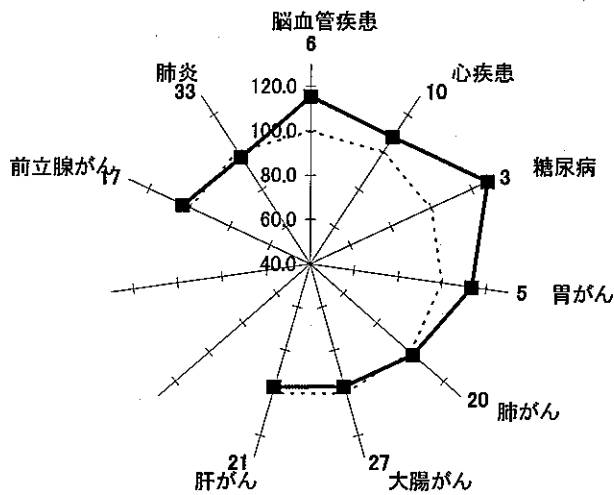
男

女

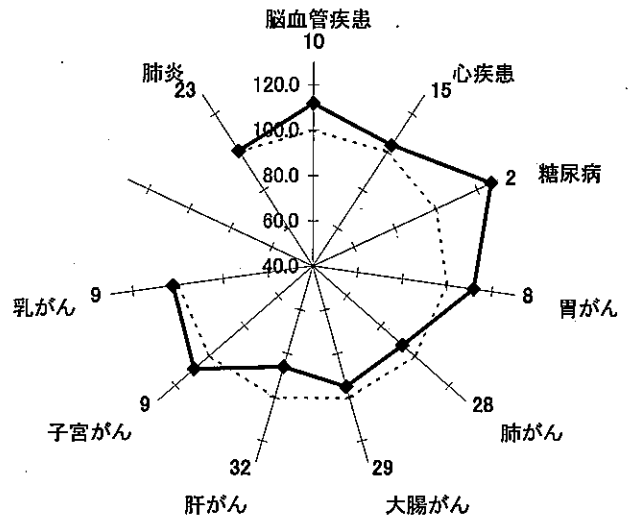
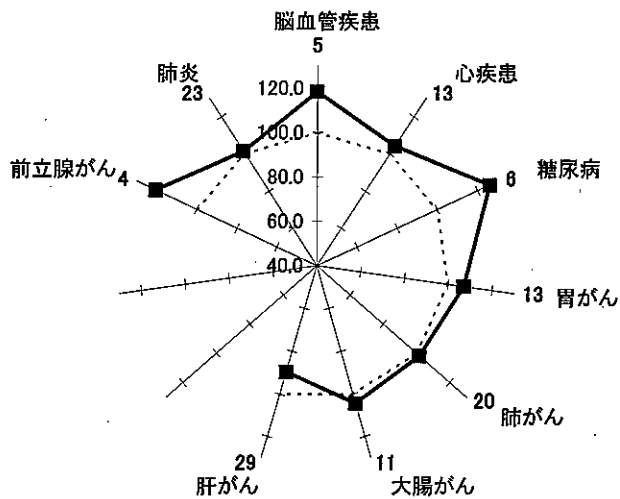
平成18年



平成17年



平成16年



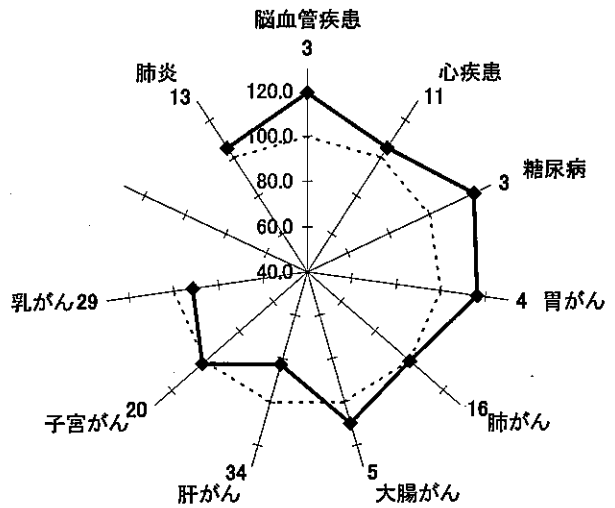
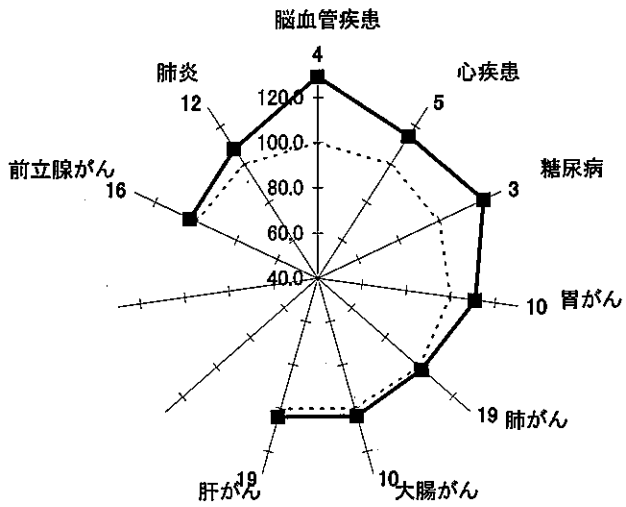
注：グラフ先端の数字は都道府県別の標準化死亡率の順位である。

# 栃木県

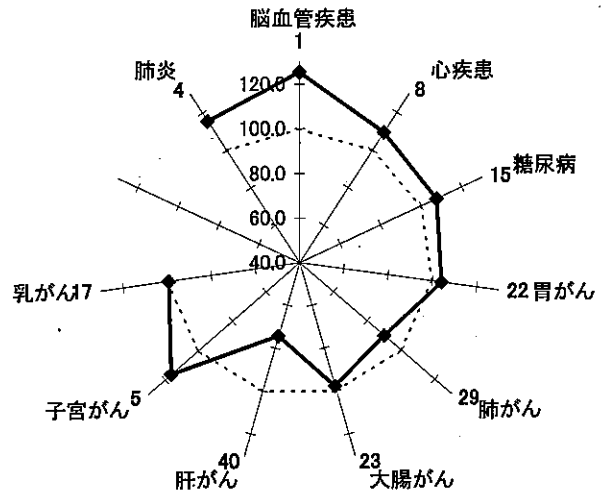
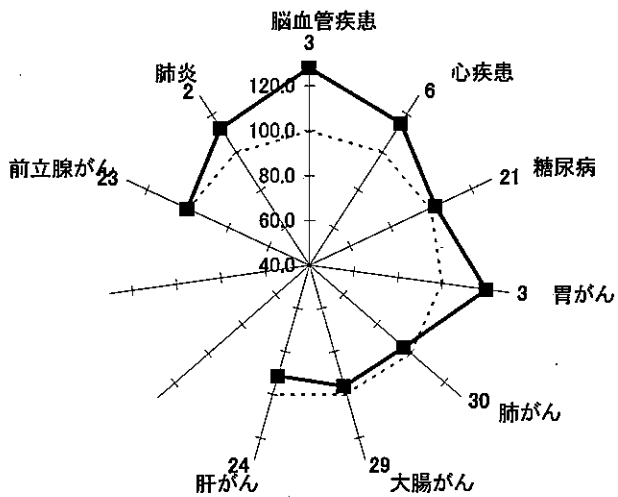
## 男

## 女

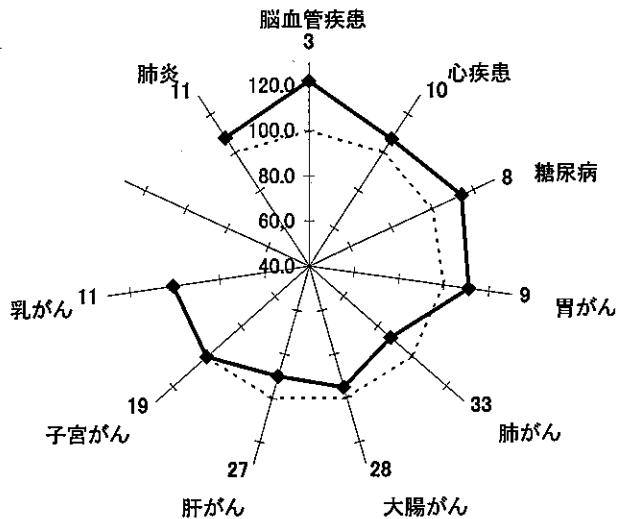
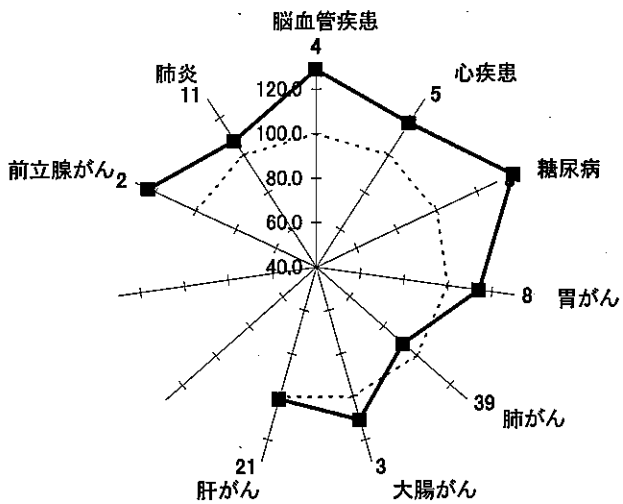
### 平成18年



### 平成17年



### 平成16年



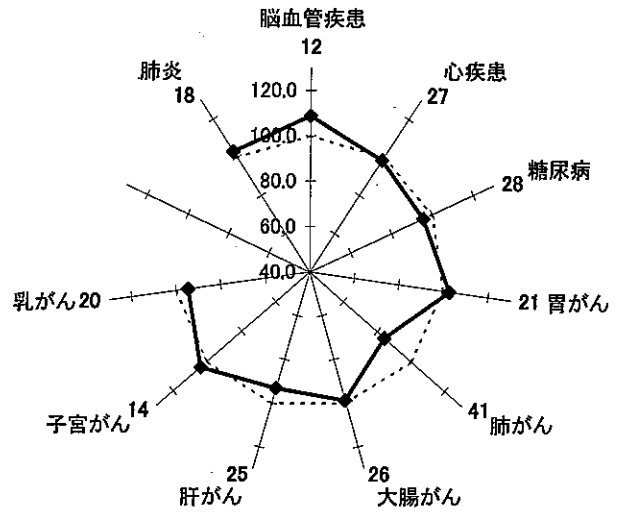
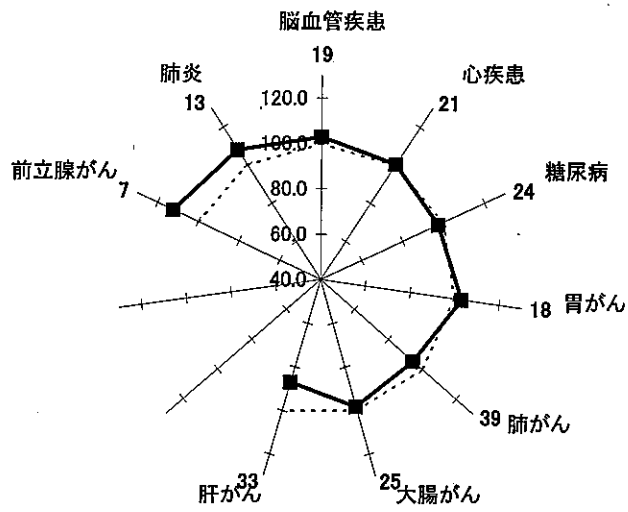
注：グラフ先端の数字は都道府県別の標準化死亡比の順位である。

# 群馬県

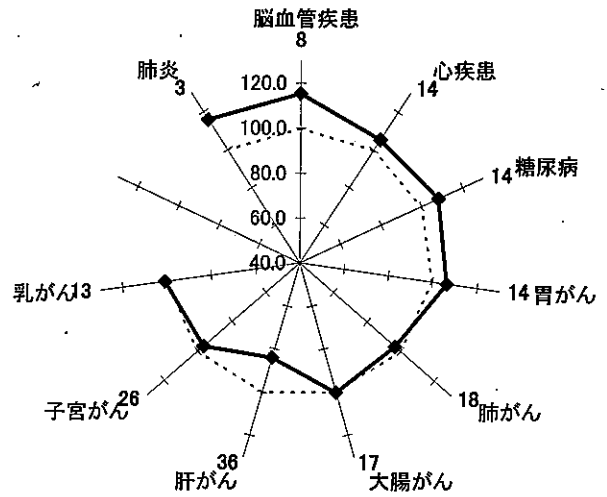
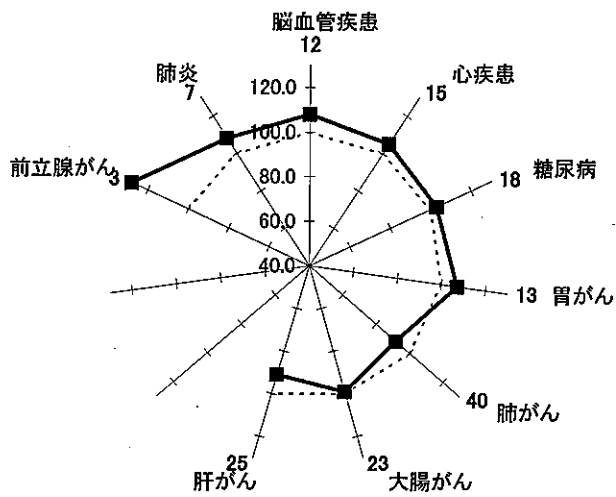
## 男

## 女

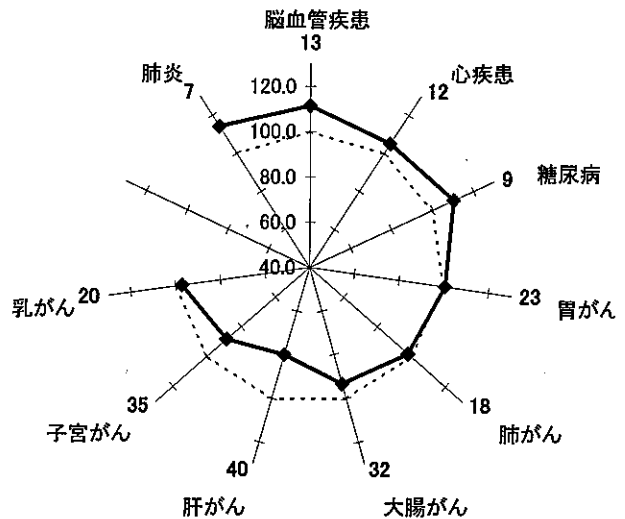
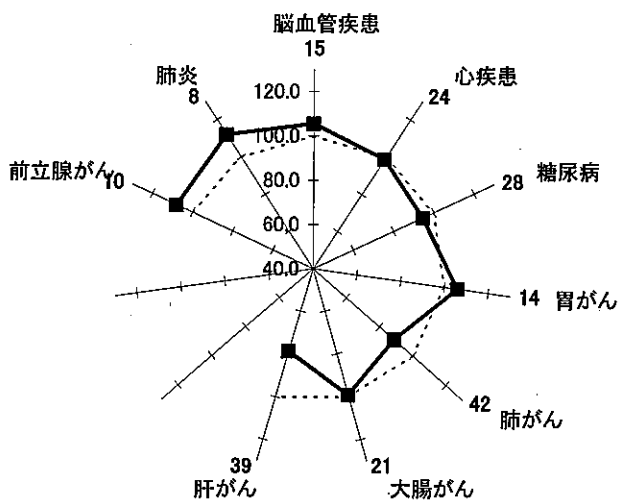
### 平成18年



### 平成17年



### 平成16年



注：グラフ先端の数字は都道府県別の標準化死亡比の順位である。

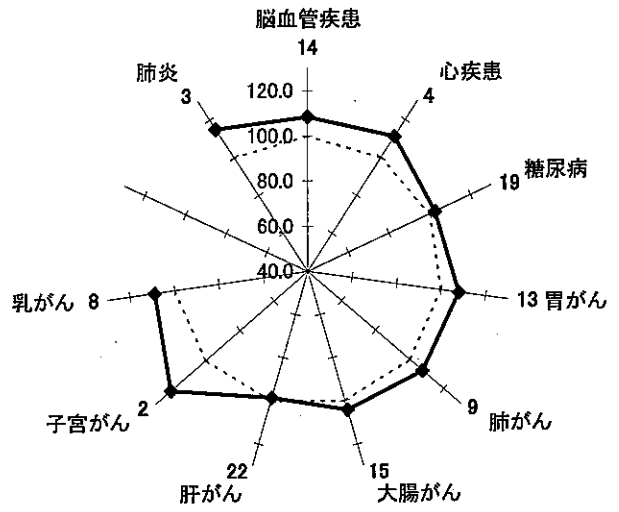
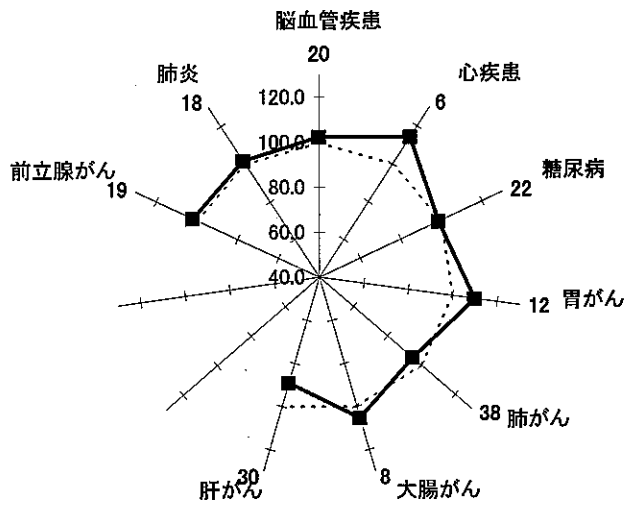


# 埼玉県

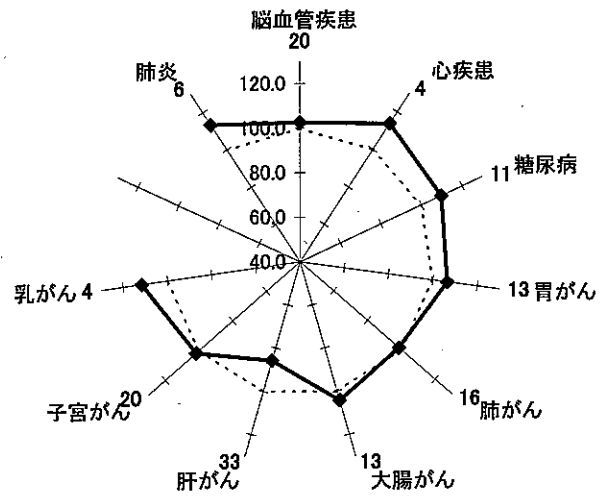
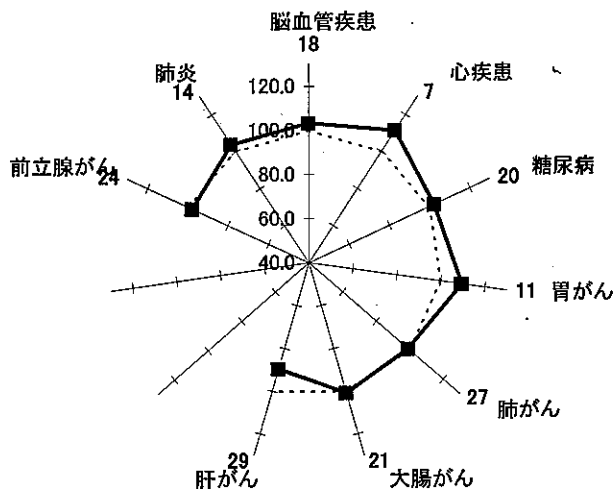
## 男

## 女

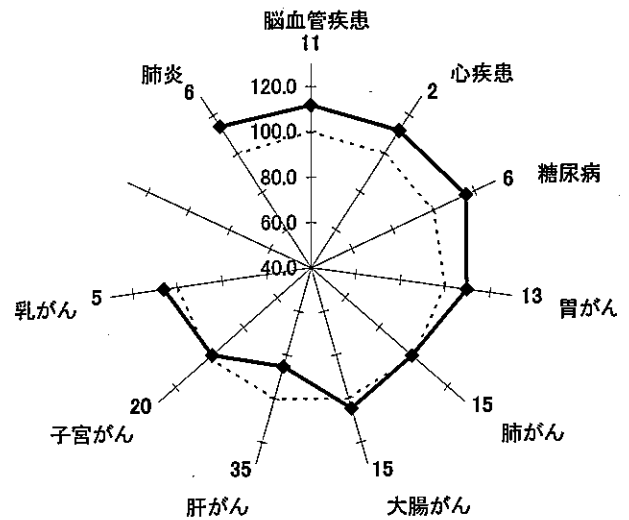
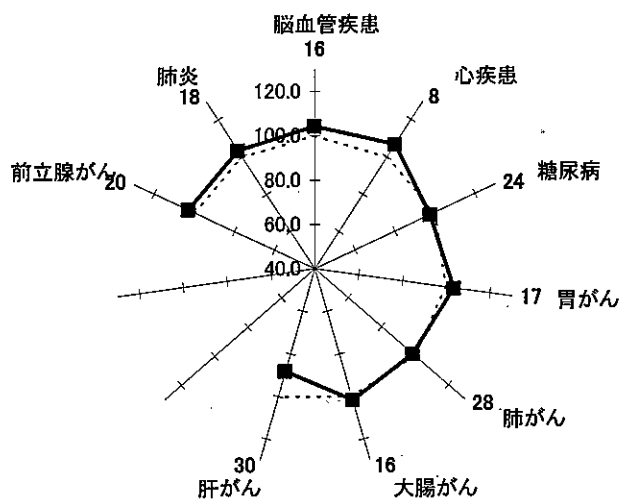
### 平成18年



### 平成17年



### 平成16年



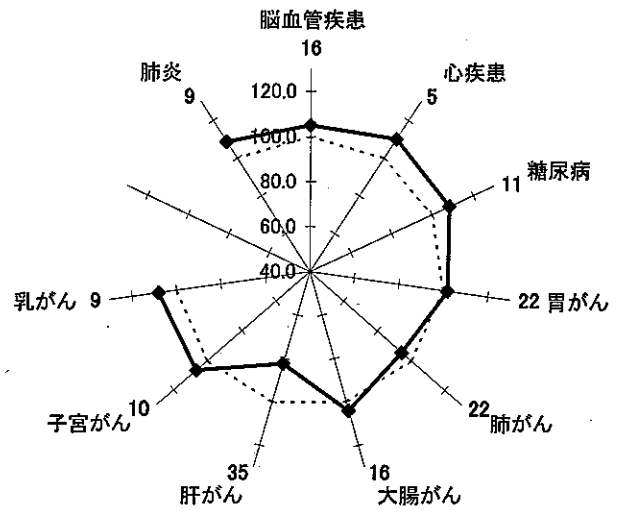
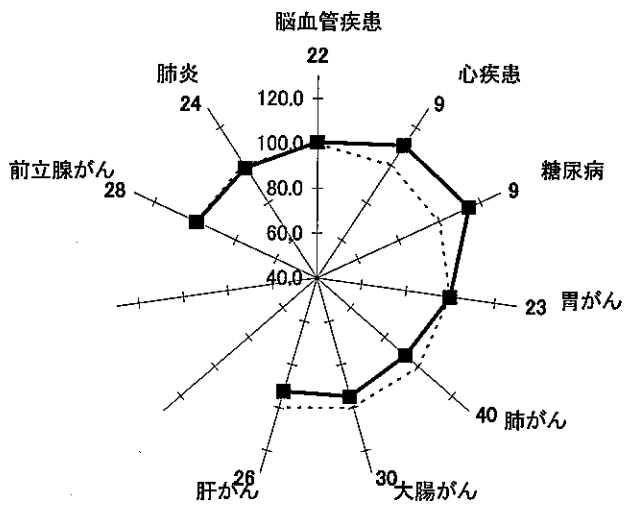
注：グラフ先端の数字は都道府県別の標準化死亡比の順位である。

# 千葉県

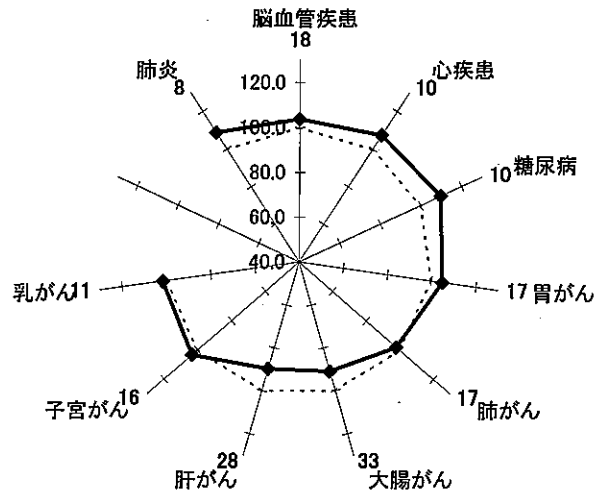
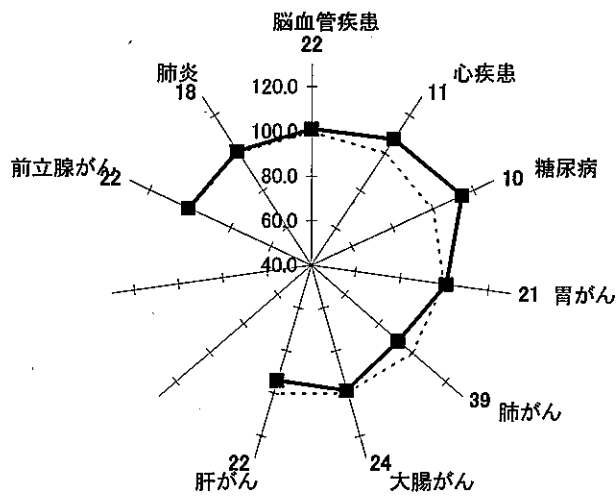
## 男

## 女

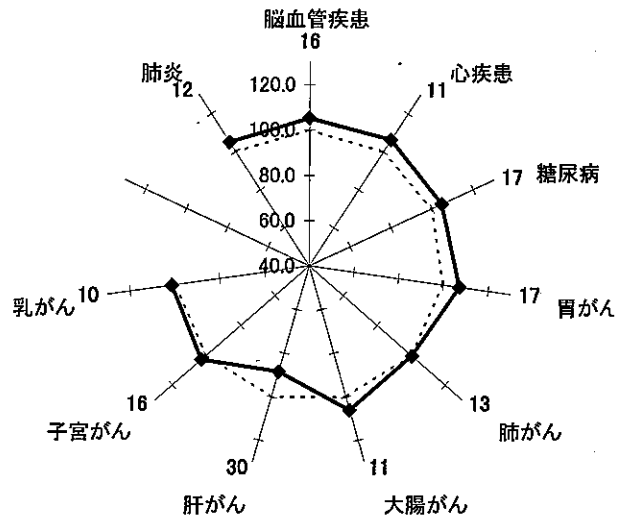
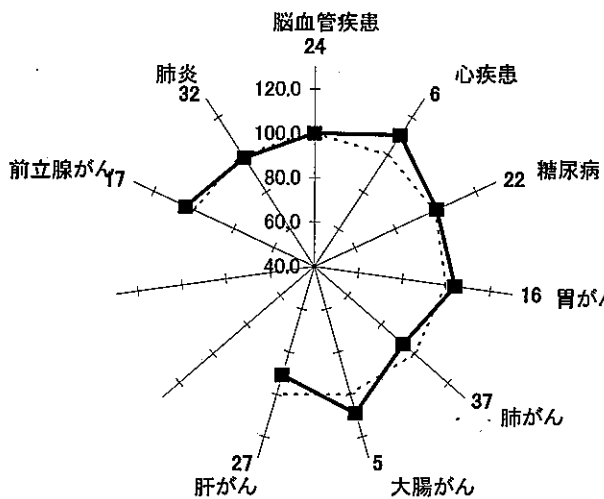
### 平成18年



### 平成17年



### 平成16年



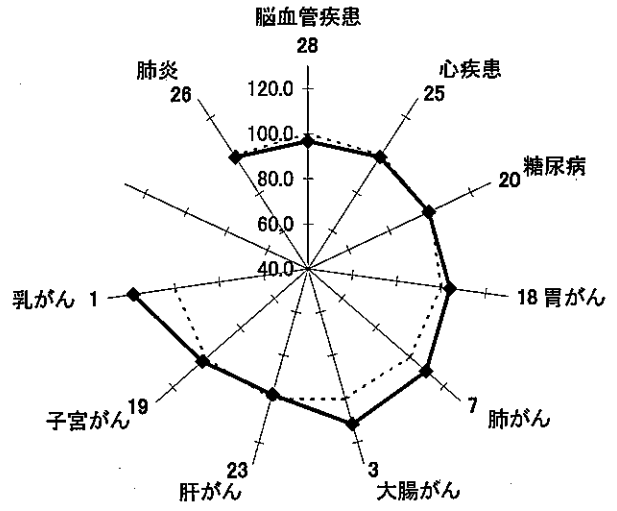
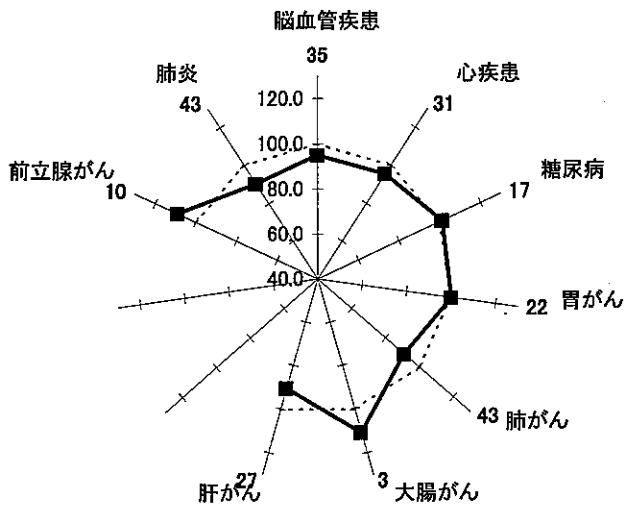
注：グラフ先端の数字は都道府県別の標準化死亡率の順位である。

# 東京都

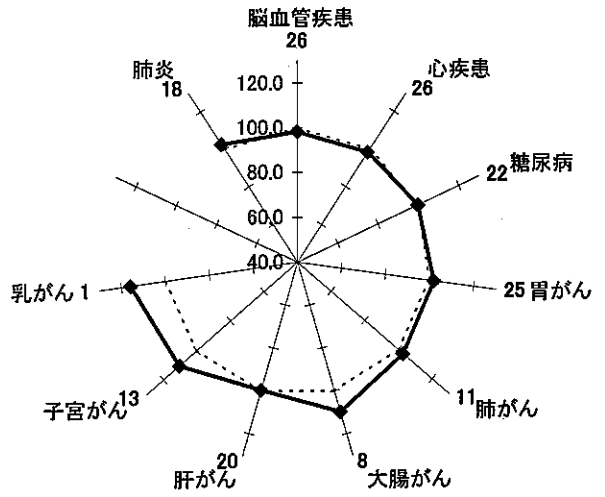
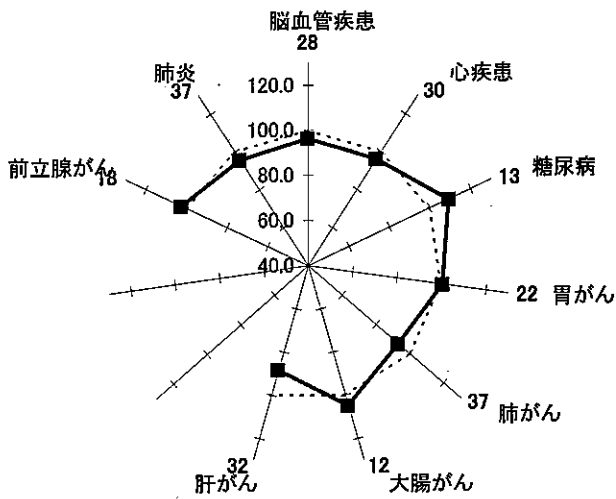
## 男

## 女

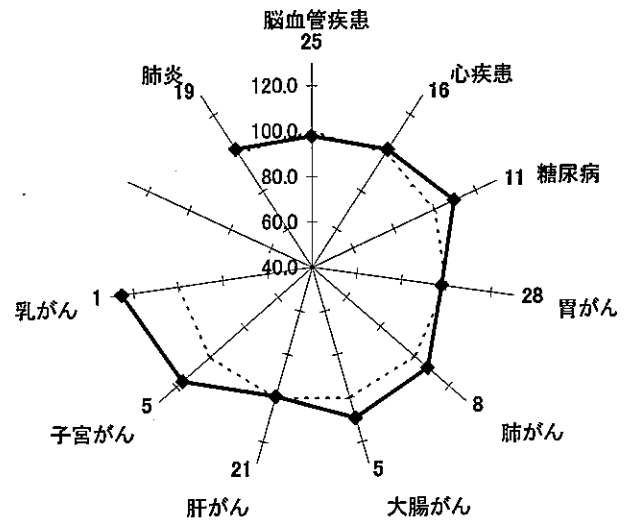
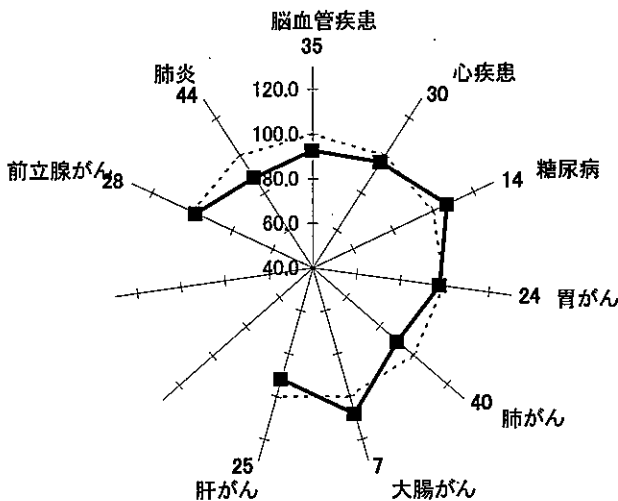
### 平成18年



### 平成17年



### 平成16年



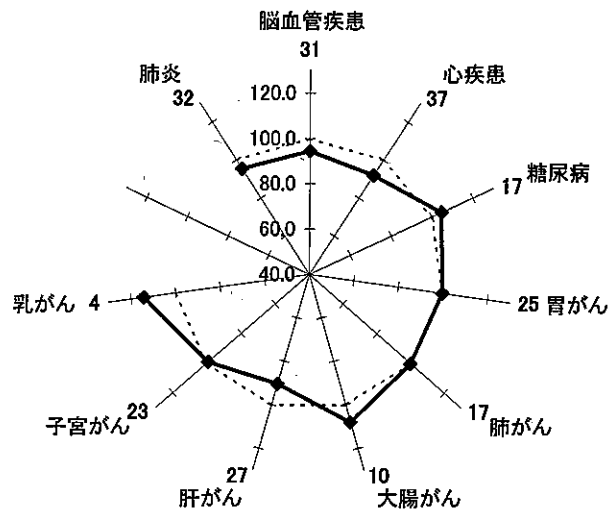
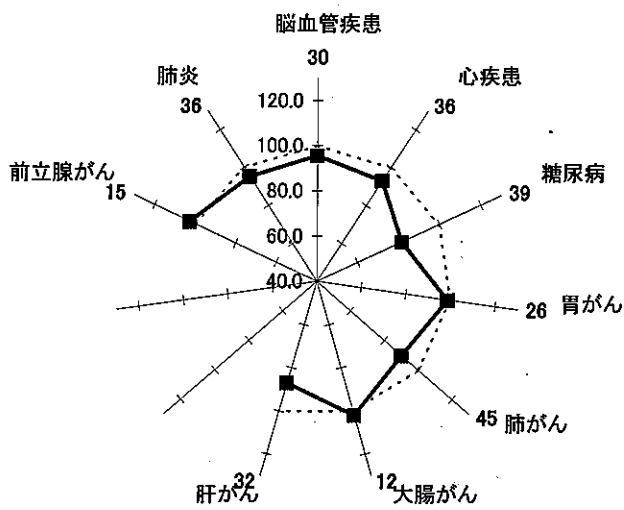
注：グラフ先端の数字は都道府県別の標準化死亡比の順位である。

# 神奈川県

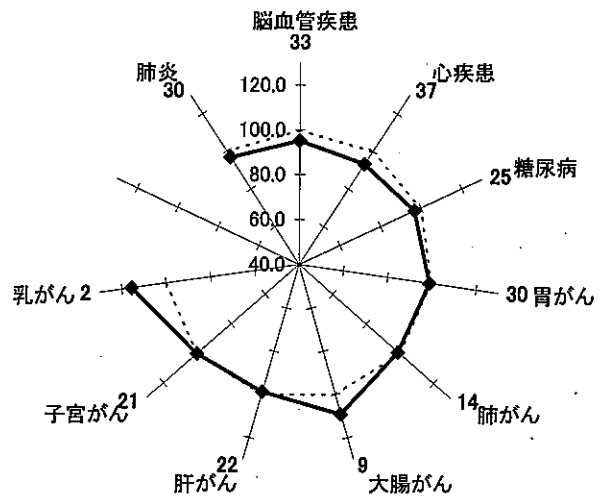
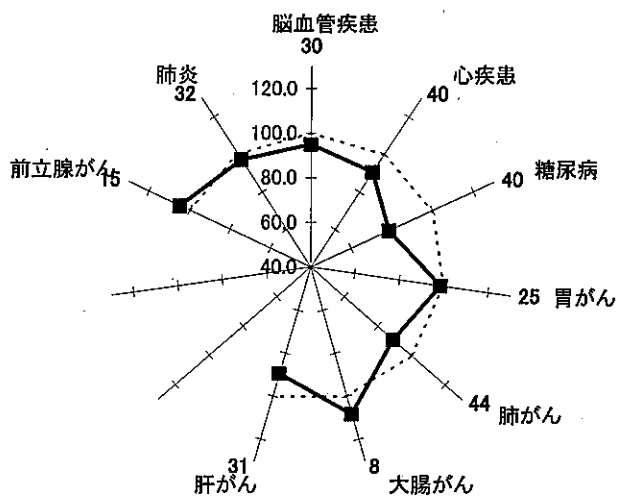
## 男

## 女

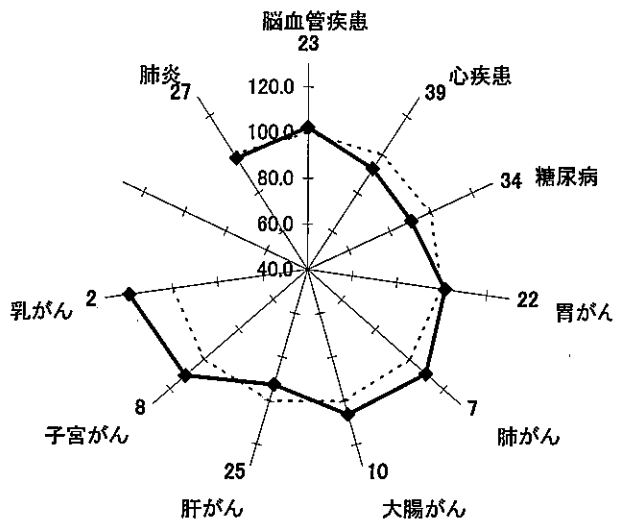
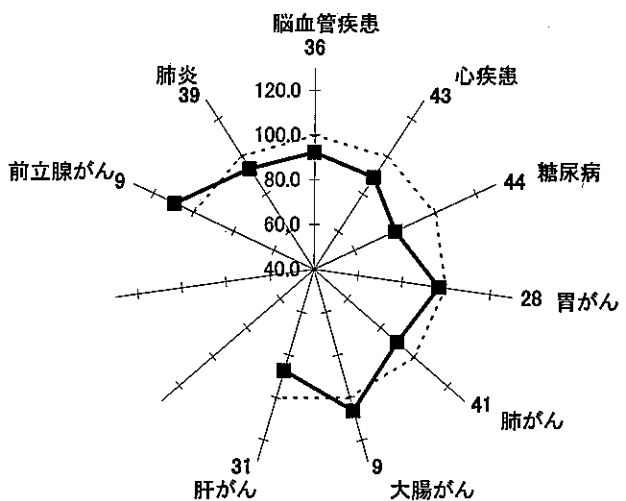
### 平成18年



### 平成17年



### 平成16年



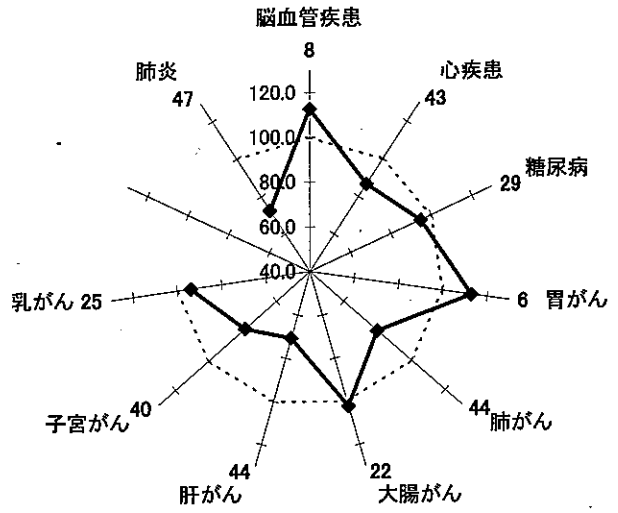
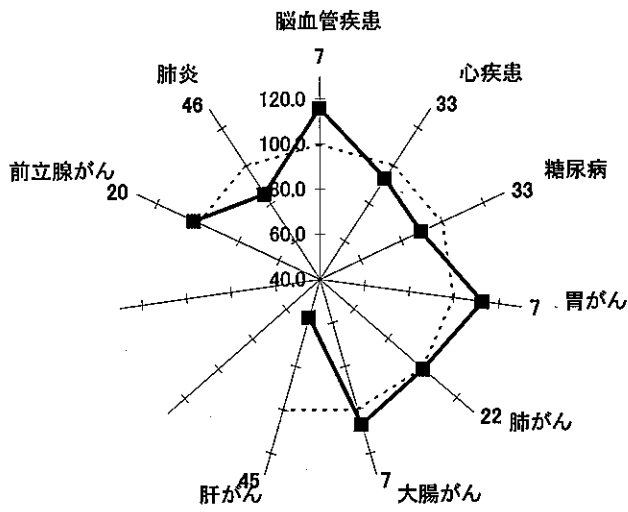
注：グラフ先端の数字は都道府県別の標準化死亡比の順位である。

# 新潟県

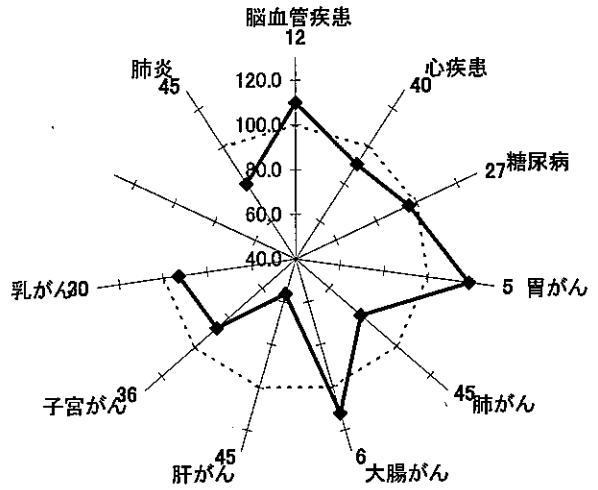
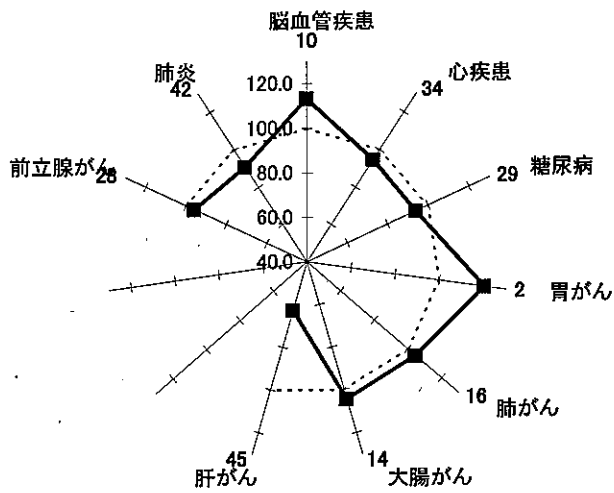
男

女

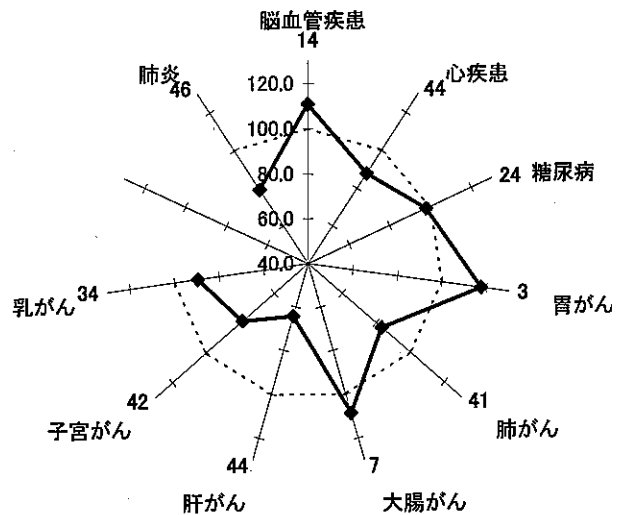
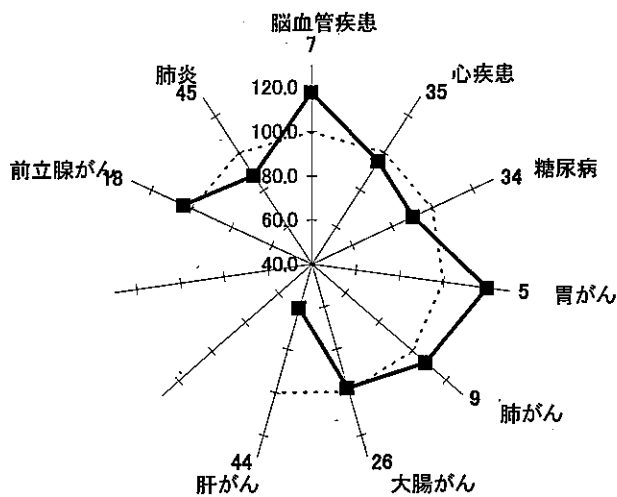
平成18年



平成17年



平成16年



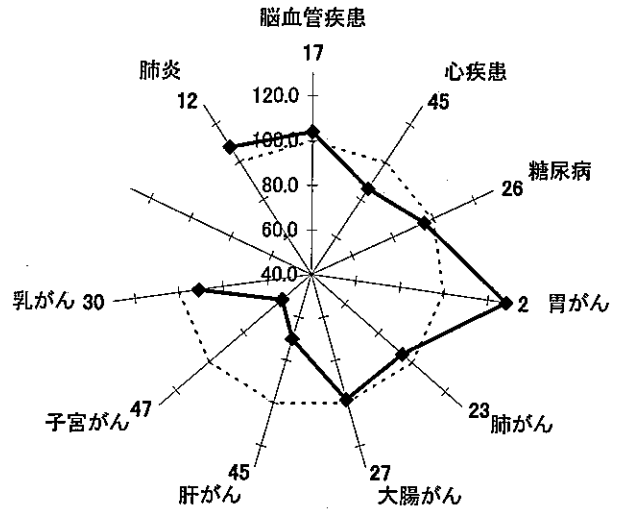
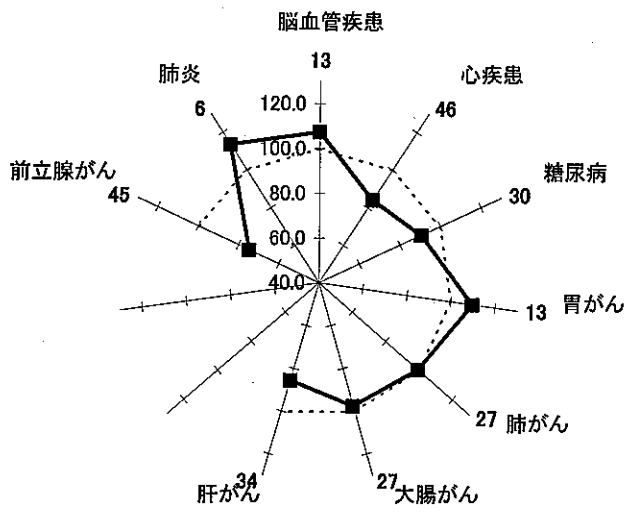
注：グラフ先端の数字は都道府県別の標準化死亡比の順位である。

# 富山県

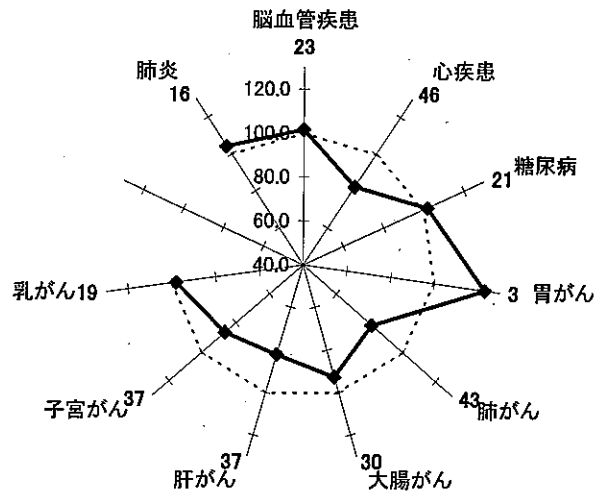
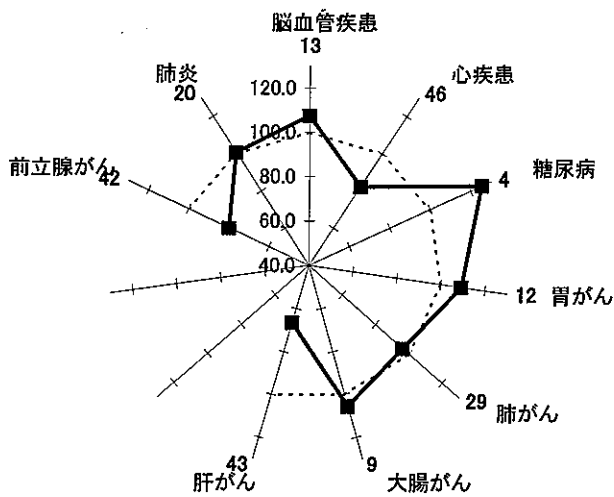
男

女

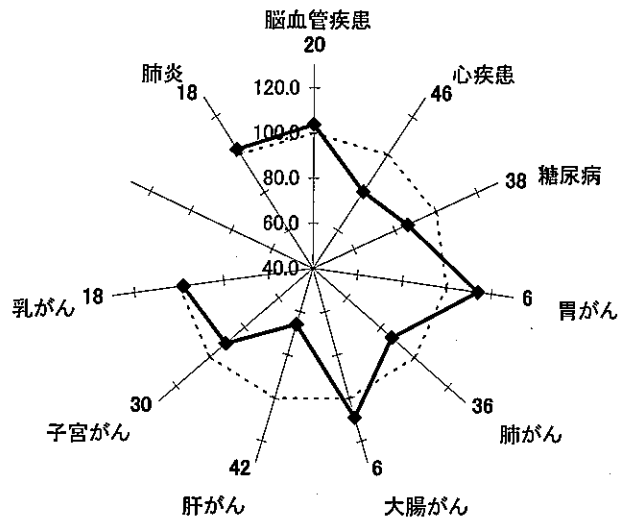
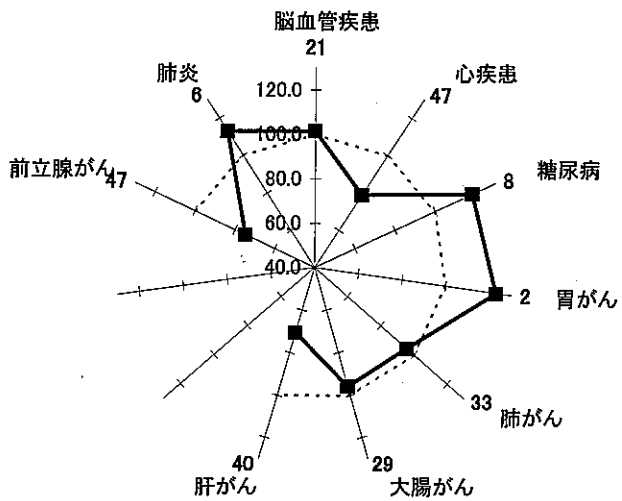
平成18年



平成17年



平成16年



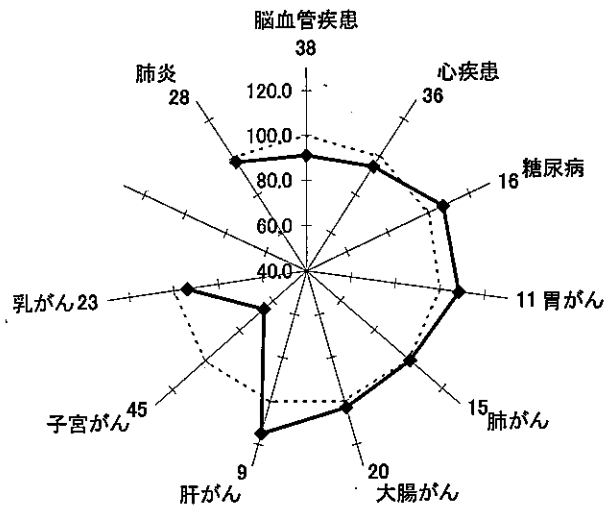
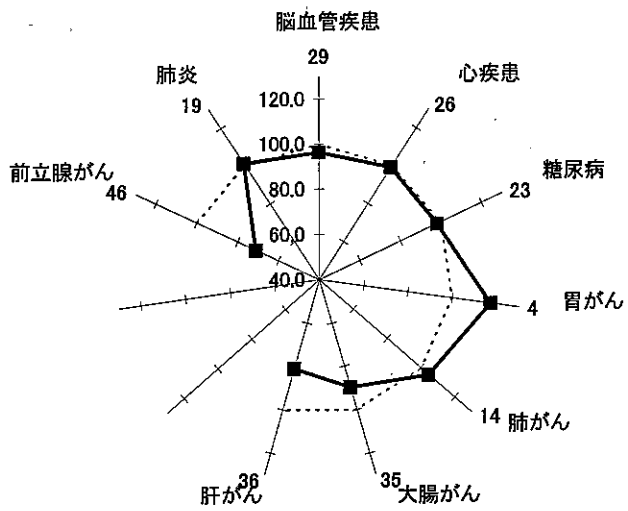
注：グラフ先端の数字は都道府県別の標準化死亡比の順位である。

# 石川県

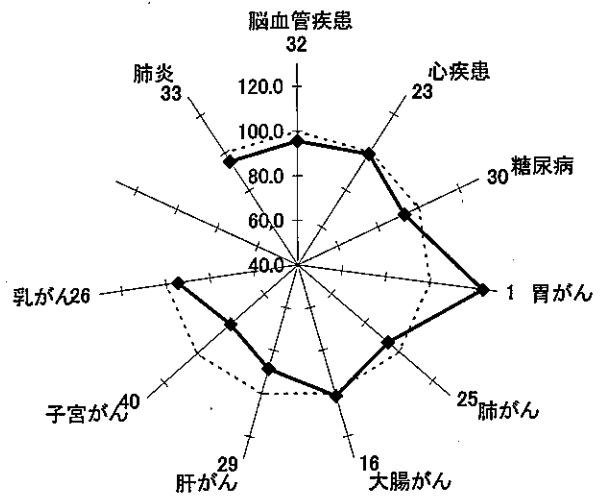
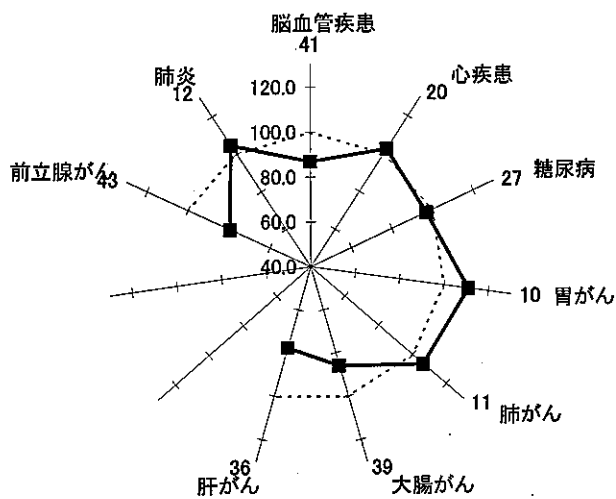
男

女

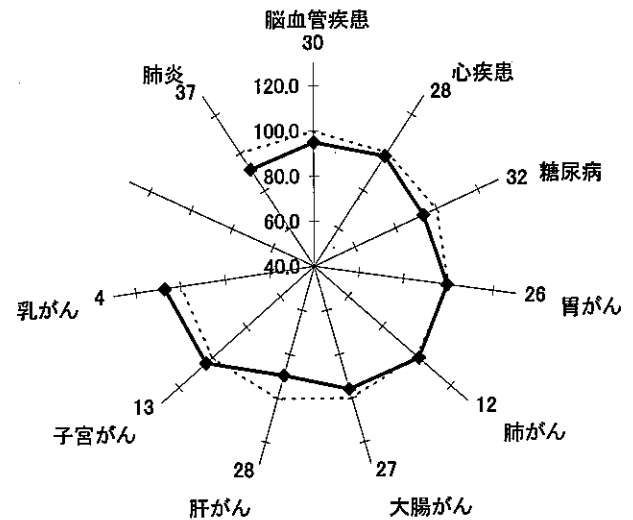
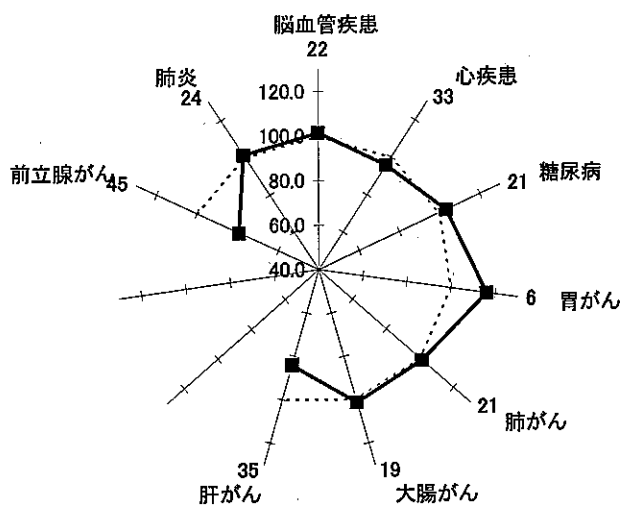
平成18年



平成17年



平成16年



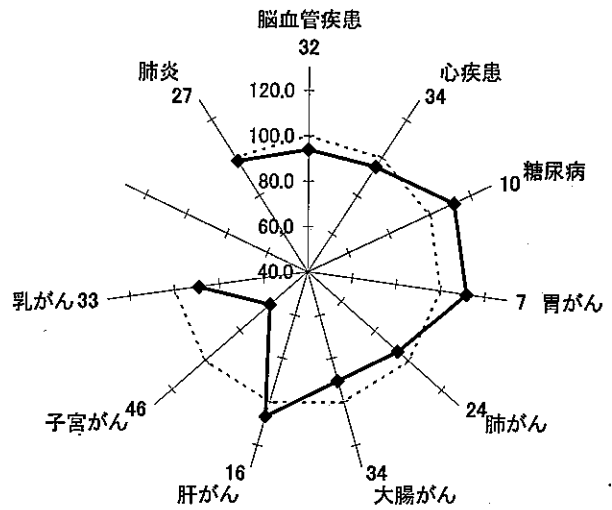
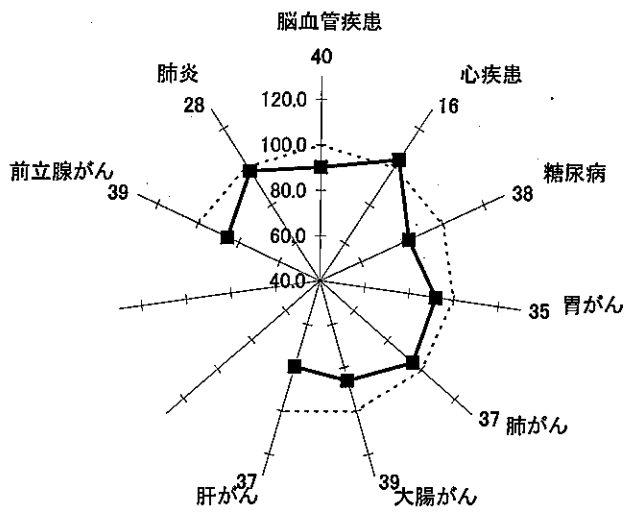
注：グラフ先端の数字は都道府県別の標準化死亡比の順位である。

# 福井県

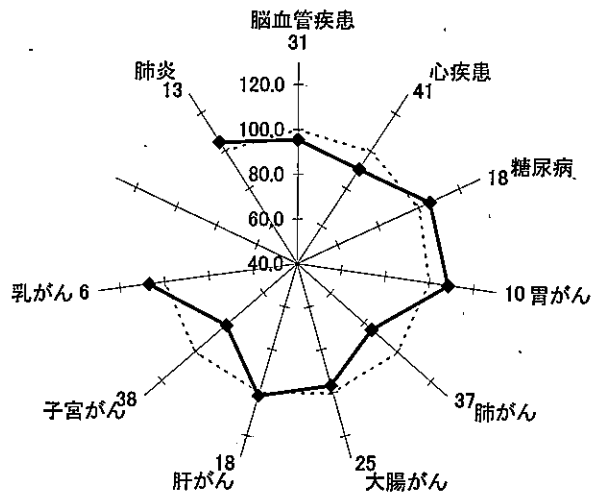
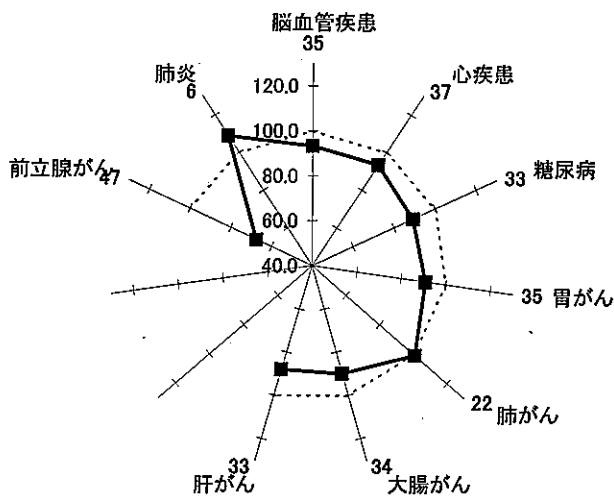
男

女

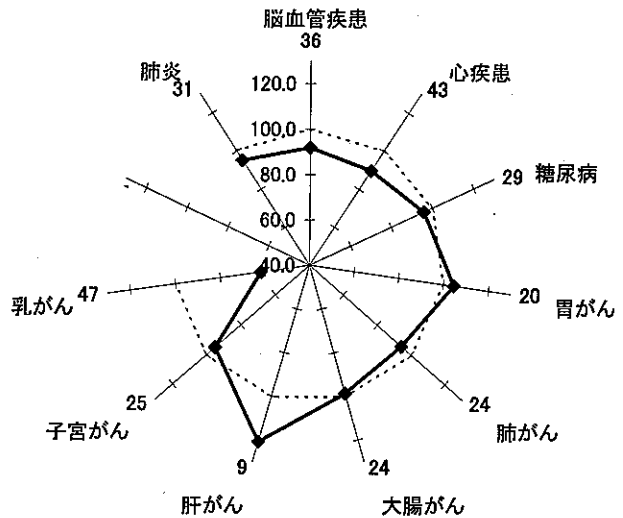
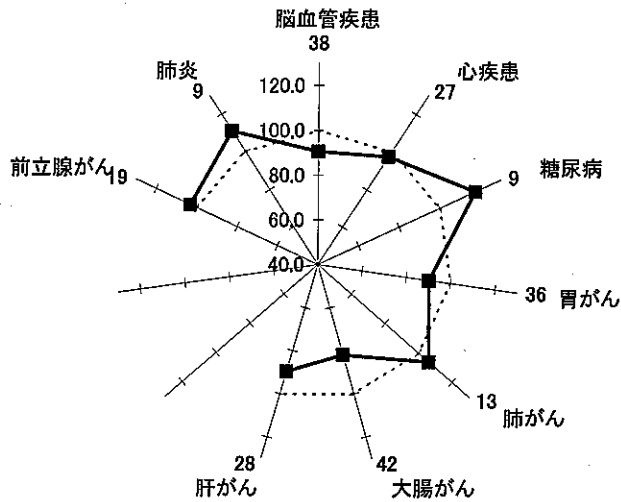
平成18年



平成17年



平成16年



注：グラフ先端の数字は都道府県別の標準化死亡比の順位である。

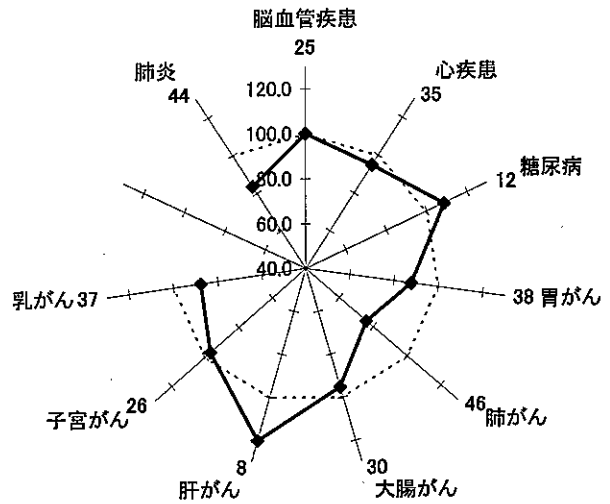
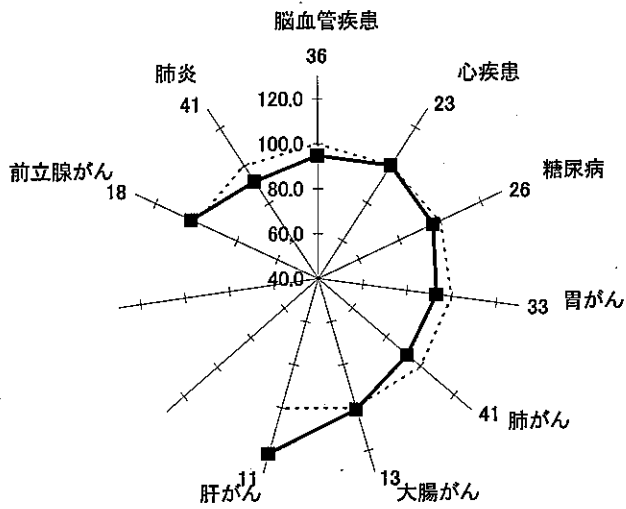


# 山梨県

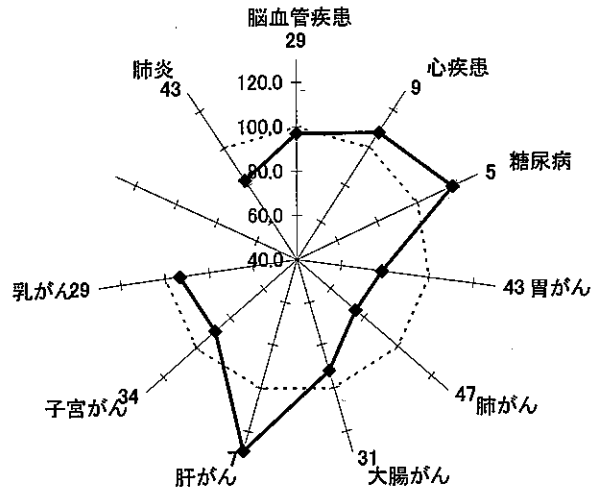
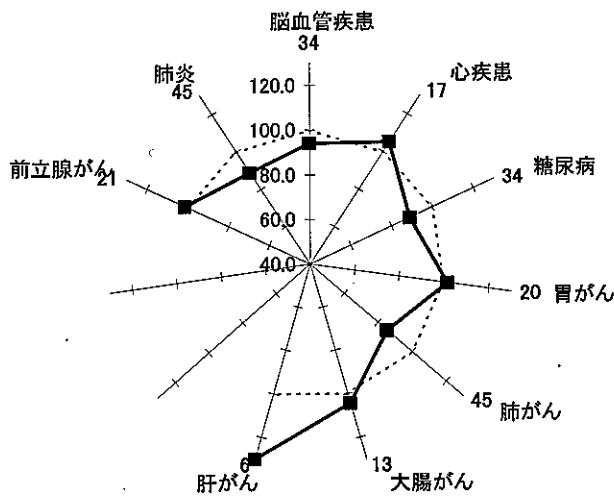
男

女

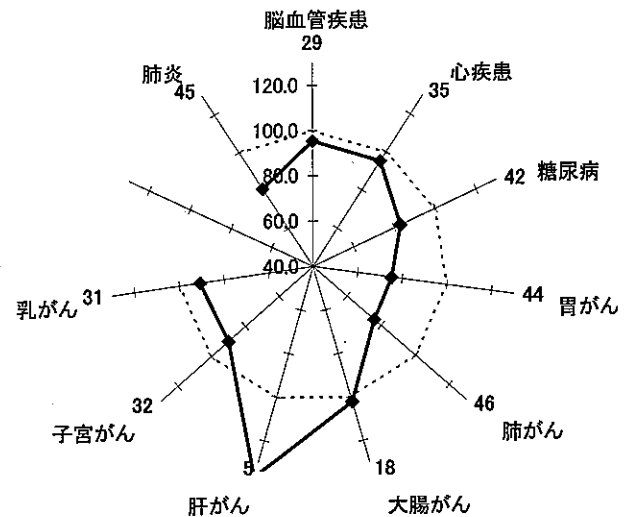
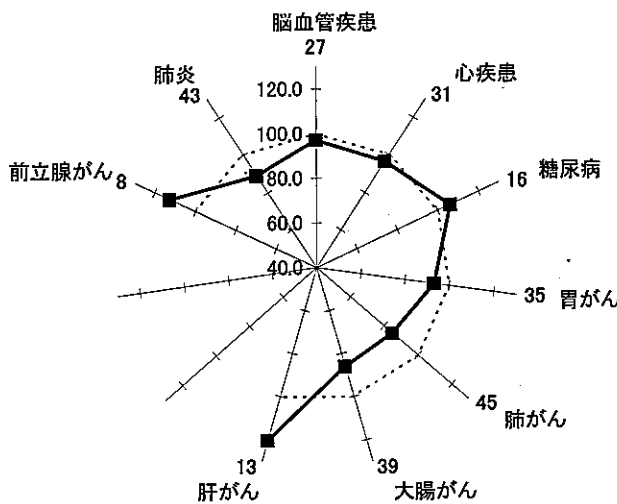
平成18年



平成17年



平成16年



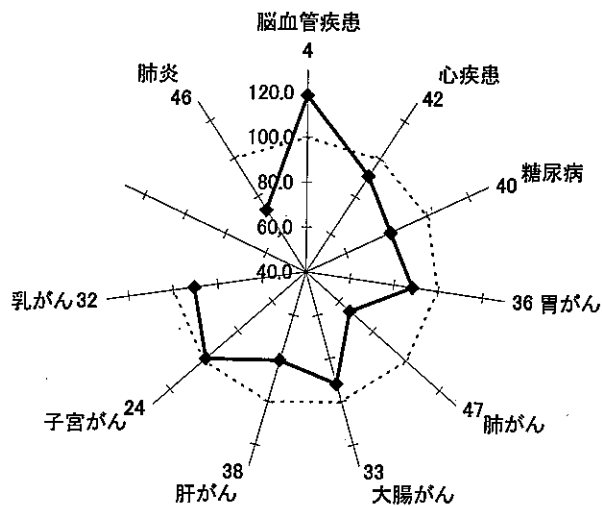
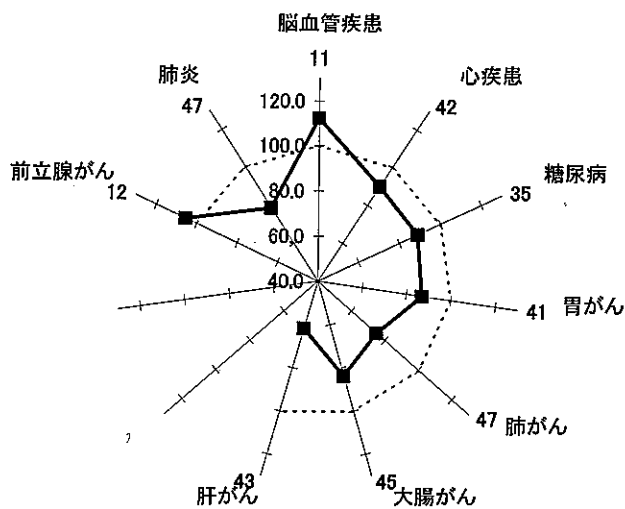
注：グラフ先端の数字は都道府県別の標準化死亡比の順位である。

# 長野県

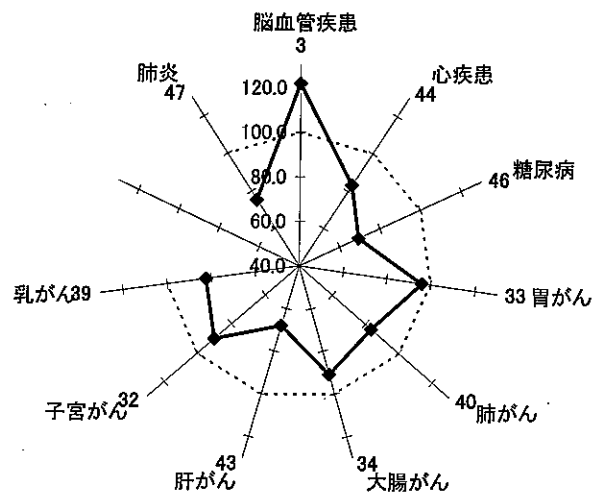
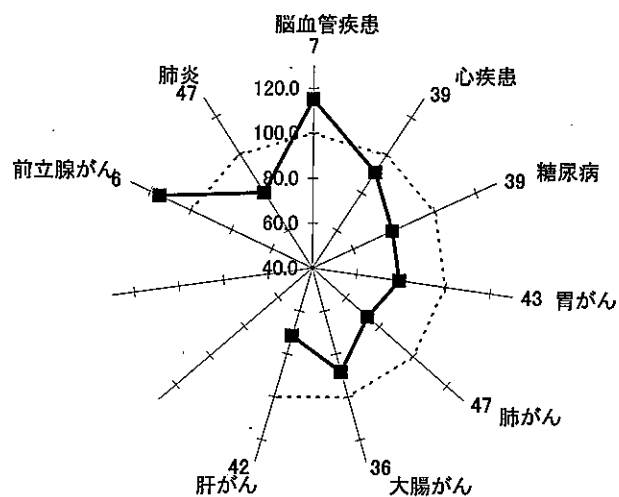
男

女

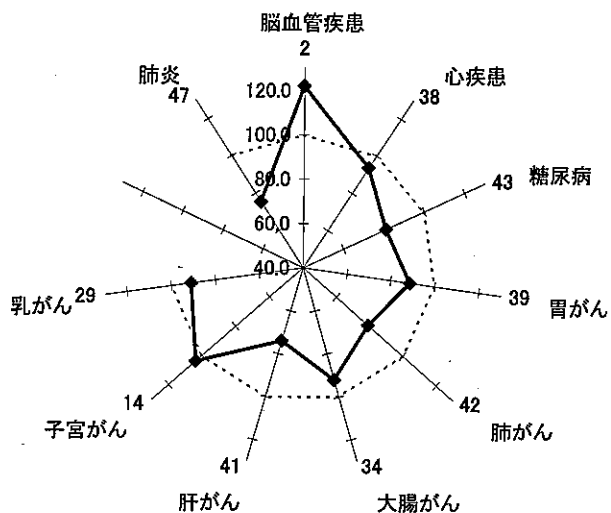
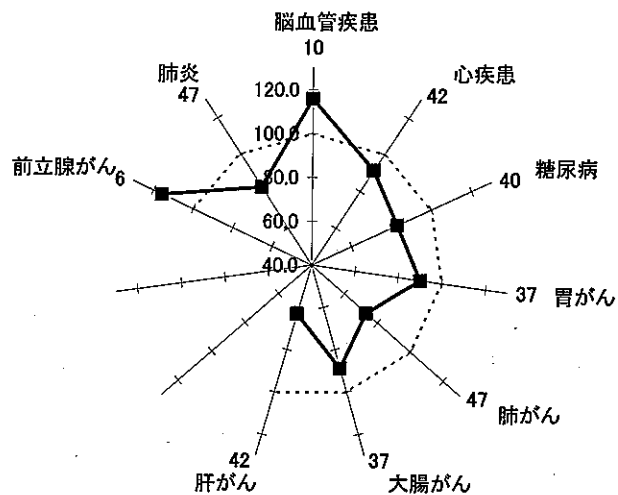
平成18年



平成17年



平成16年



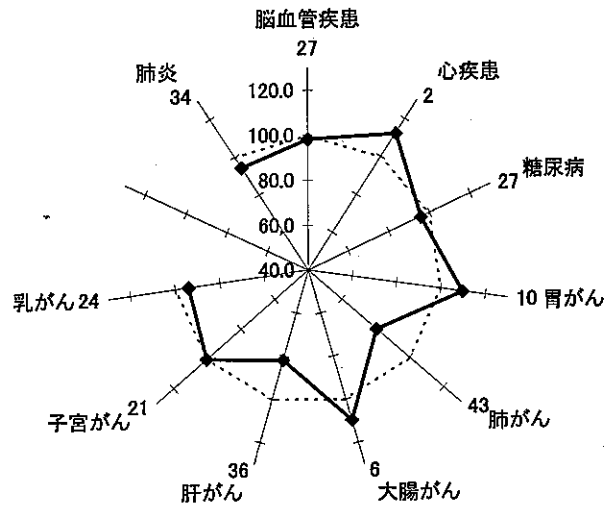
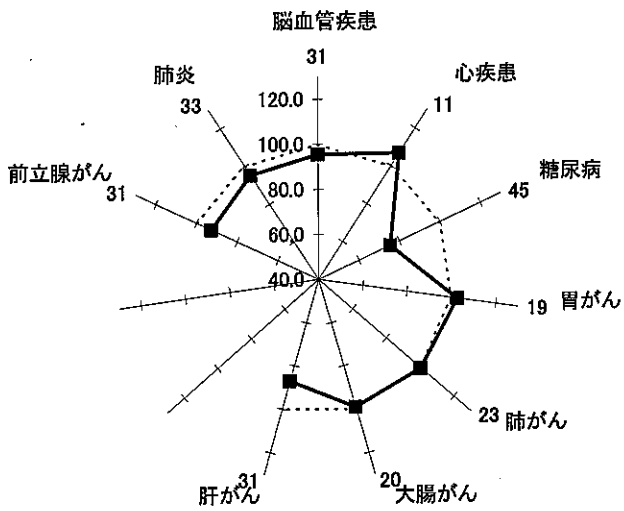
注：グラフ先端の数字は都道府県別の標準化死亡比の順位である。

# 岐阜県

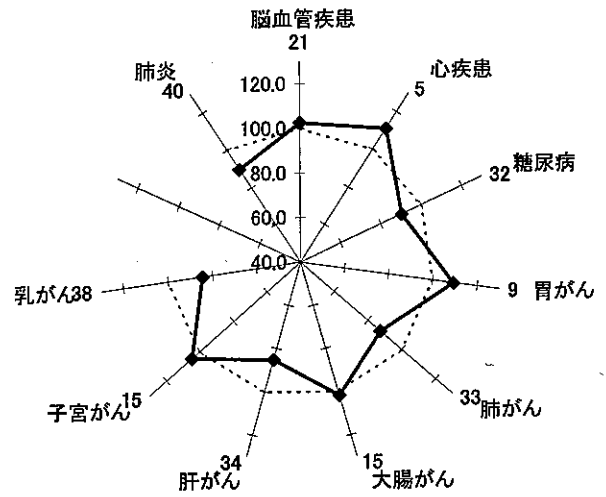
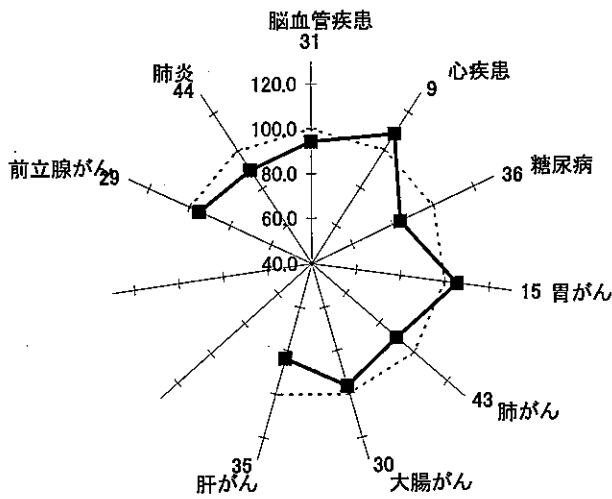
## 男

## 女

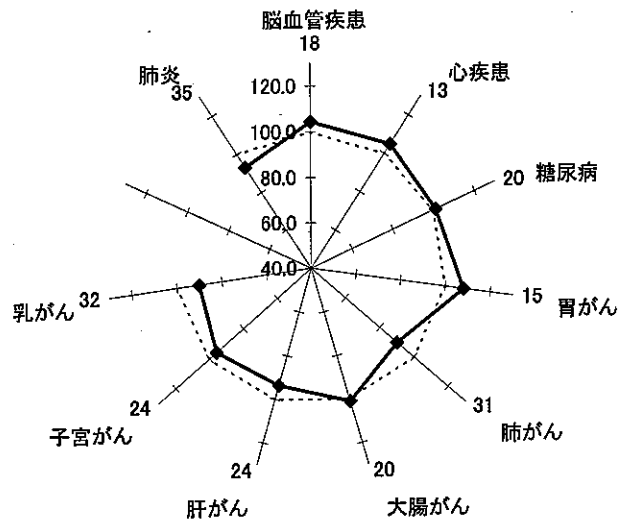
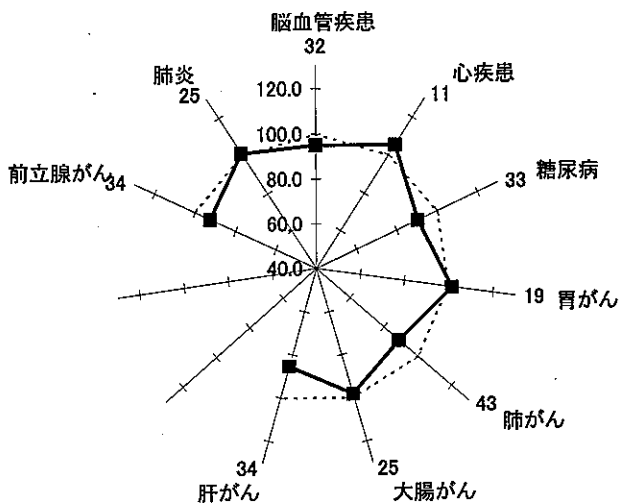
### 平成18年



### 平成17年



### 平成16年



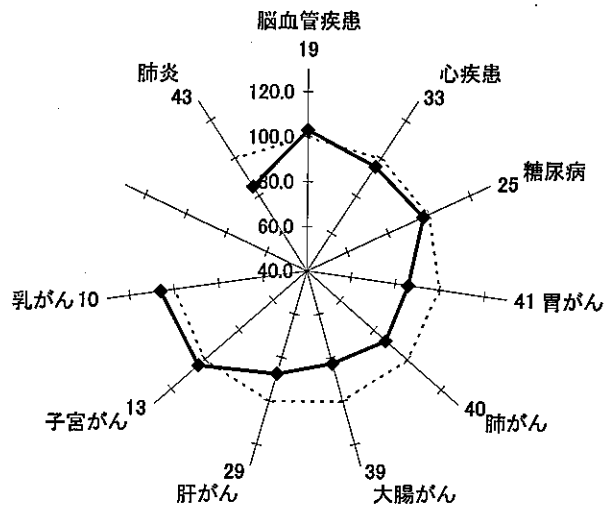
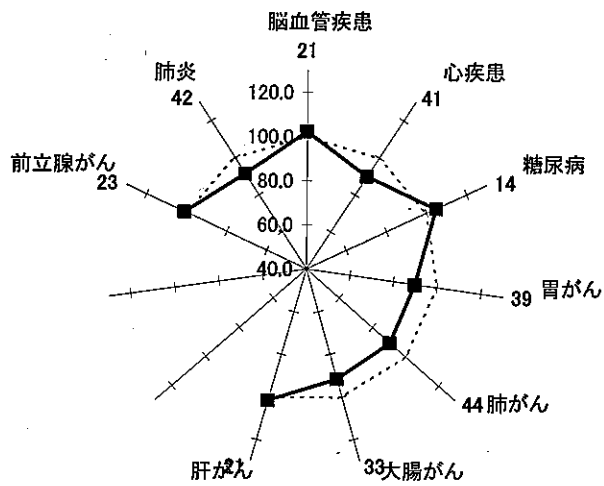
注：グラフ先端の数字は都道府県別の標準化死亡比の順位である。

# 静岡県

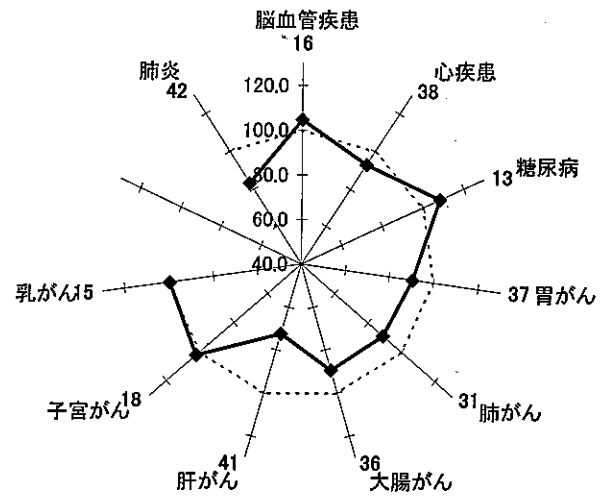
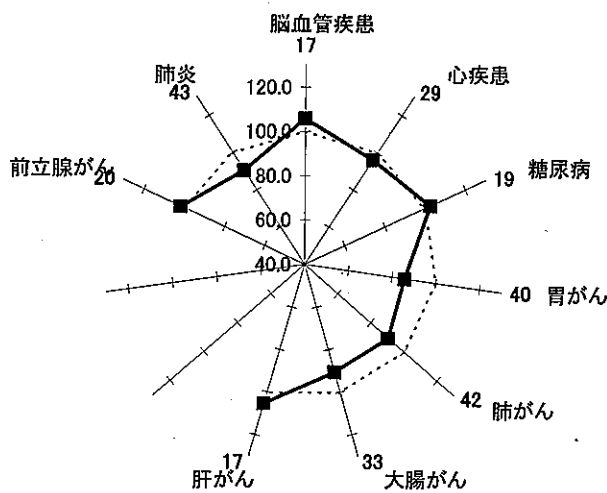
## 男

## 女

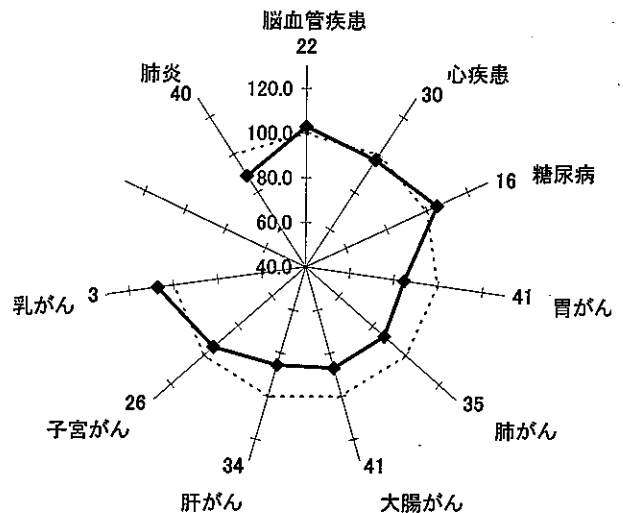
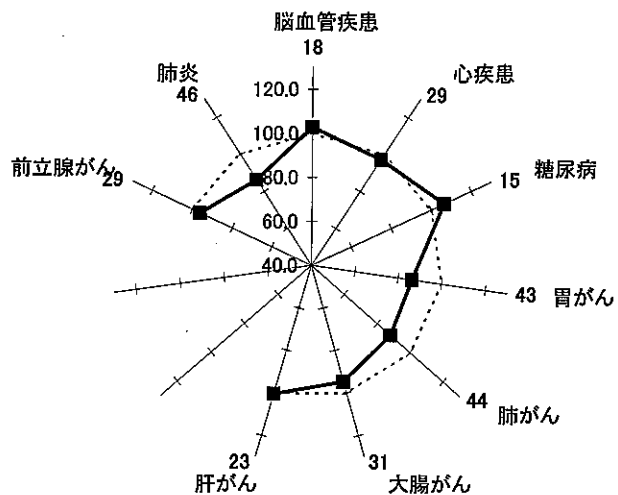
### 平成18年



### 平成17年



### 平成16年



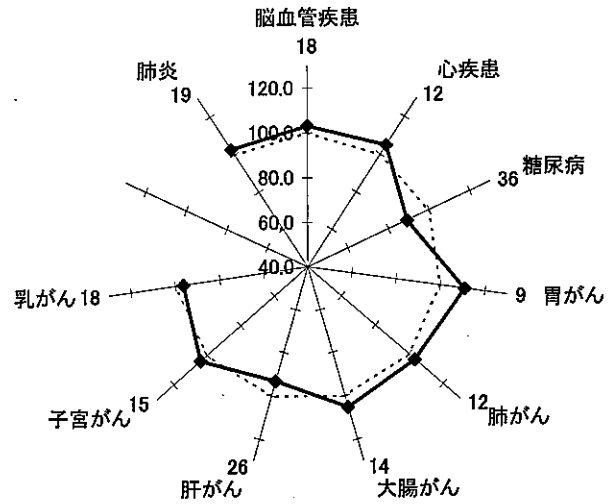
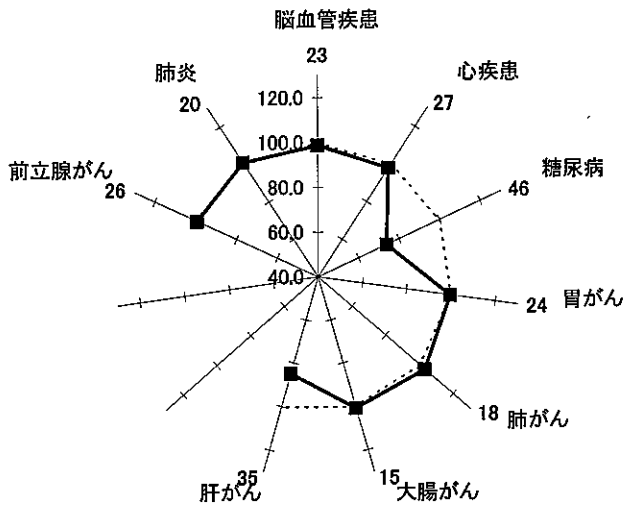
注：グラフ先端の数字は都道府県別の標準化死亡比の順位である。

# 愛知県

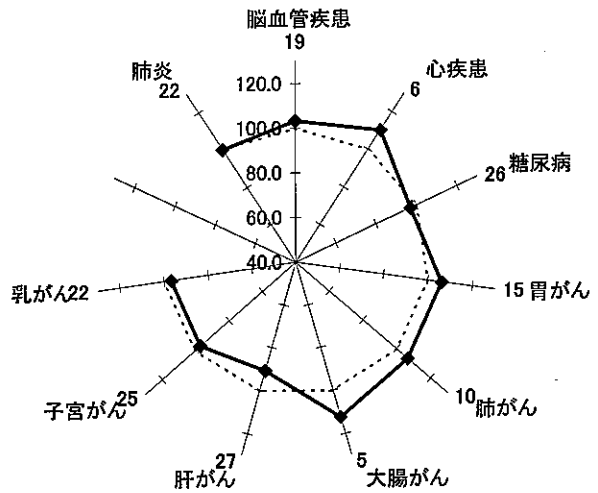
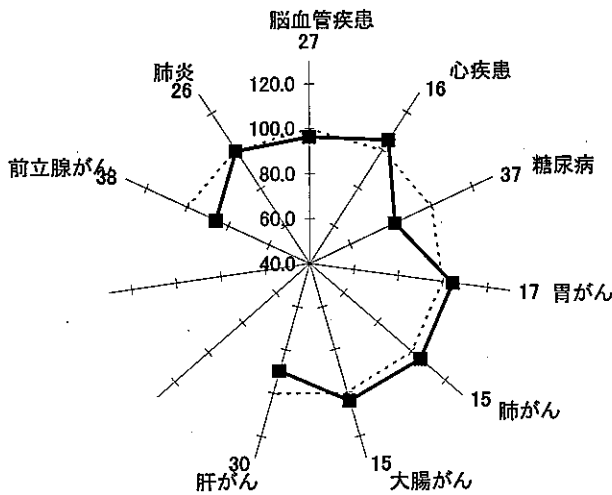
男

女

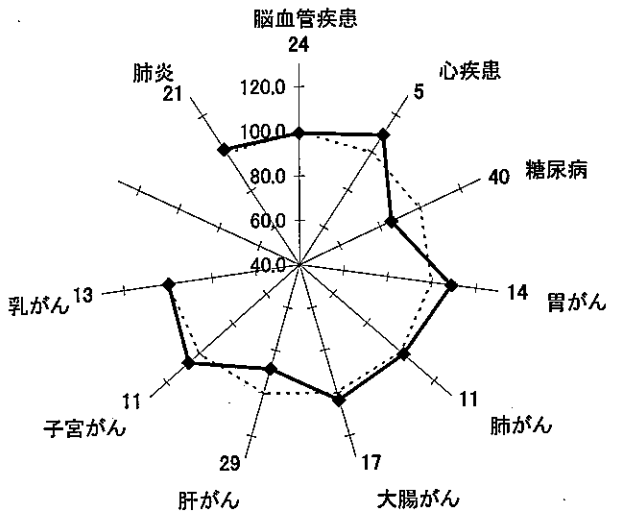
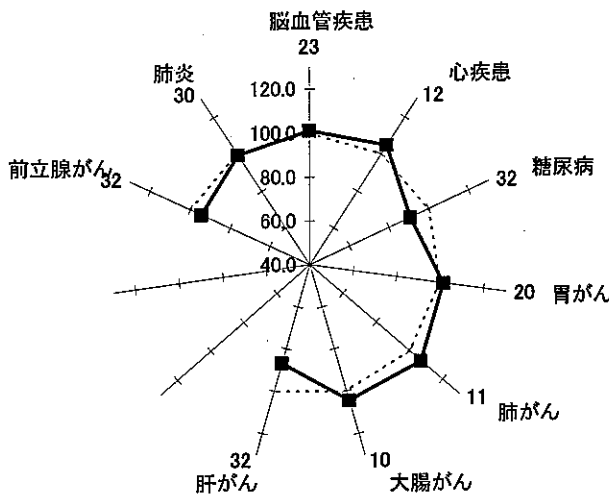
平成18年



平成17年



平成16年



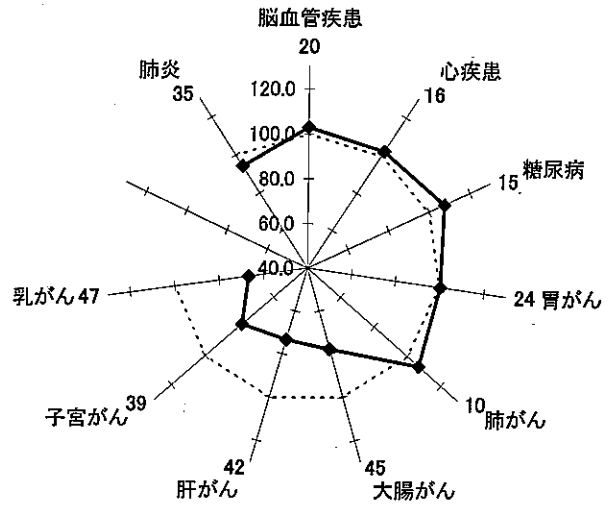
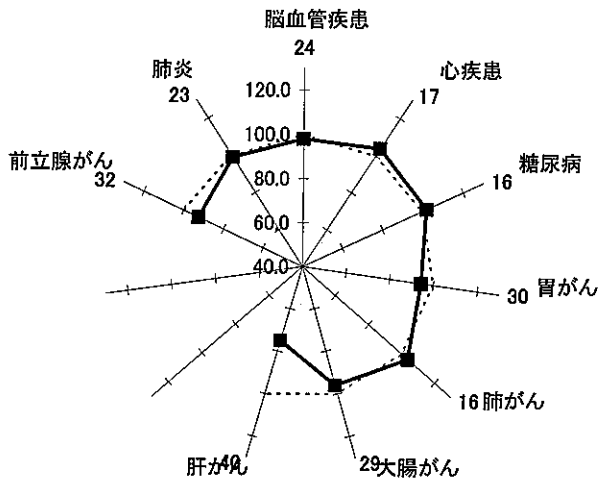
注：グラフ先端の数字は都道府県別の標準化死亡比の順位である。

# 三重県

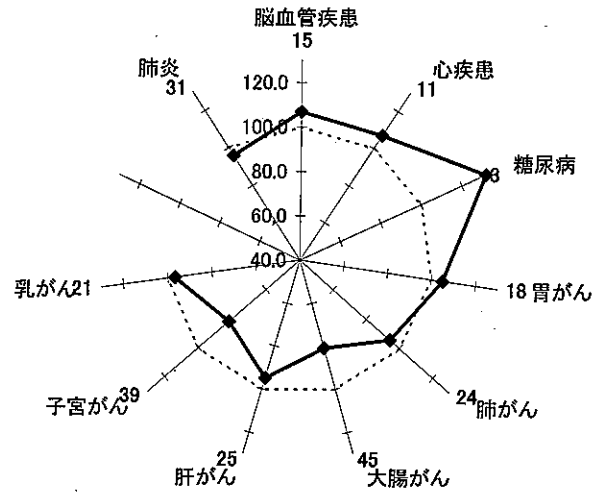
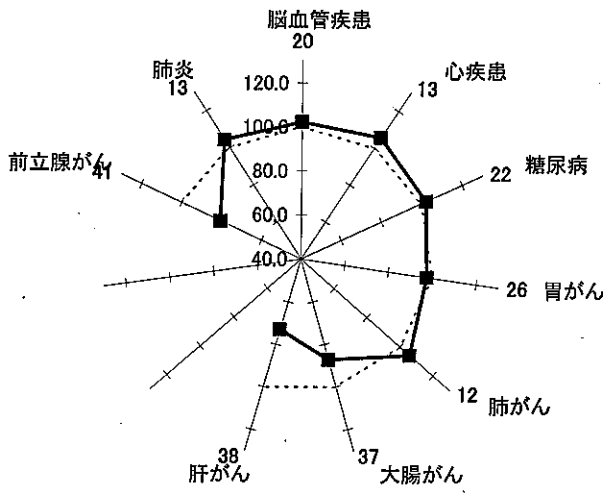
## 男

## 女

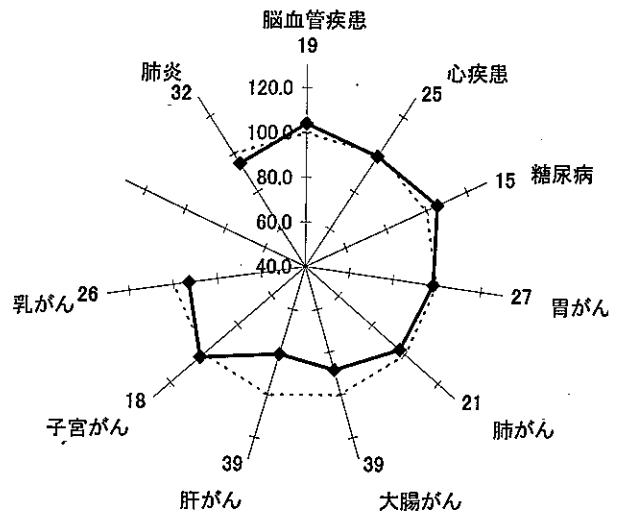
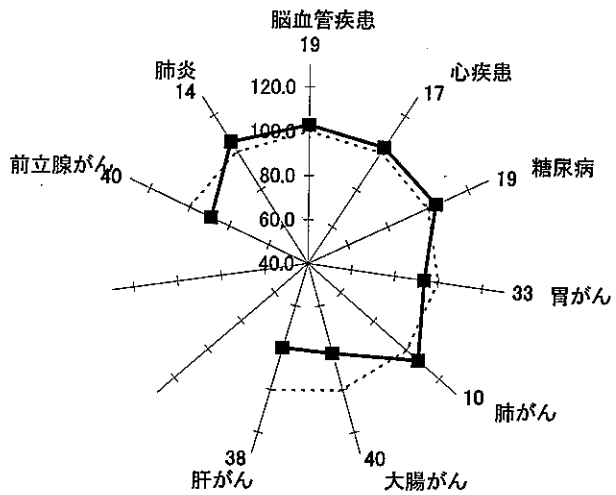
### 平成18年



### 平成17年



### 平成16年



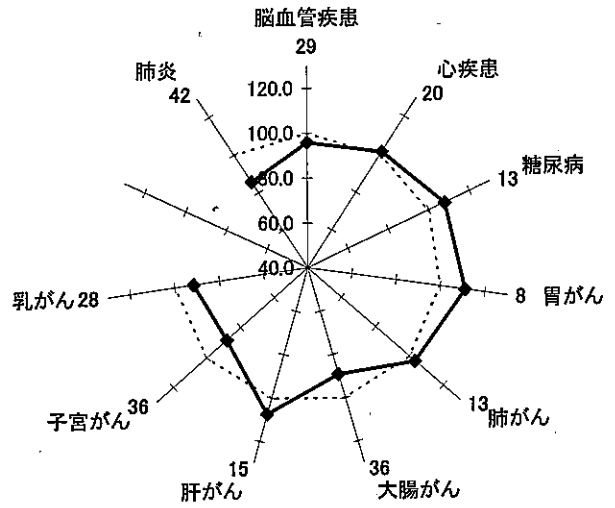
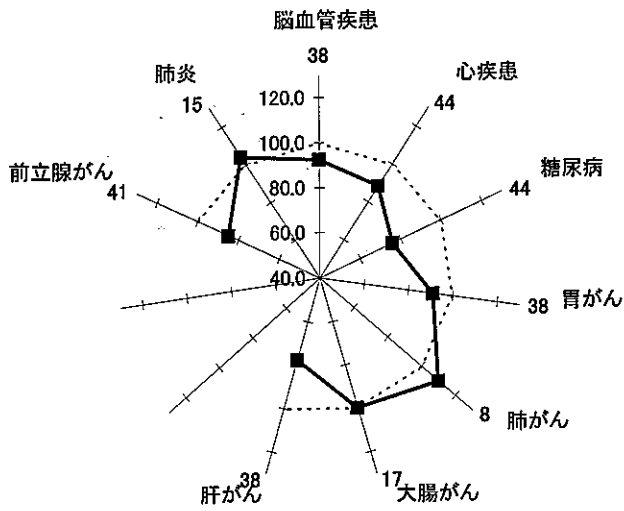
注：グラフ先端の数字は都道府県別の標準化死亡比の順位である。

# 滋賀県

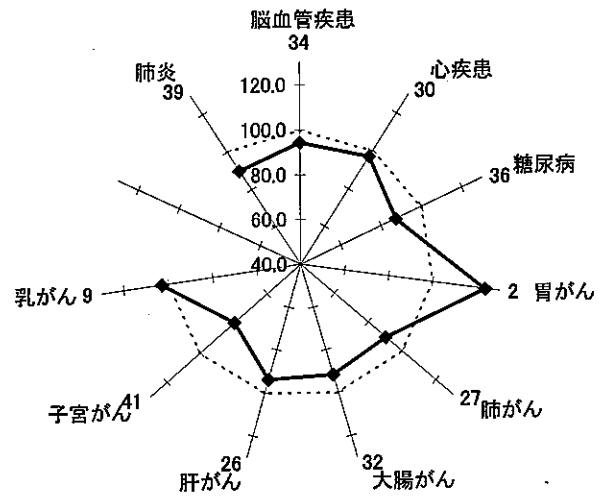
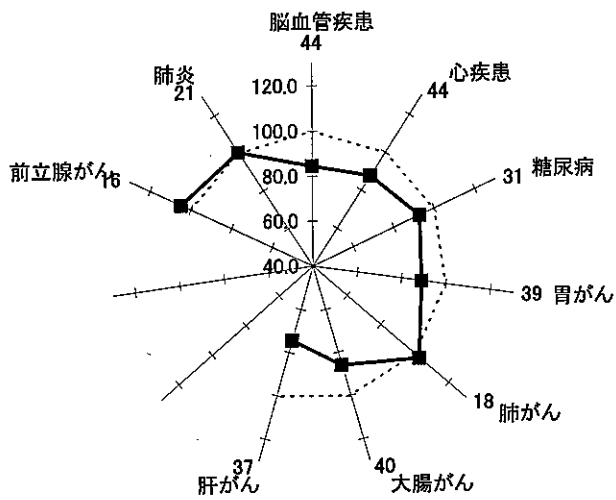
男

女

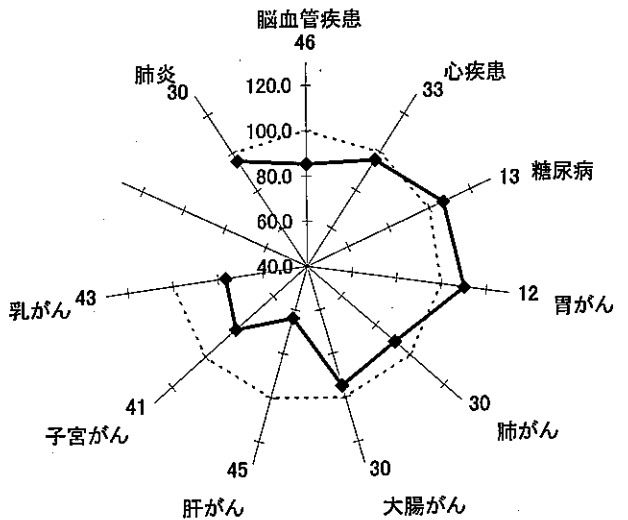
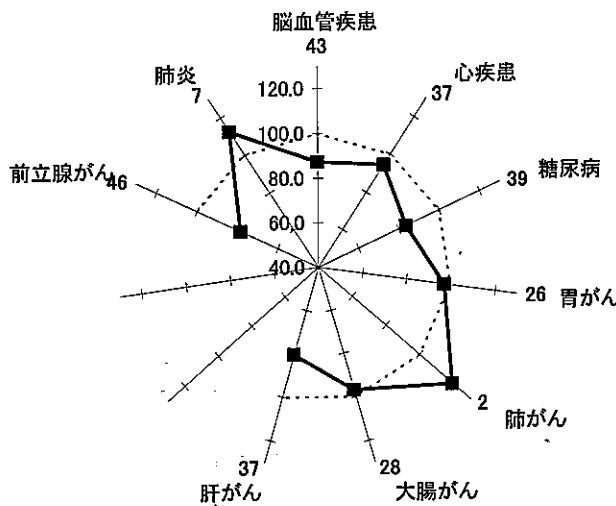
平成18年



平成17年



平成16年



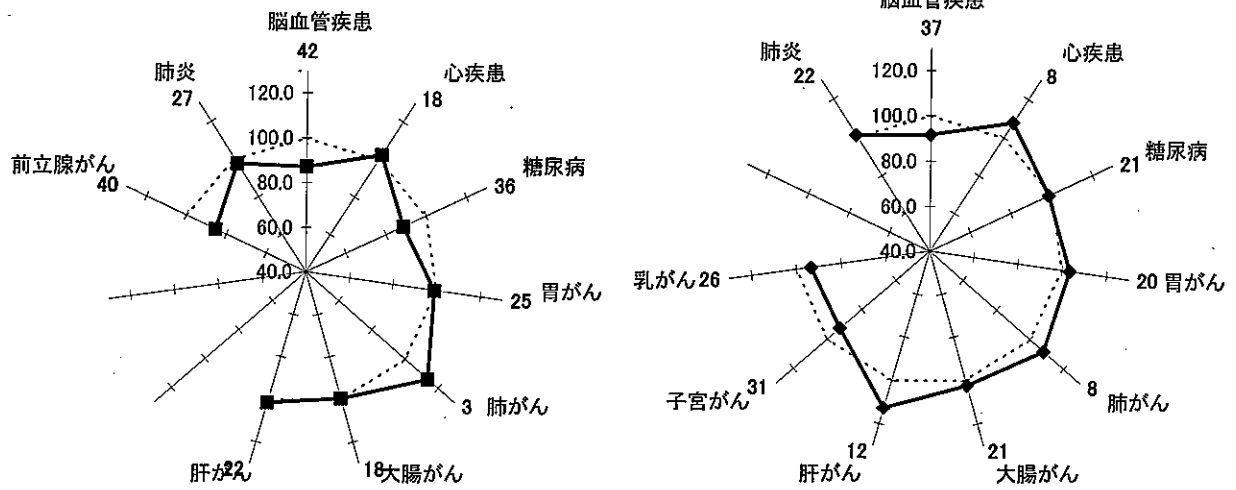
注：グラフ先端の数字は都道府県別の標準化死亡比の順位である。

# 京都府

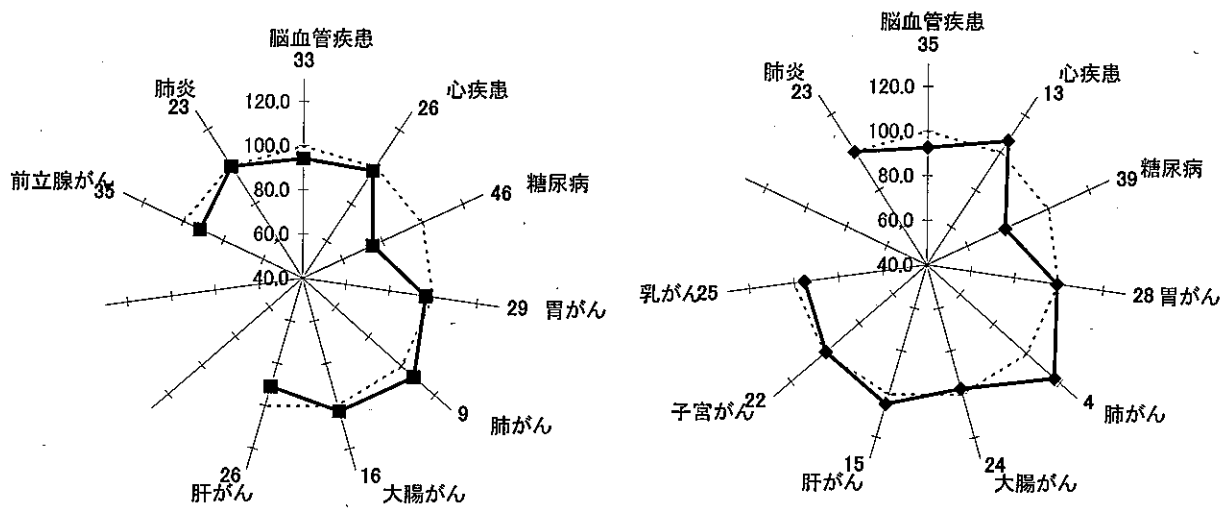
男

女

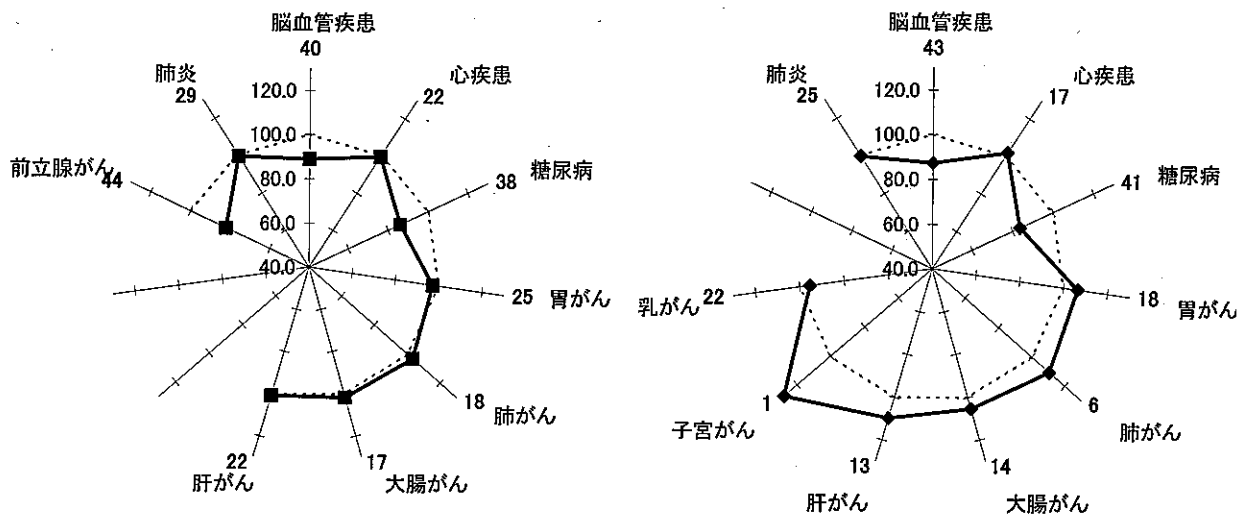
平成18年



平成17年



平成16年



注：グラフ先端の数字は都道府県別の標準化死亡比の順位である。

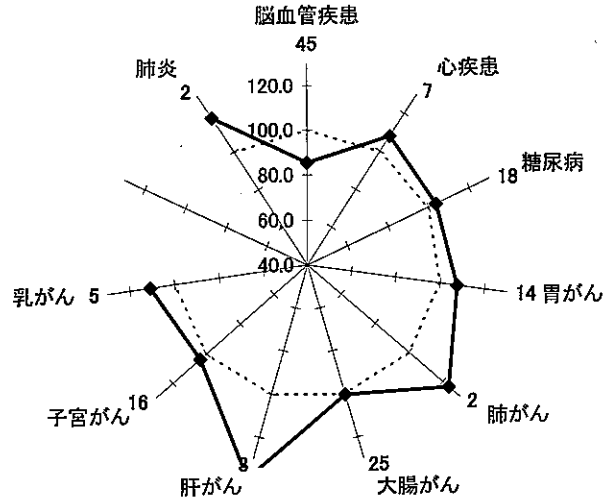
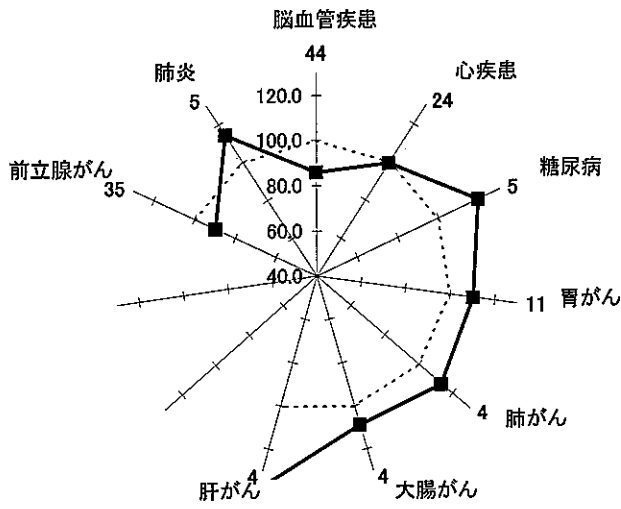


# 大阪府

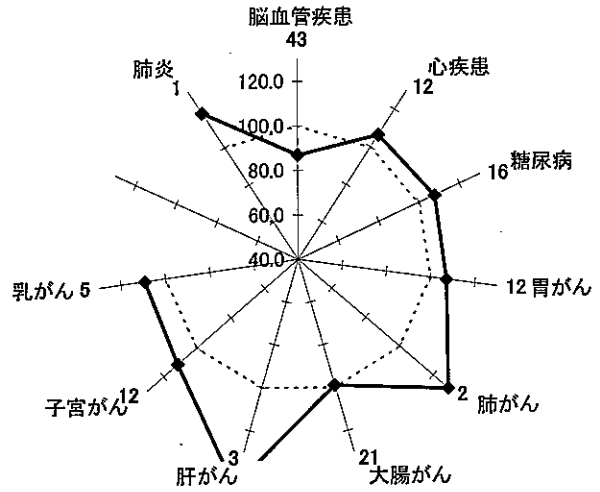
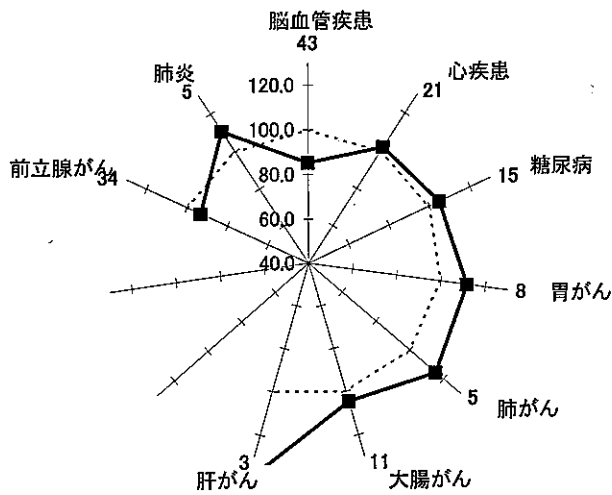
平成18年

男

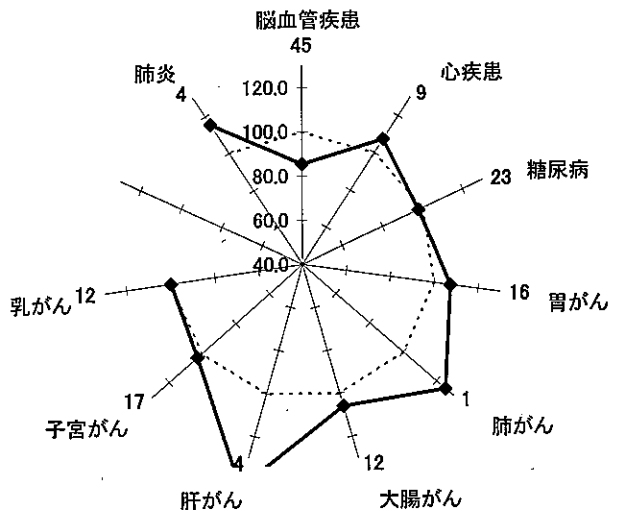
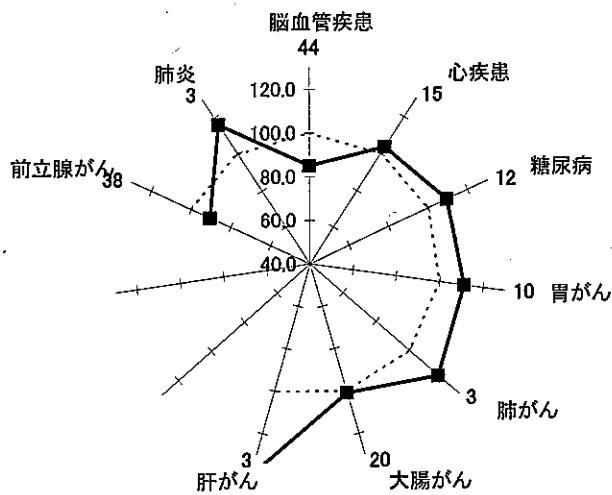
女



平成17年



平成16年



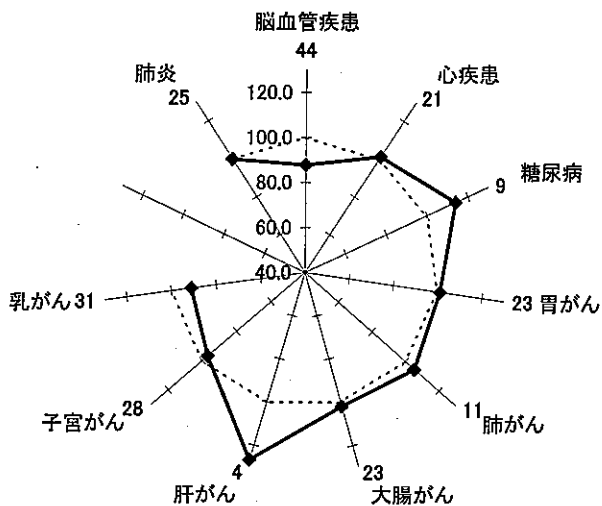
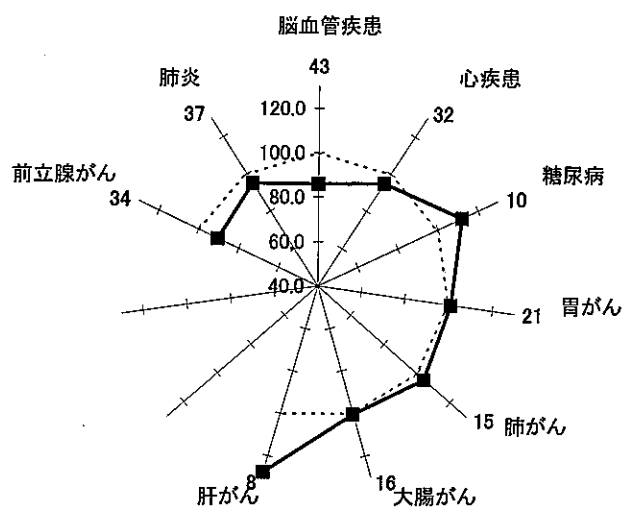
注：グラフ先端の数字は都道府県別の標準化死亡比の順位である。

# 兵庫県

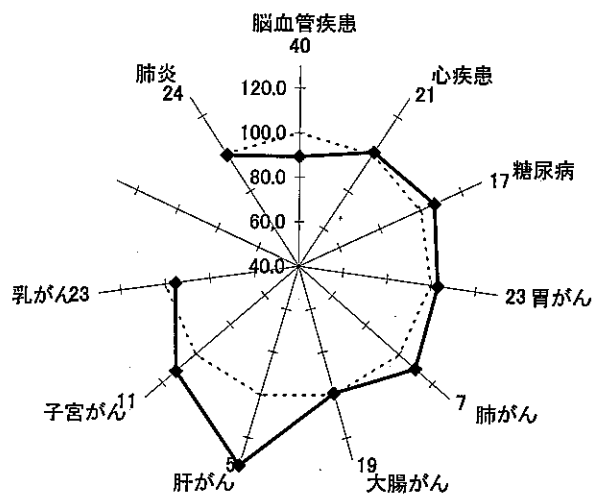
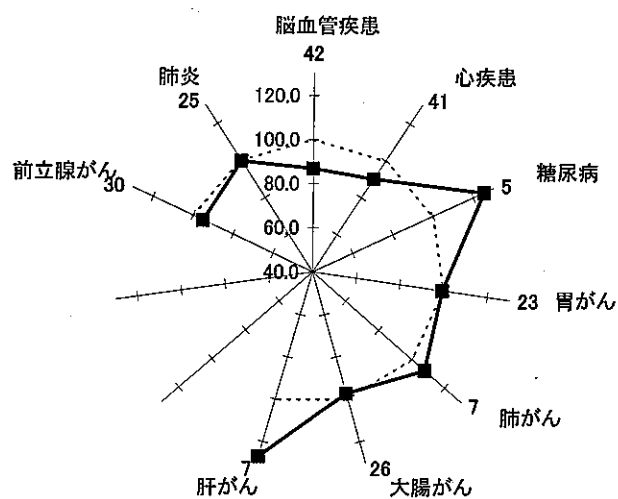
男

女

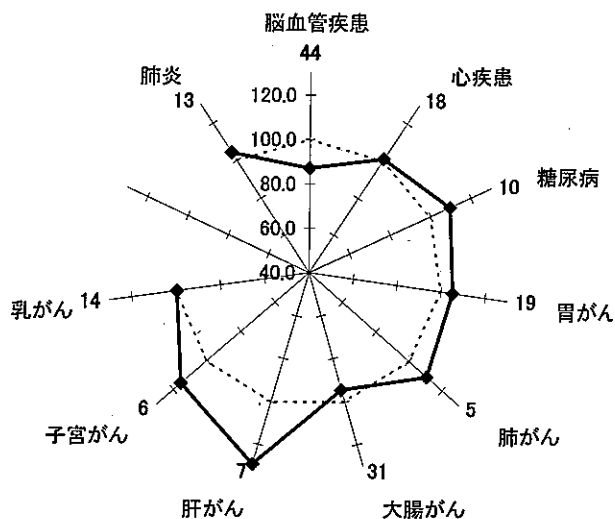
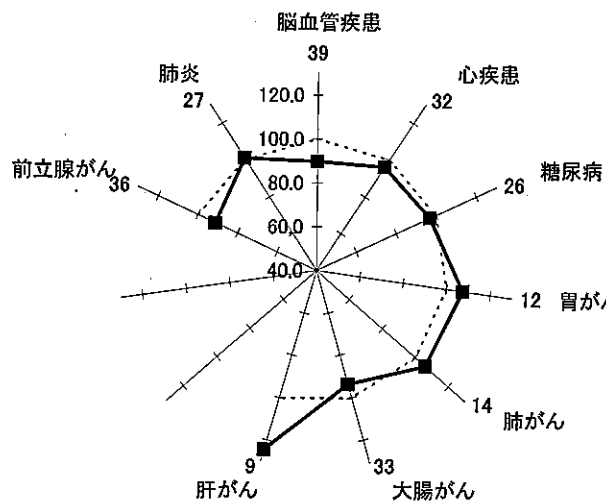
平成18年



平成17年



平成16年



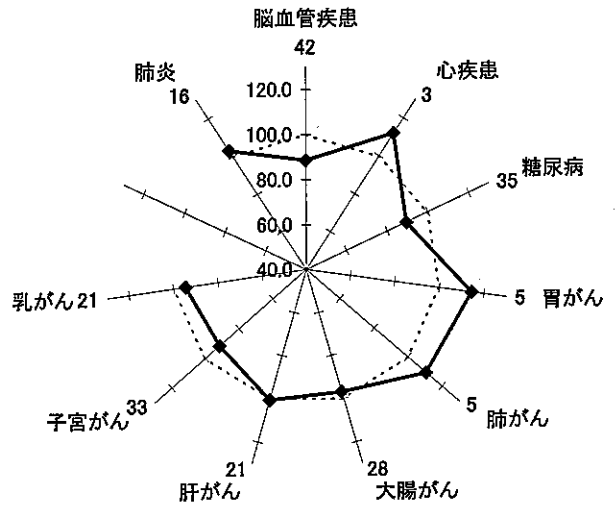
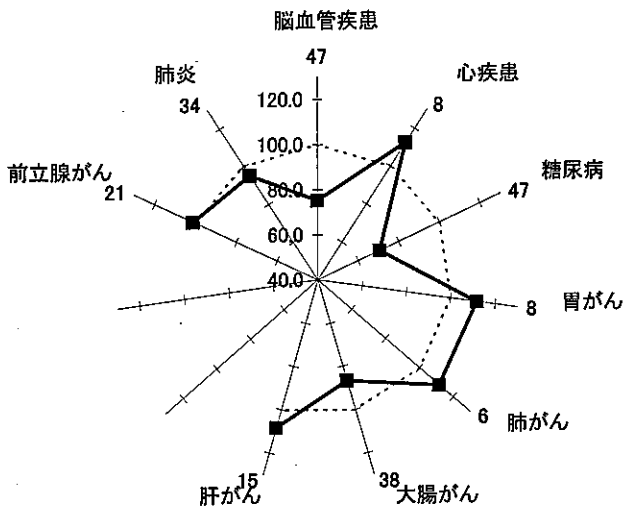
注：グラフ先端の数字は都道府県別の標準化死亡比の順位である。

# 奈良県

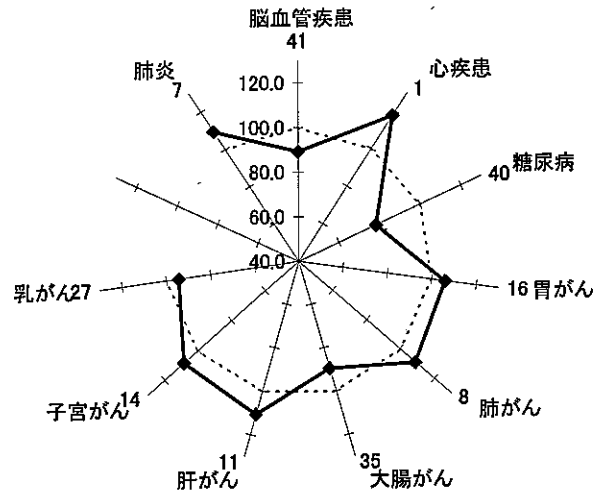
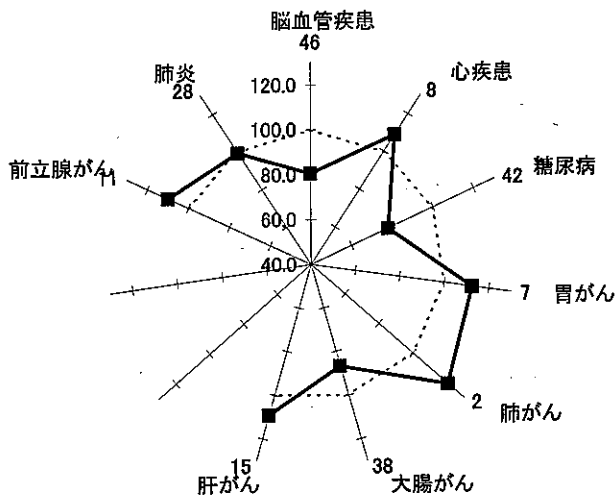
男

女

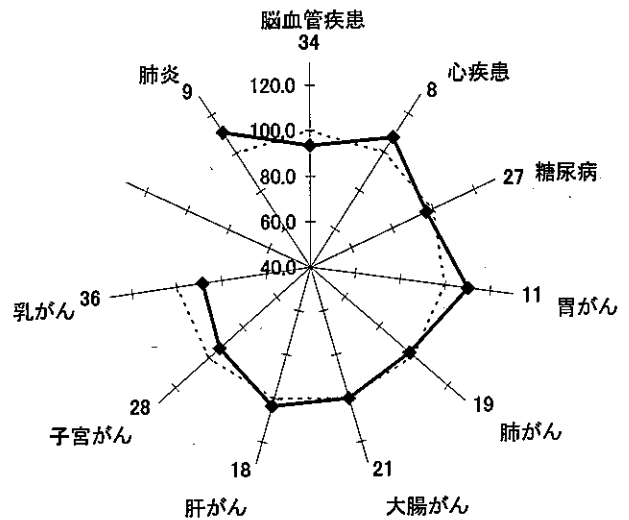
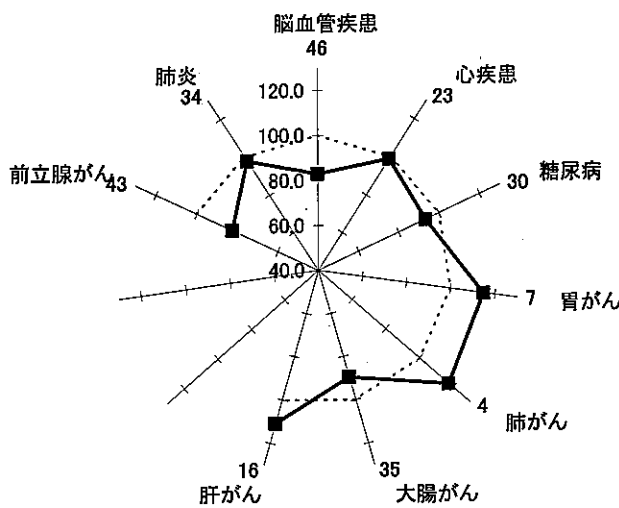
平成18年



平成17年



平成16年



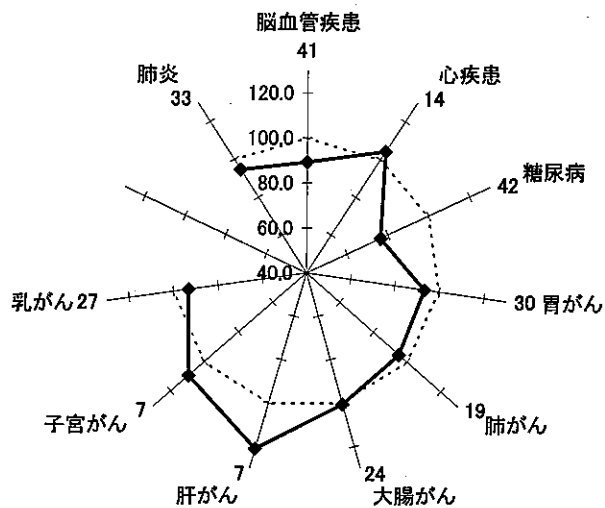
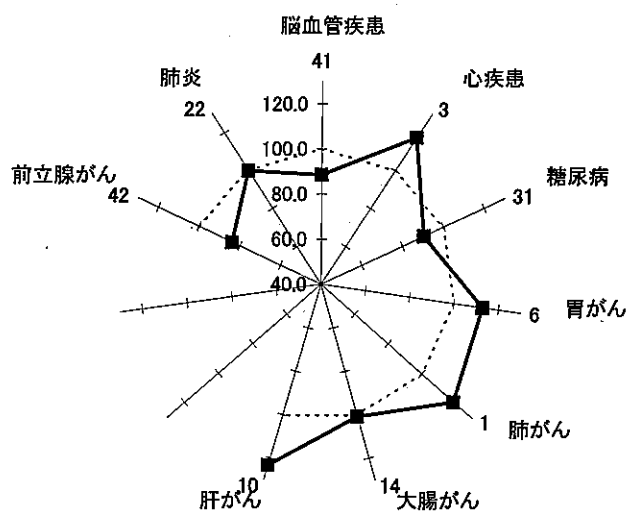
注：グラフ先端の数字は都道府県別の標準化死亡比の順位である。

# 和歌山県

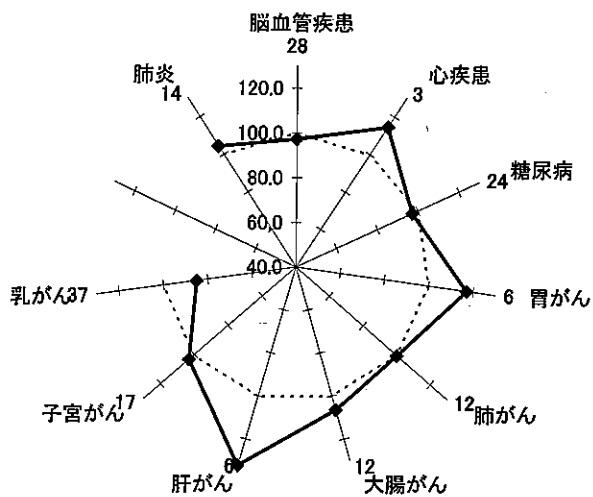
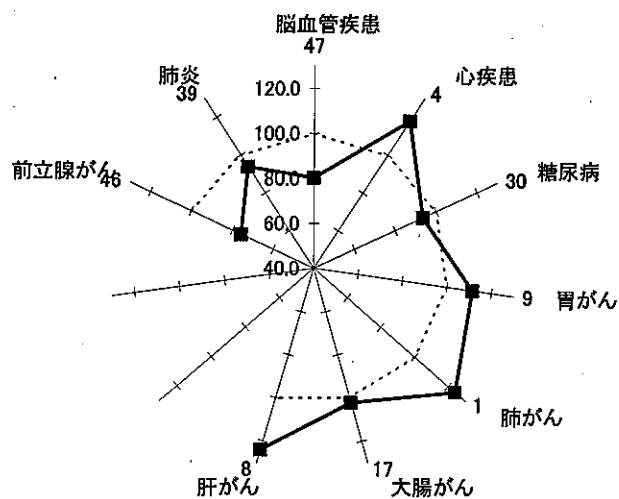
男

女

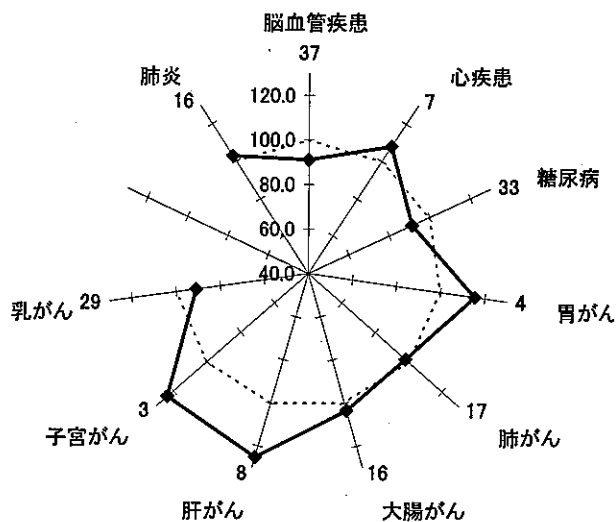
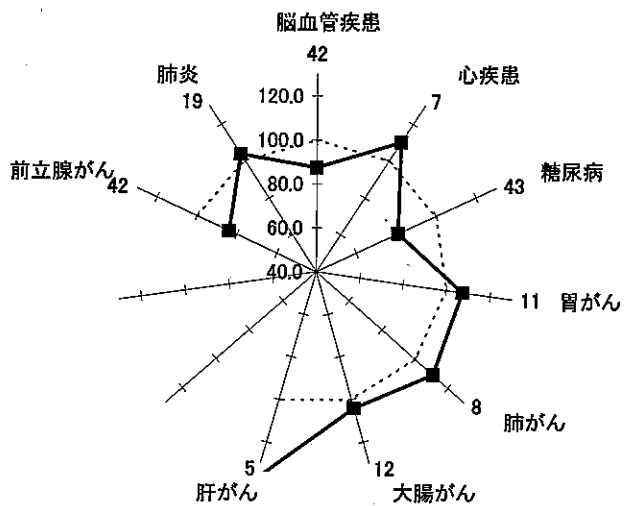
平成18年



平成17年



平成16年

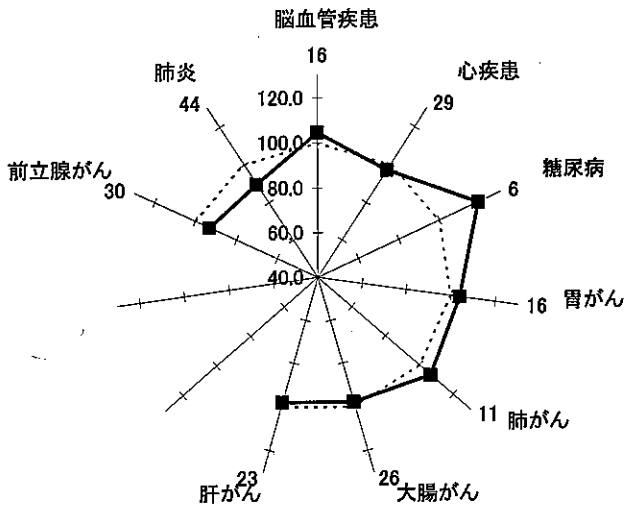


注：グラフ先端の数字は都道府県別の標準化死亡比の順位である。

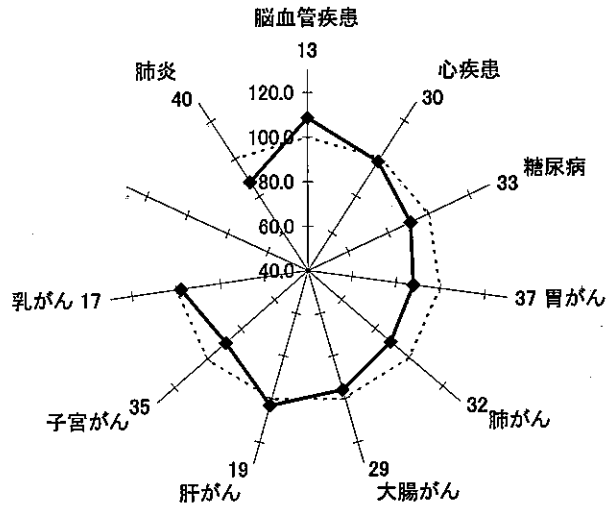
# 鳥取県

## 男

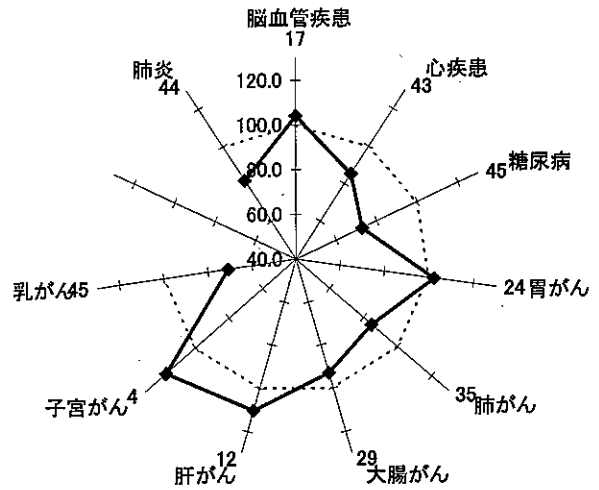
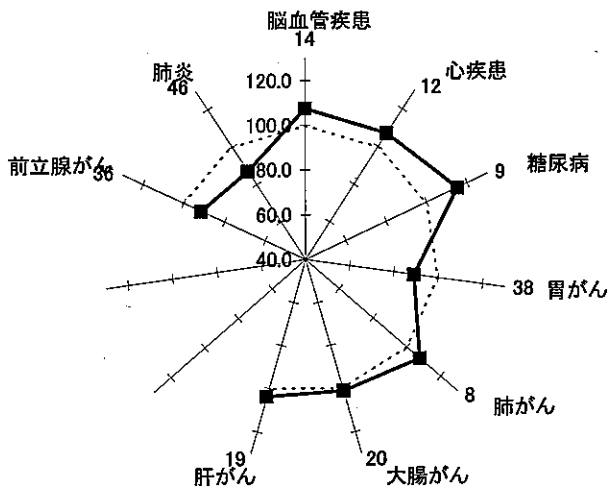
### 平成18年



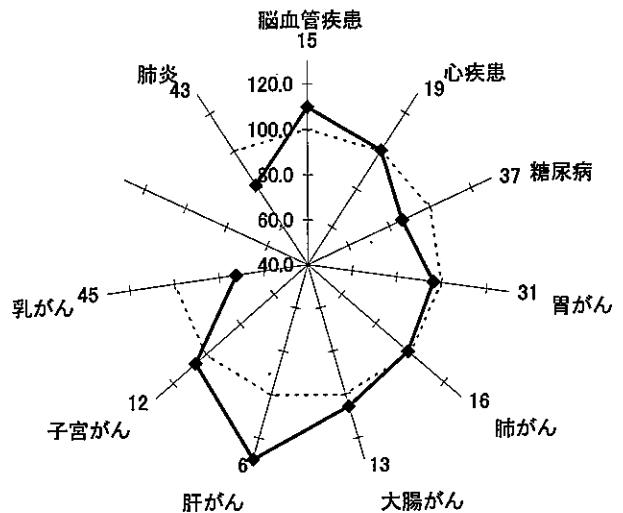
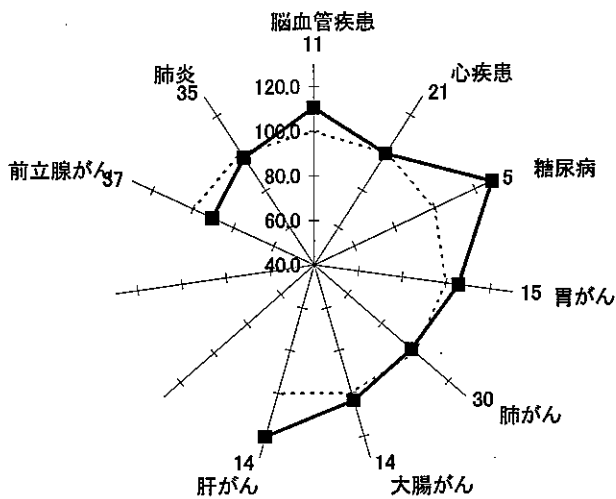
## 女



### 平成17年



### 平成16年



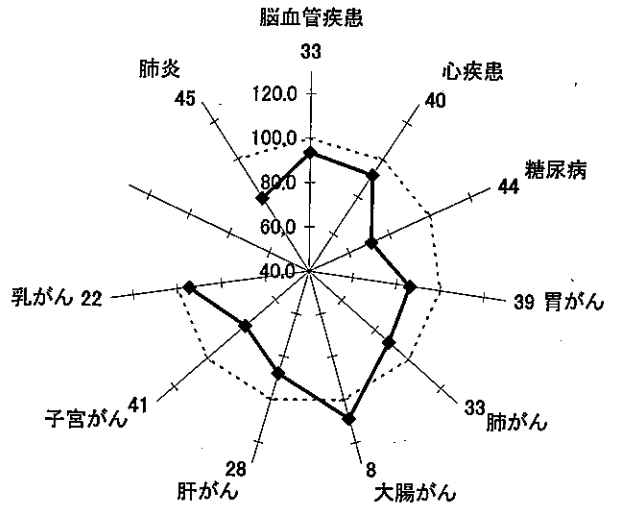
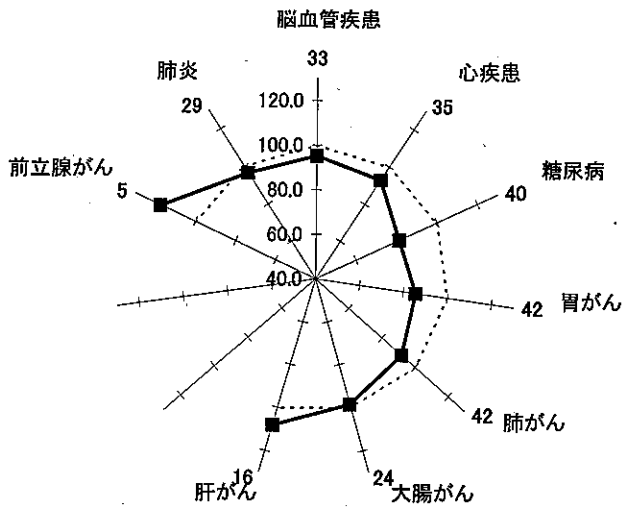
注：グラフ先端の数字は都道府県別の標準化死亡比の順位である。

# 島根県

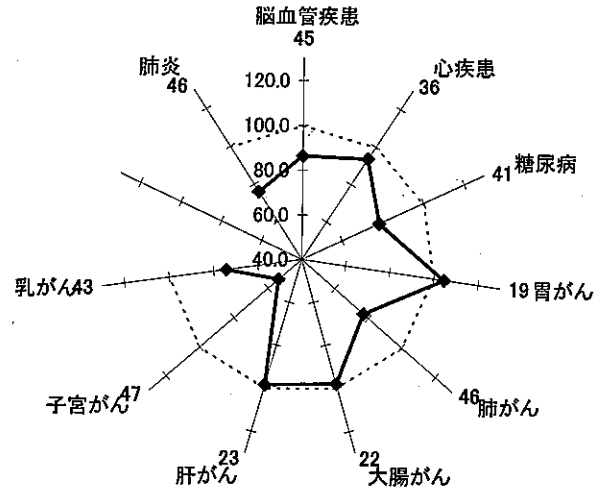
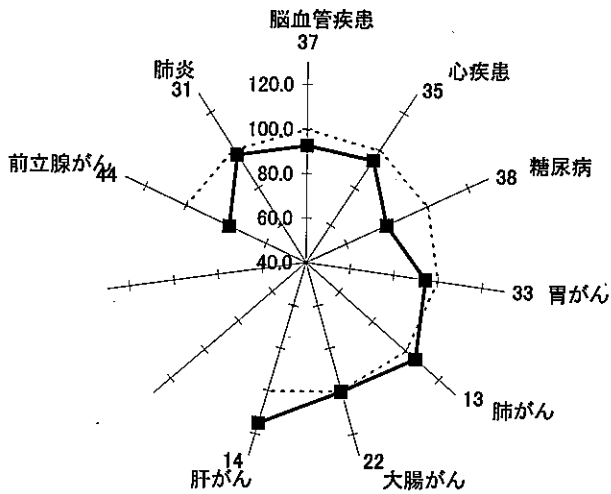
## 男

## 女

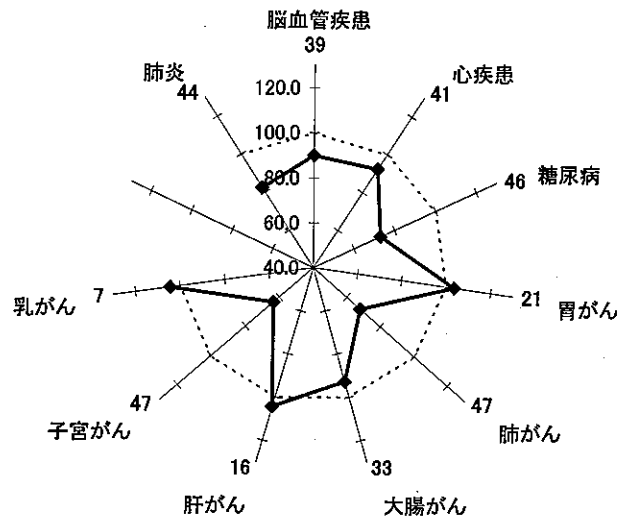
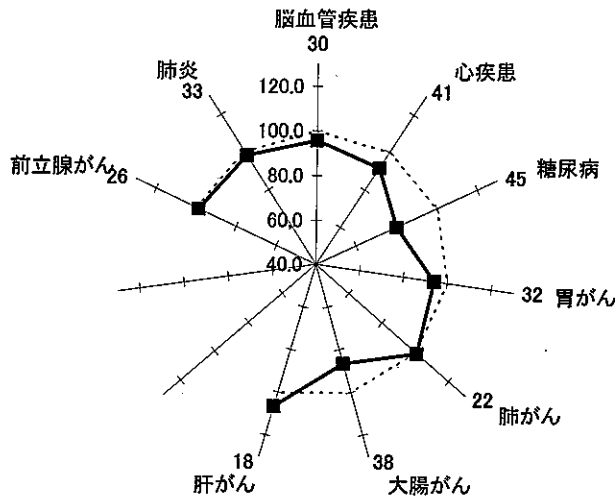
### 平成18年



### 平成17年



### 平成16年



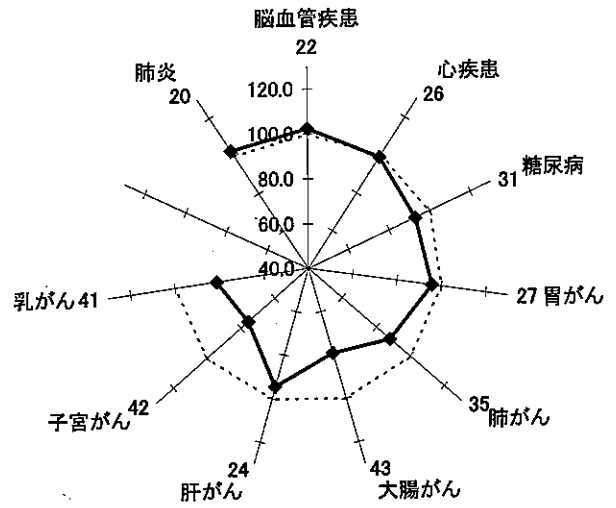
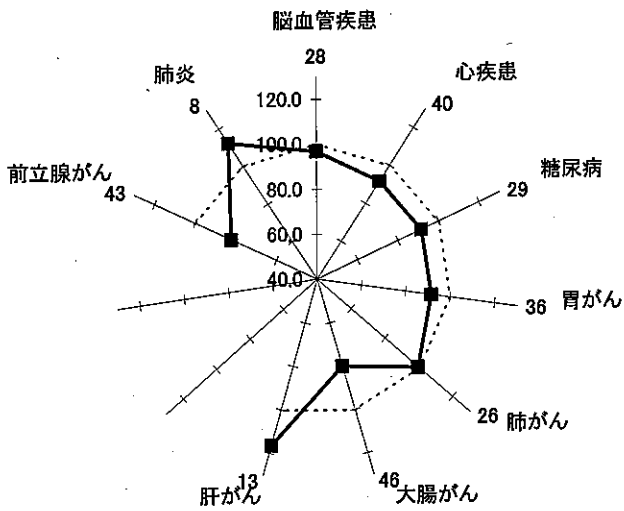
注：グラフ先端の数字は都道府県別の標準化死亡率の順位である。

# 岡山県

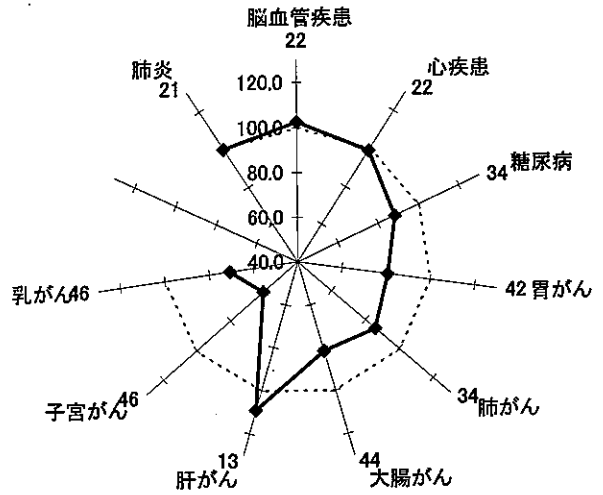
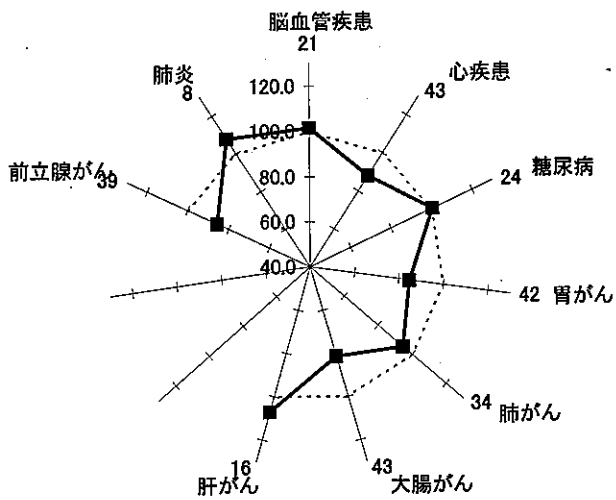
男

女

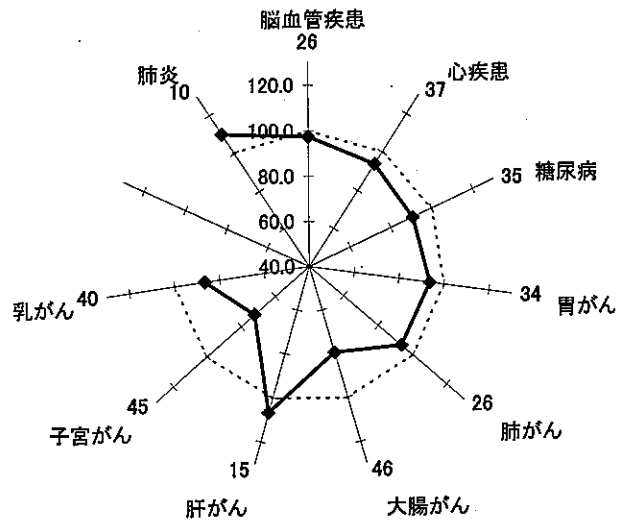
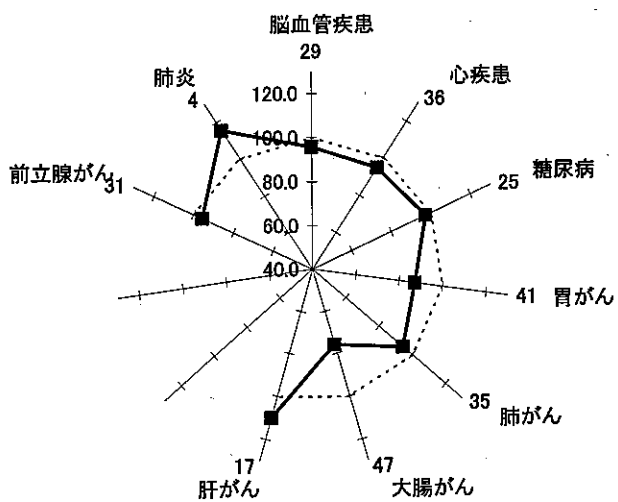
平成18年



平成17年



平成16年



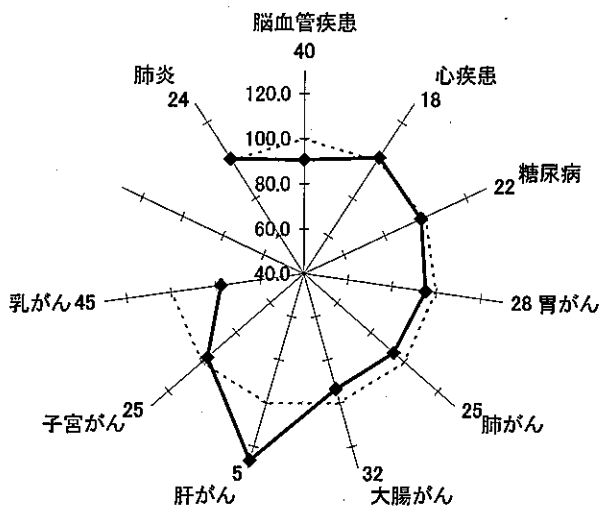
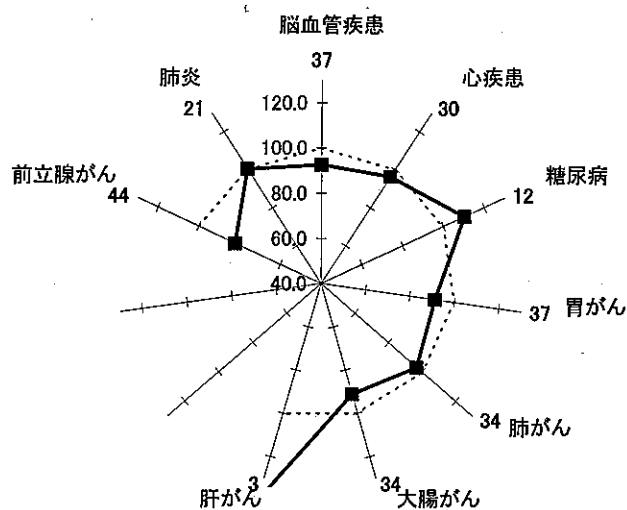
注：グラフ先端の数字は都道府県別の標準化死亡比の順位である。

# 広島県

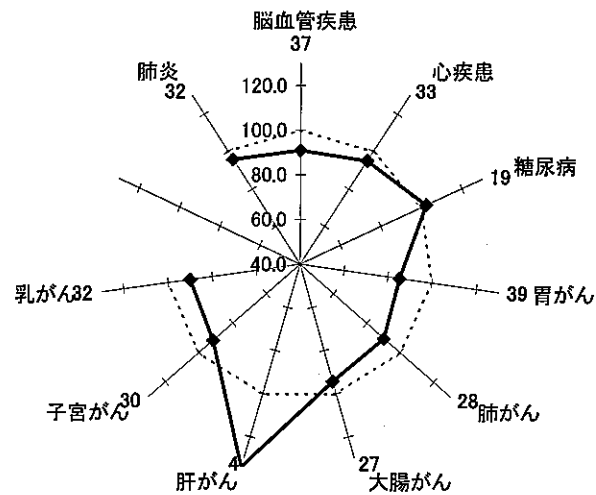
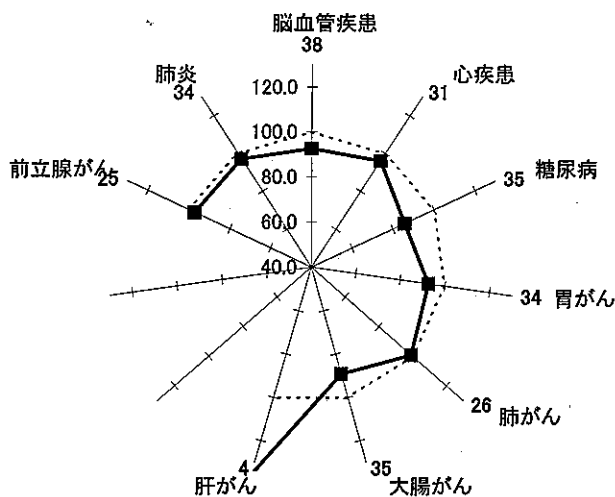
男

女

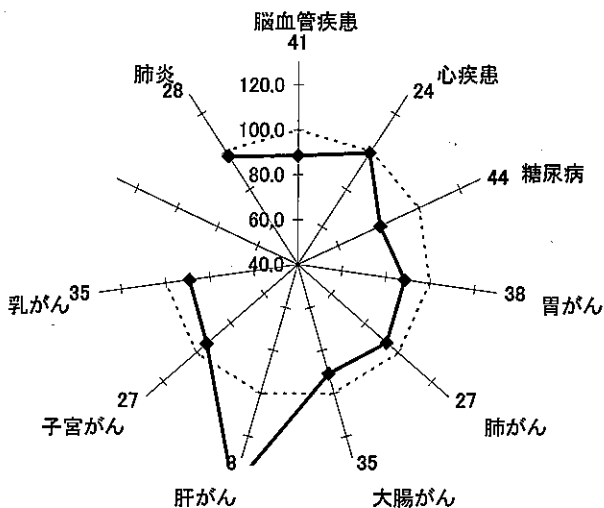
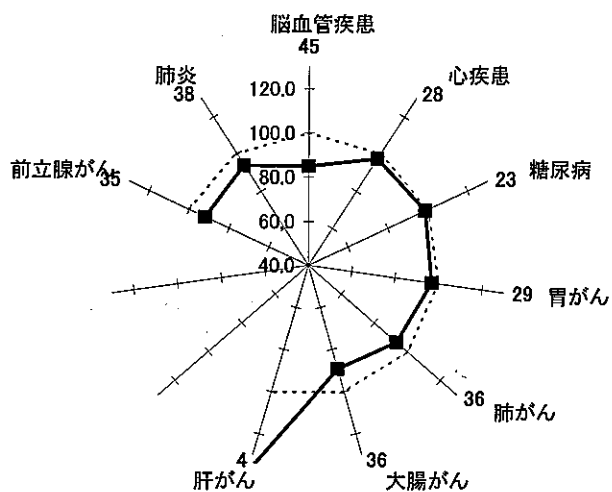
平成18年



平成17年



平成16年



注：グラフ先端の数字は都道府県別の標準化死亡比の順位である。

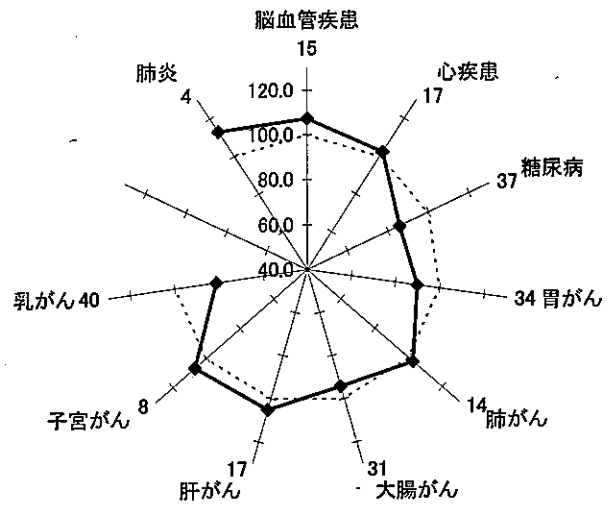
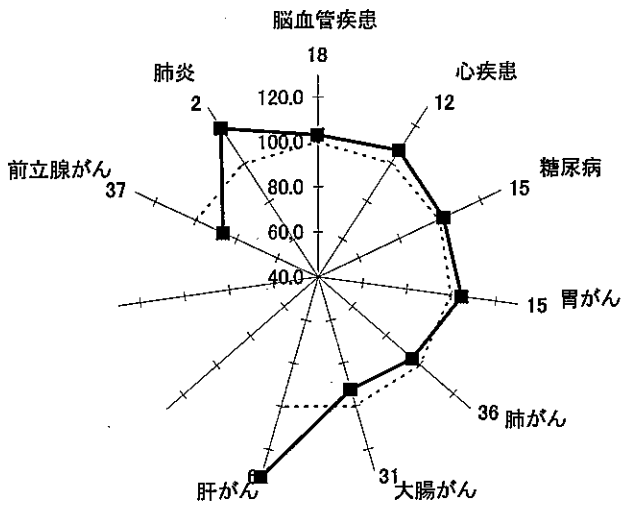


# 山口県

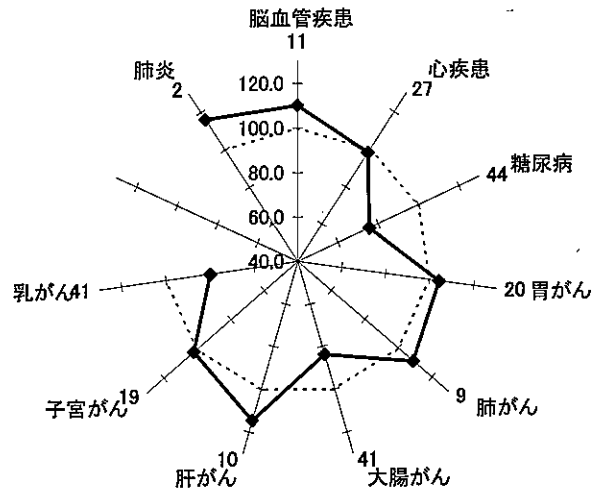
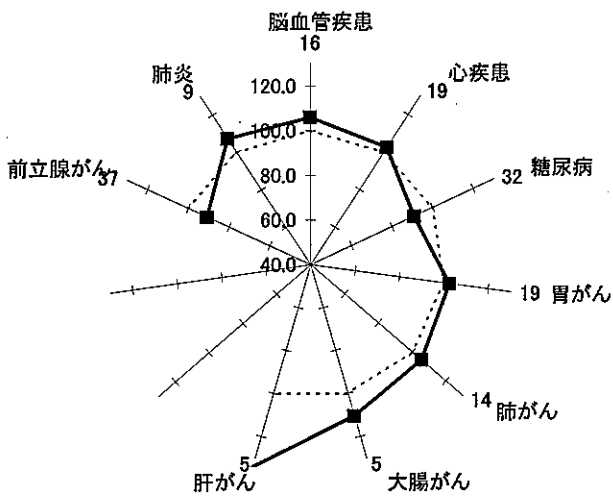
平成18年

男

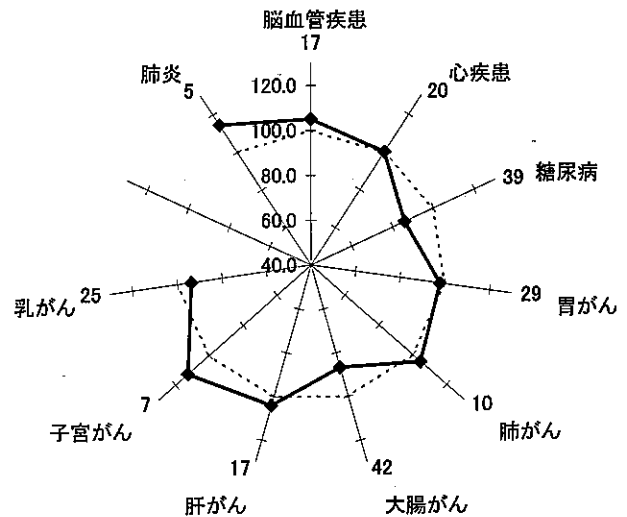
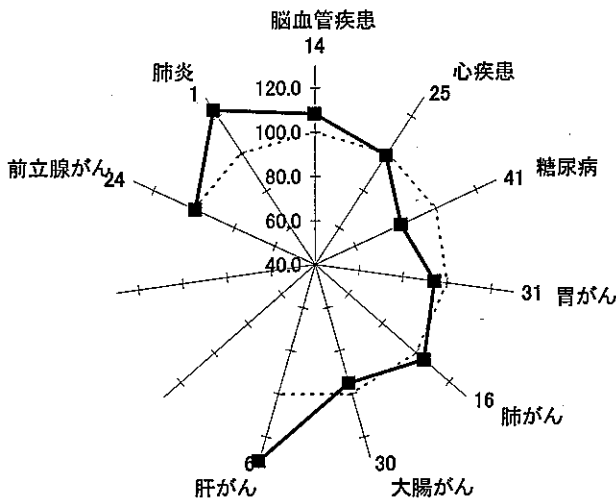
女



平成17年



平成16年



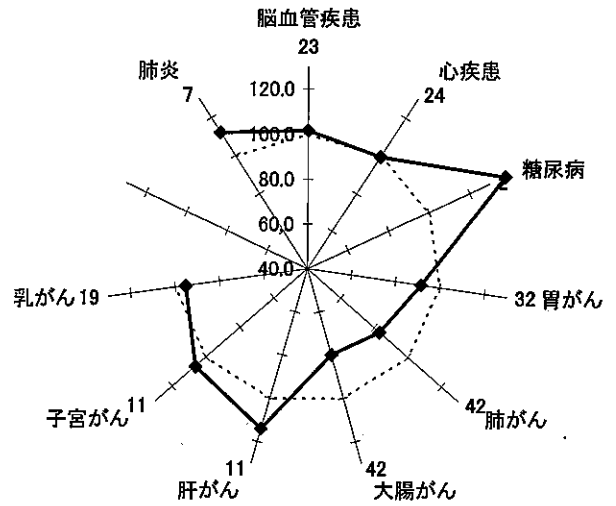
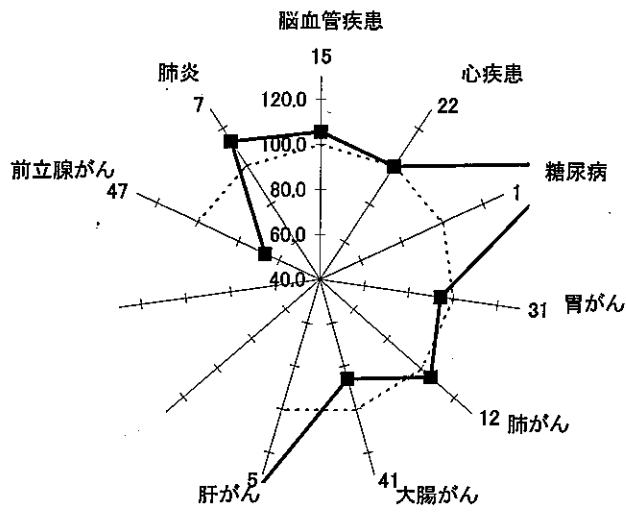
注：グラフ先端の数字は都道府県別の標準化死亡比の順位である。

徳島県

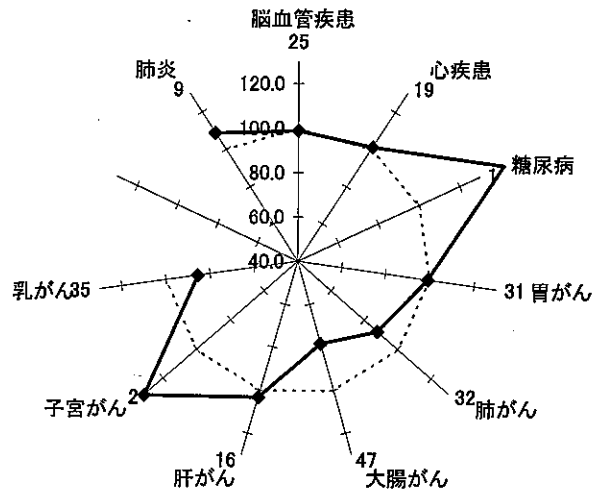
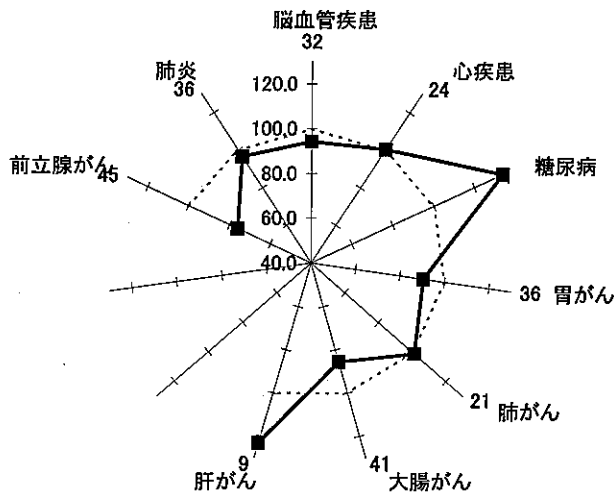
男

女

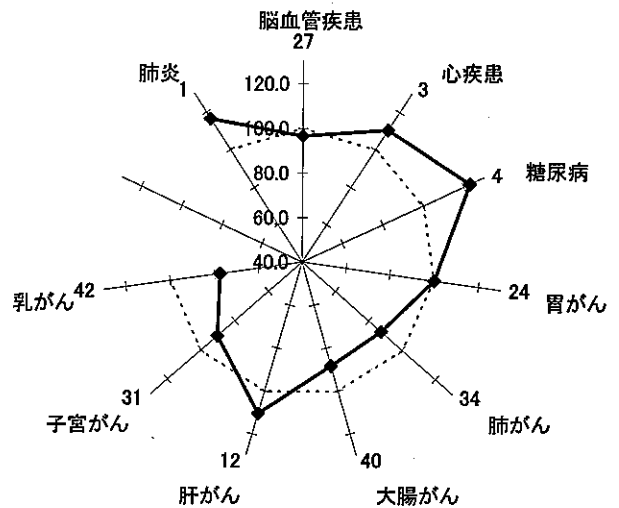
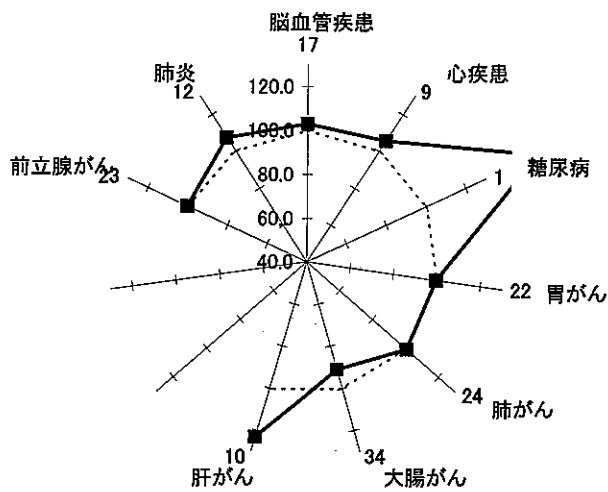
平成18年



平成17年



平成16年



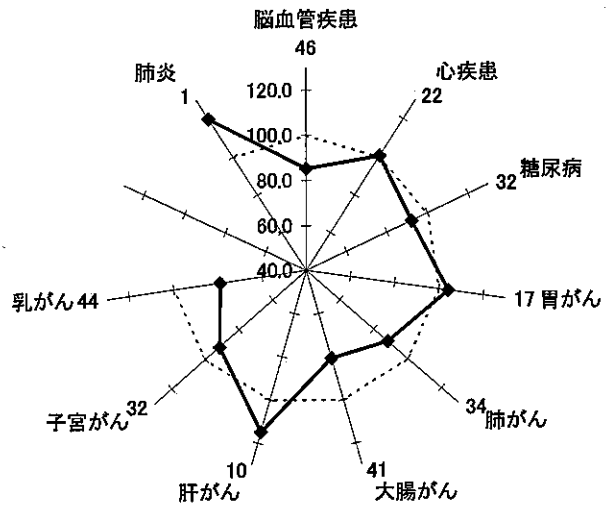
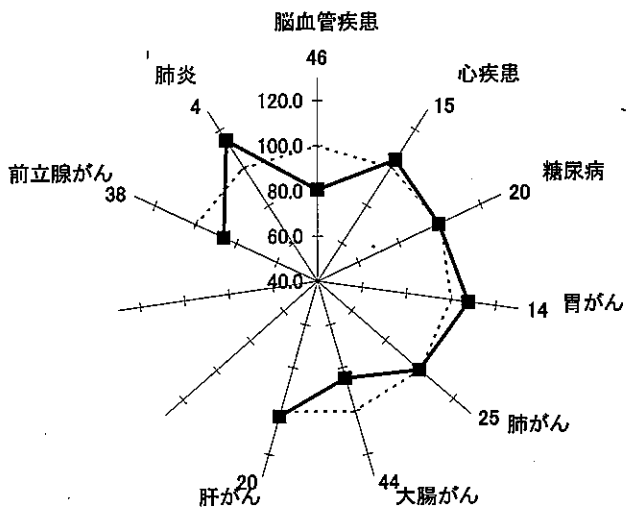
注：グラフ先端の数字は都道府県別の標準化死亡比の順位である。

# 香川県

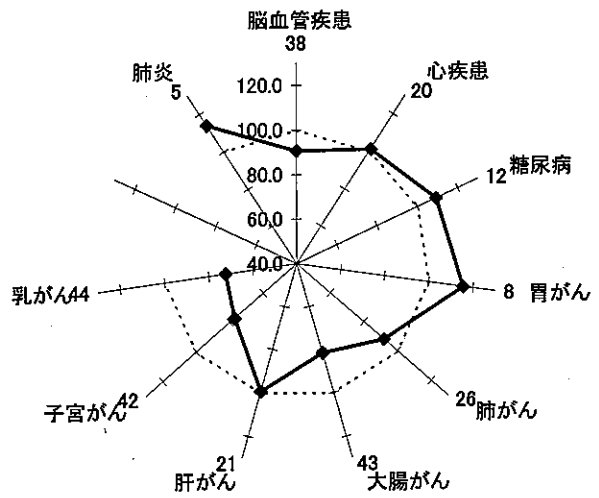
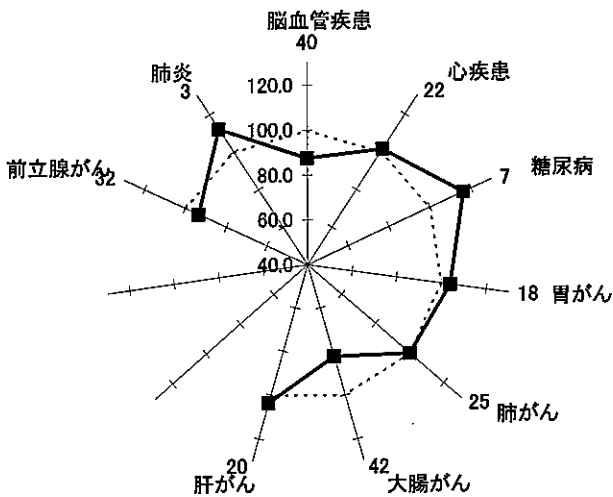
男

女

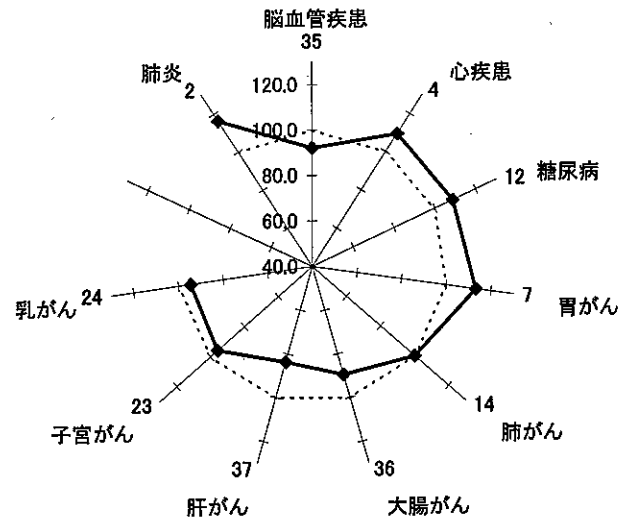
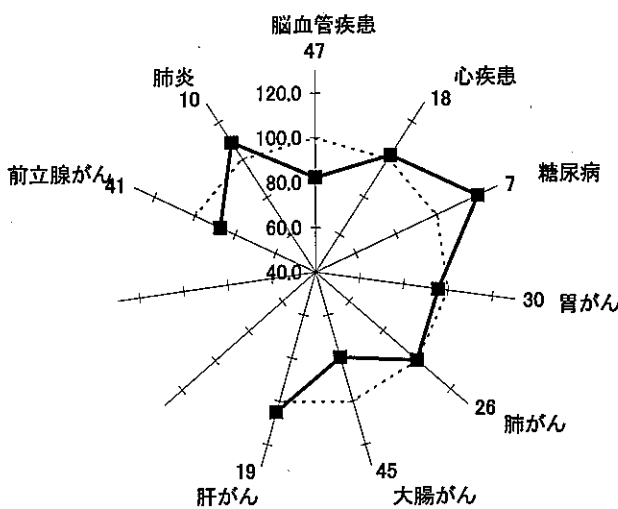
平成18年



平成17年



平成16年



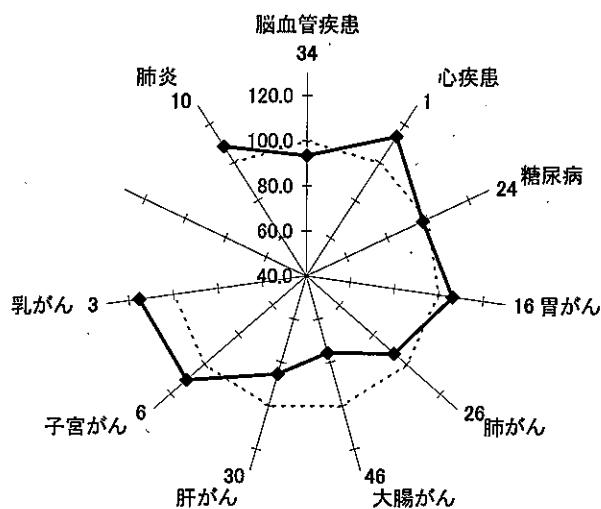
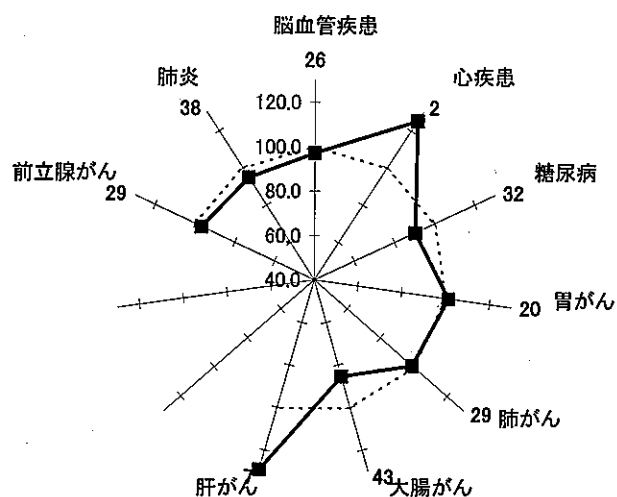
注：グラフ先端の数字は都道府県別の標準化死亡比の順位である。

# 愛媛県

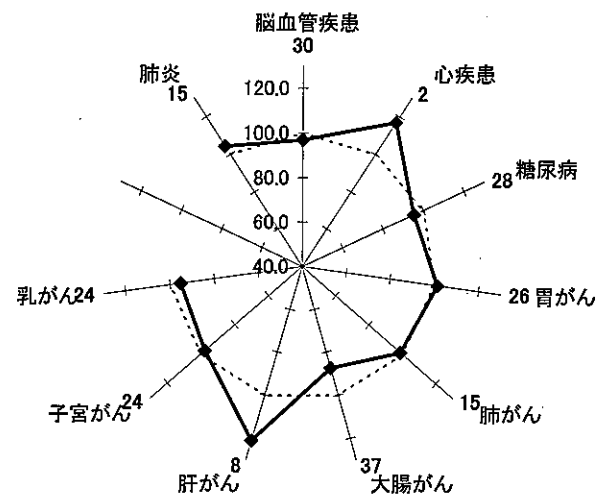
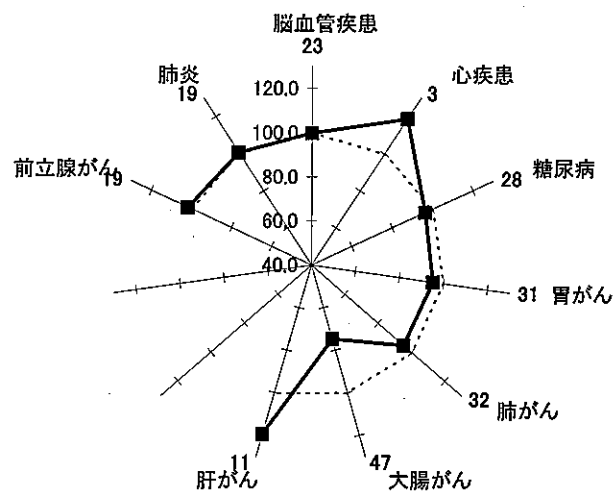
男

女

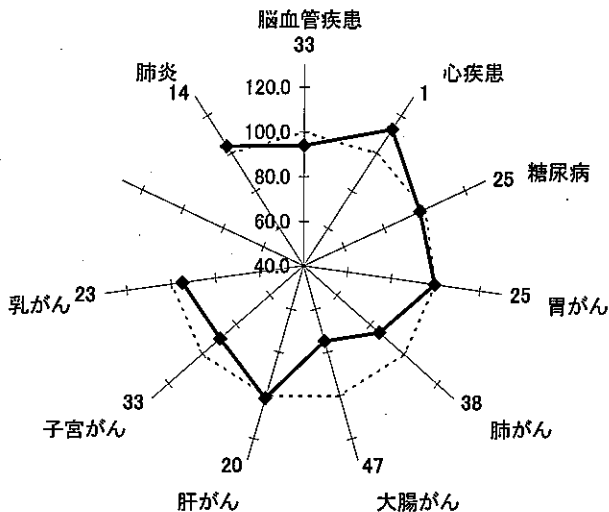
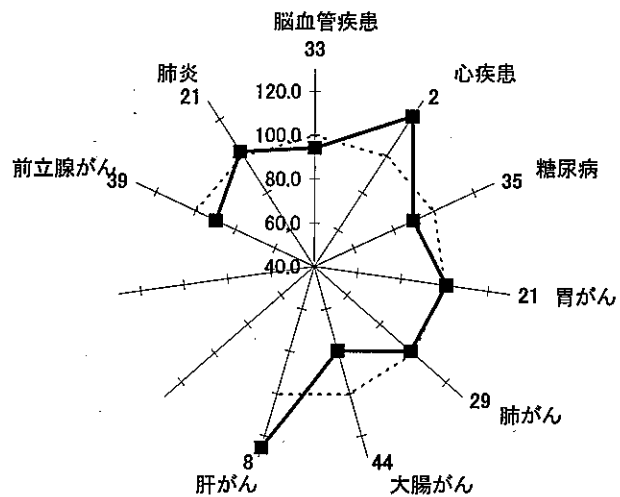
平成18年



平成17年



平成16年

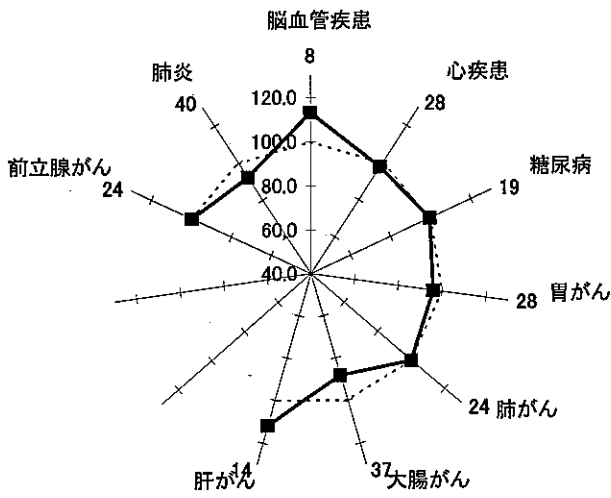


注：グラフ先端の数字は都道府県別の標準化死亡比の順位である。

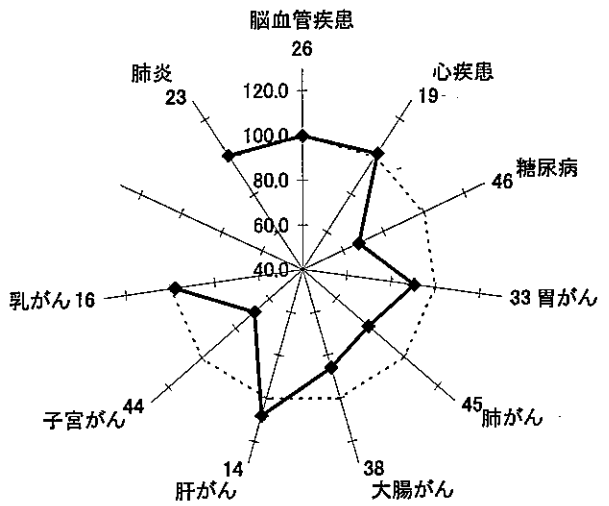
# 高知県

平成18年

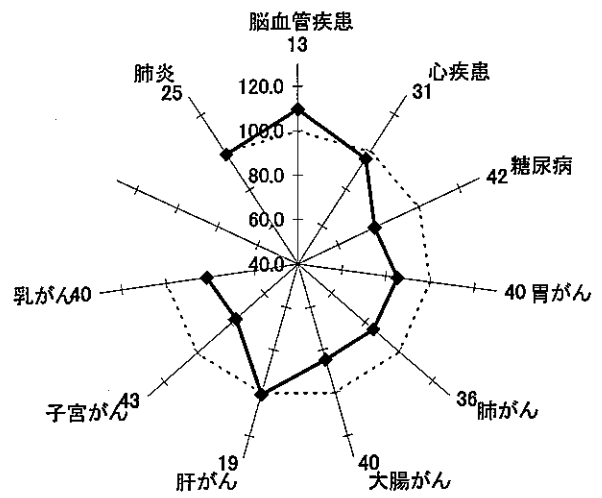
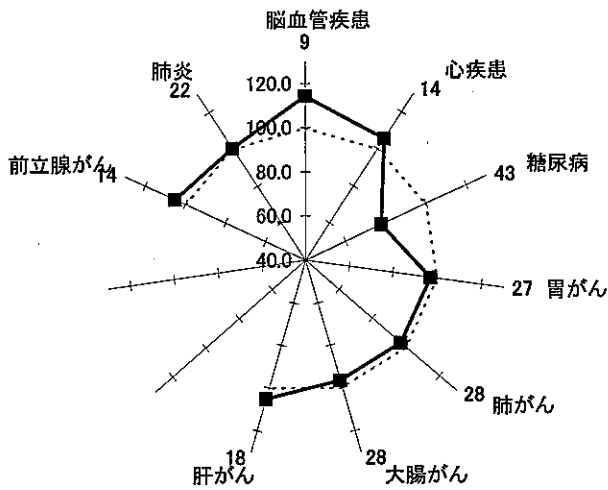
男



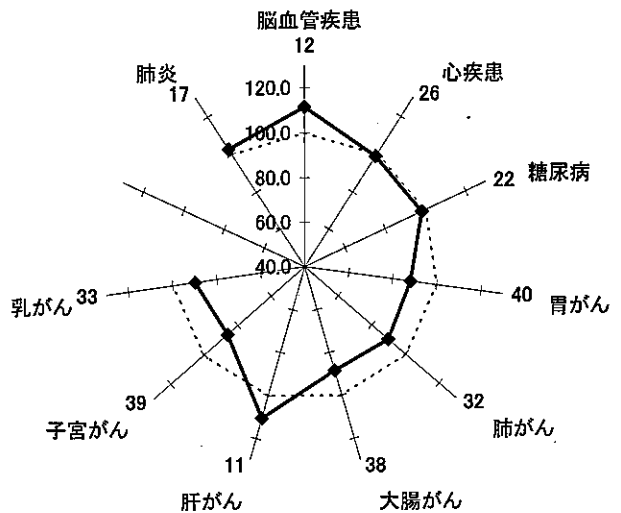
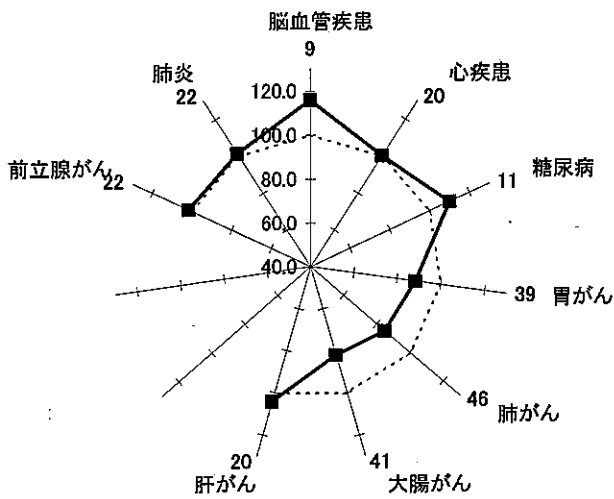
女



平成17年



平成16年



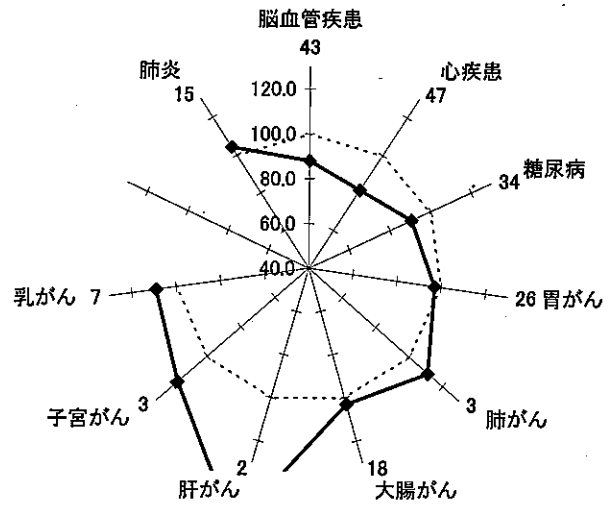
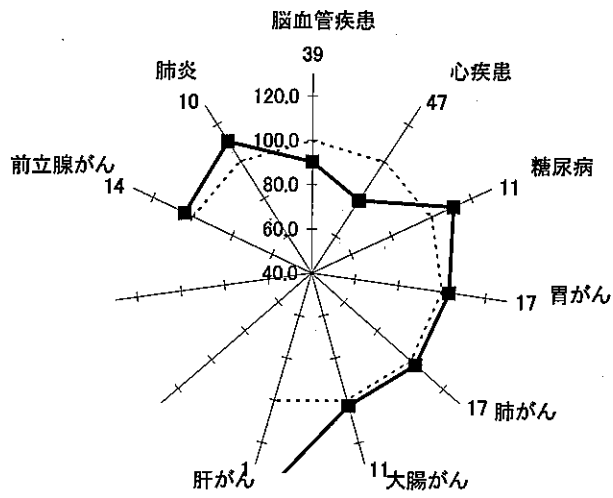
注：グラフ先端の数字は都道府県別の標準化死亡比の順位である。

# 福岡県

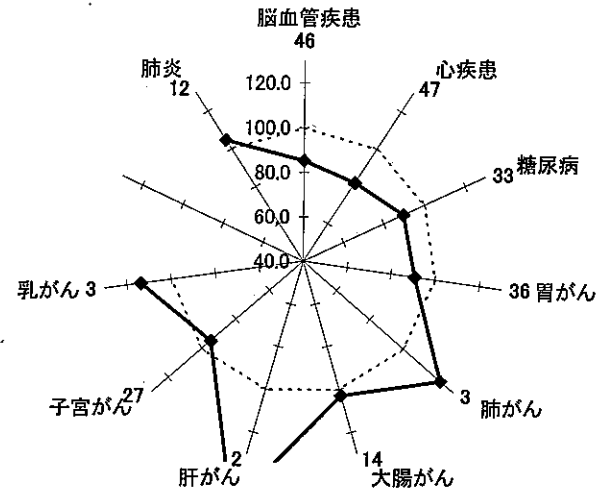
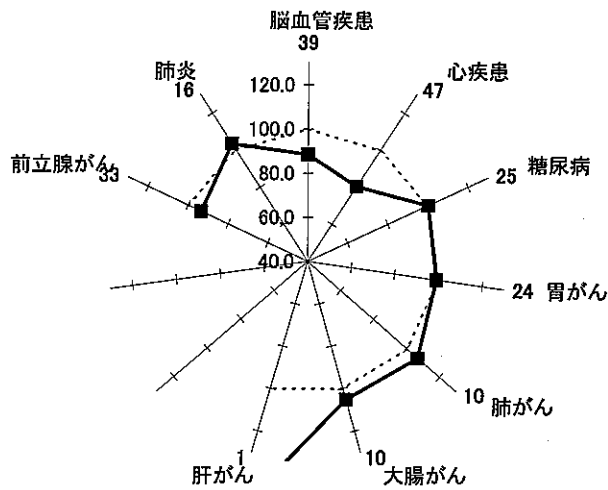
男

女

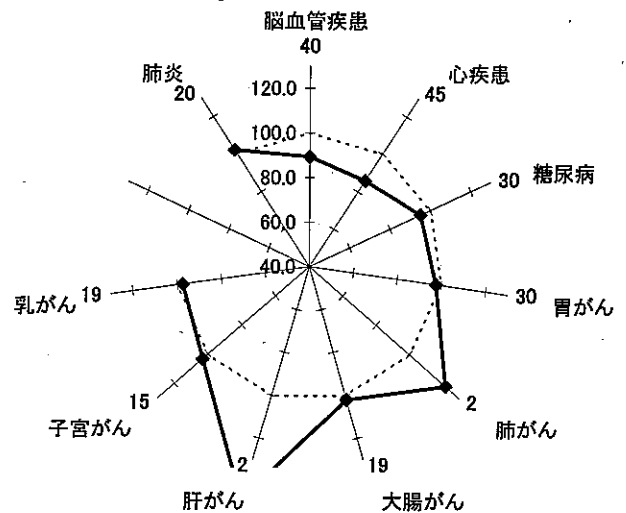
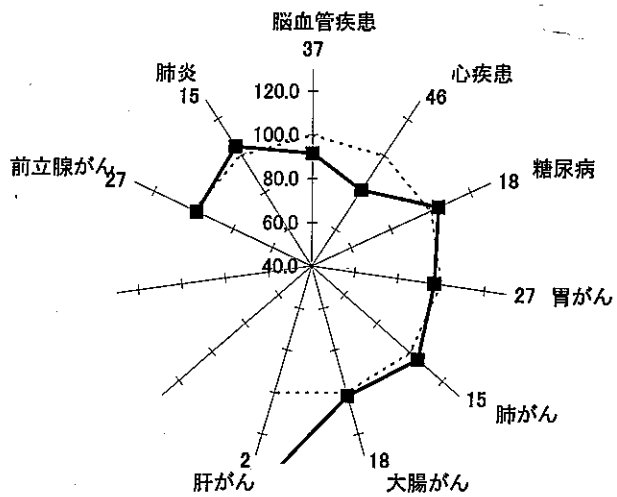
平成18年



平成17年



平成16年



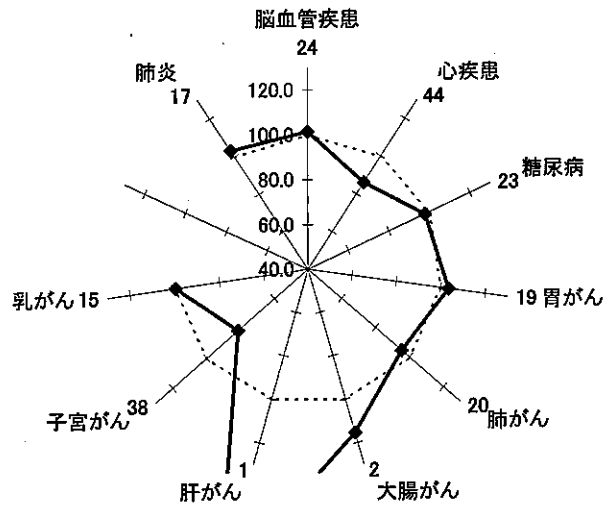
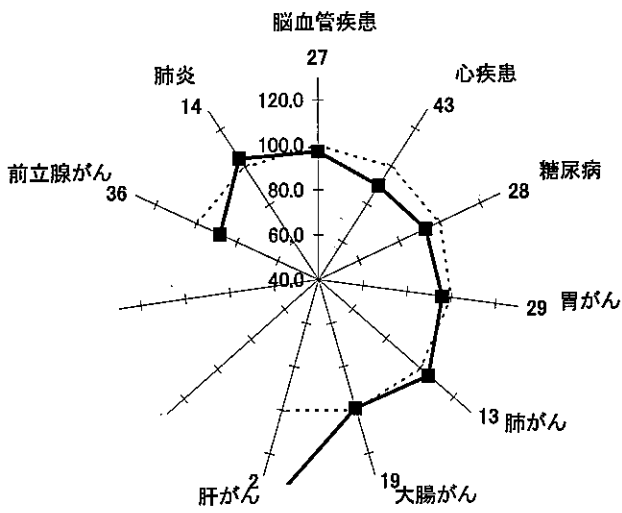
注：グラフ先端の数字は都道府県別の標準化死亡比の順位である。

佐賀県

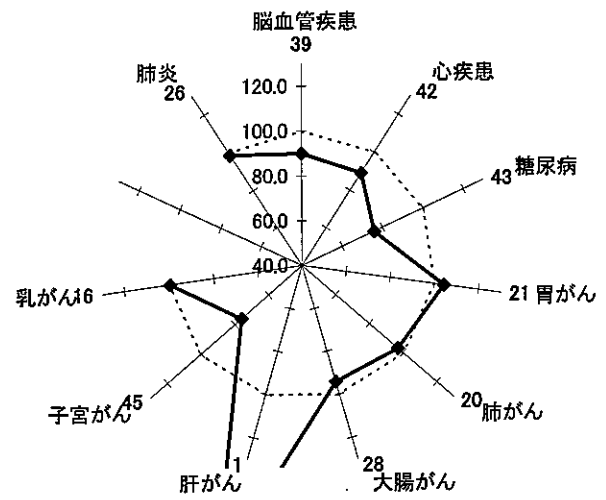
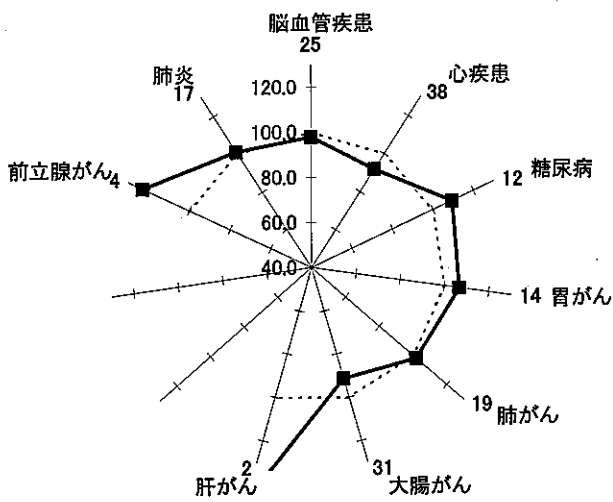
男

女

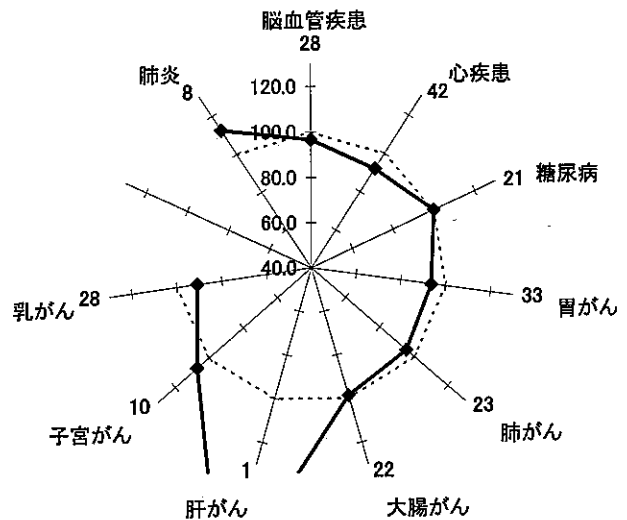
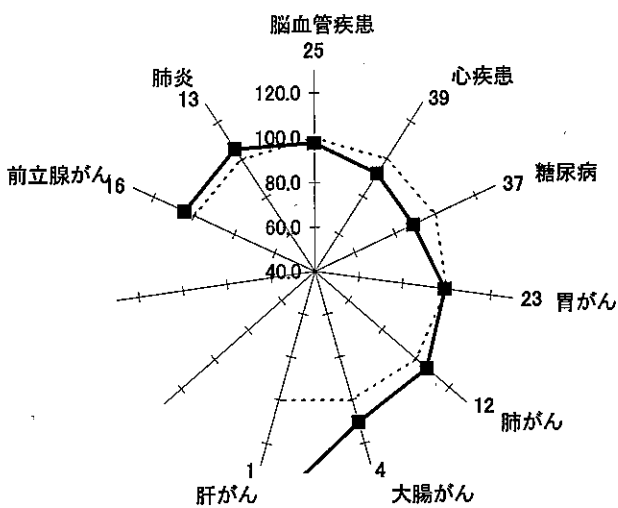
平成18年



平成17年



平成16年



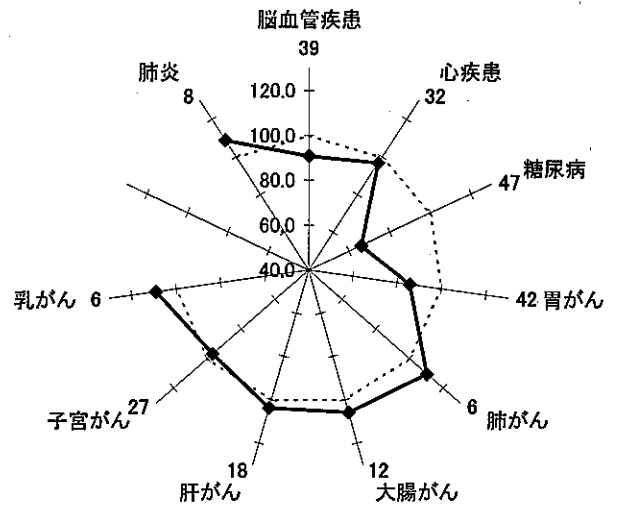
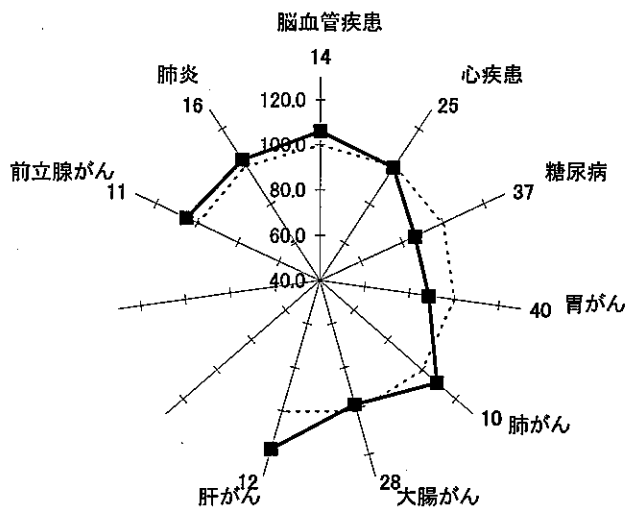
注：グラフ先端の数字は都道府県別の標準化死亡率の順位である。

# 長崎県

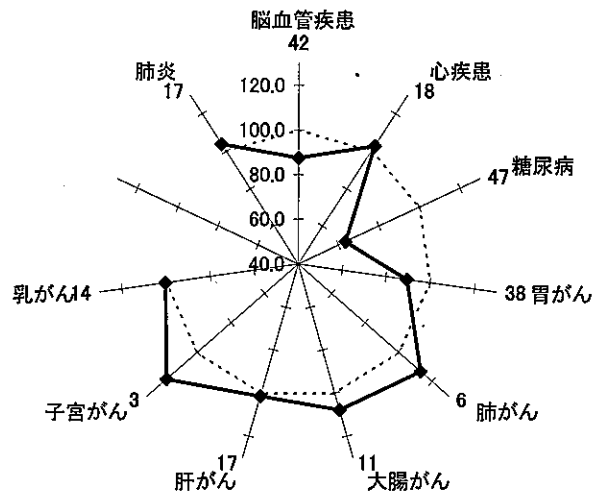
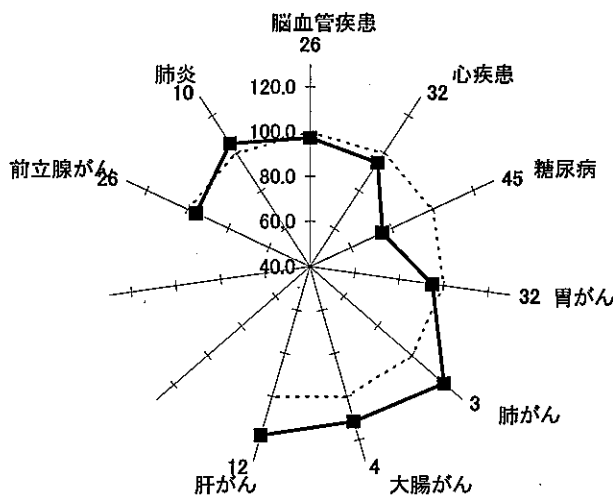
## 男

## 女

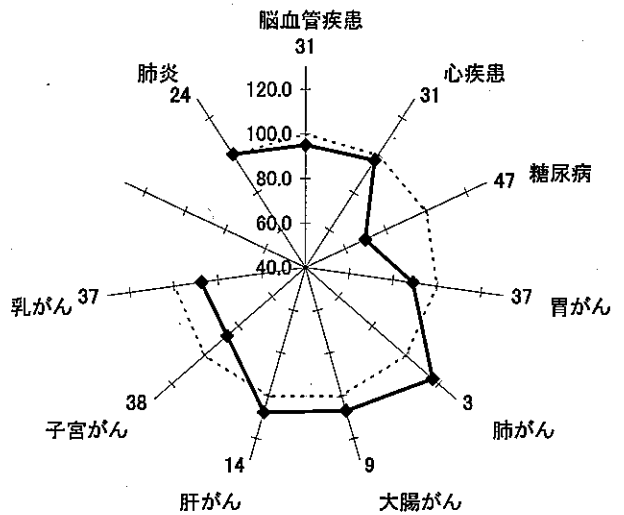
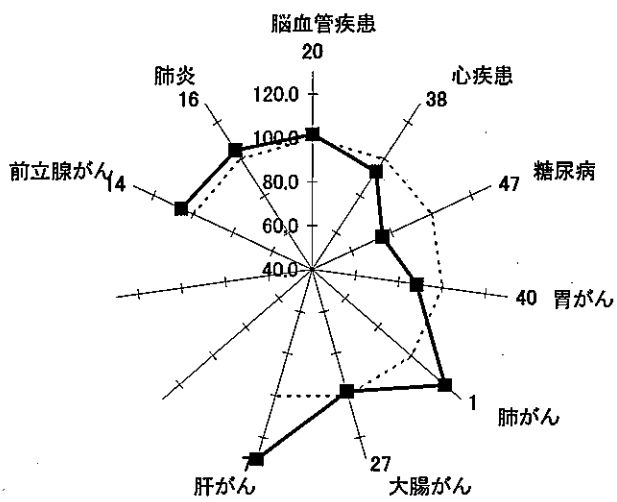
### 平成18年



### 平成17年



### 平成16年



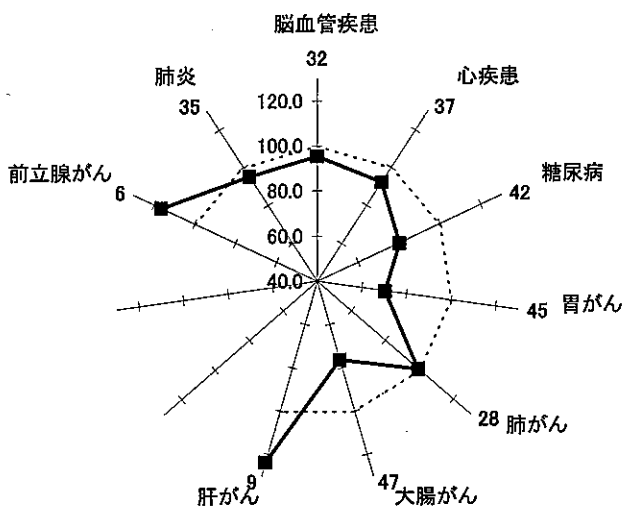
注：グラフ先端の数字は都道府県別の標準化死亡比の順位である。



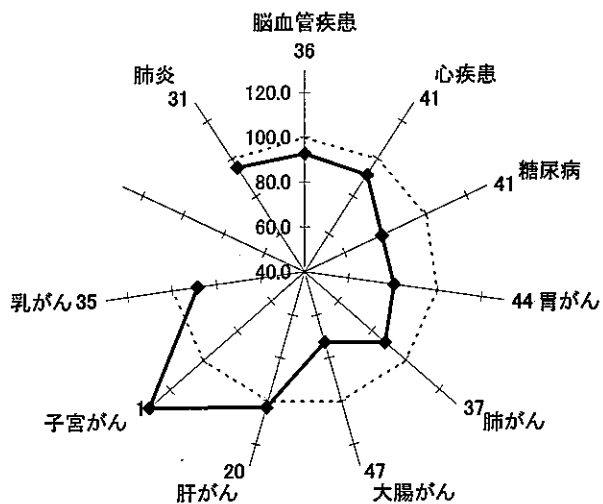
# 熊本県

平成18年

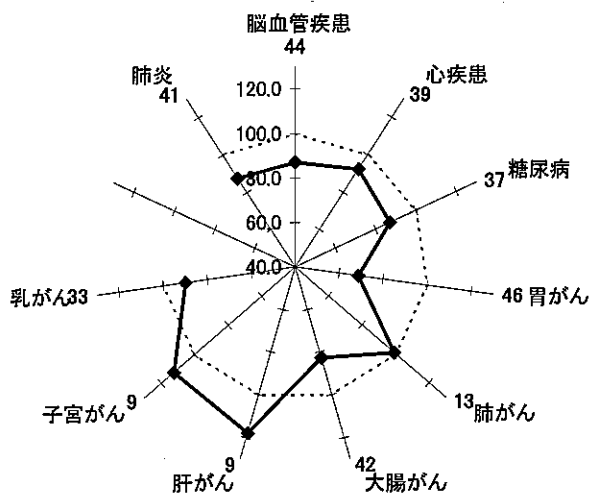
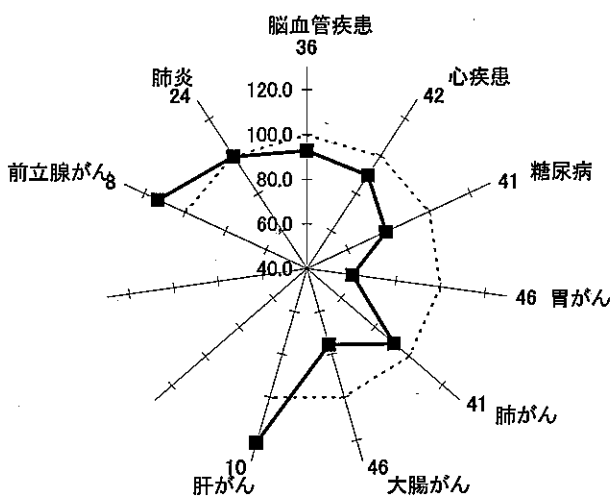
男



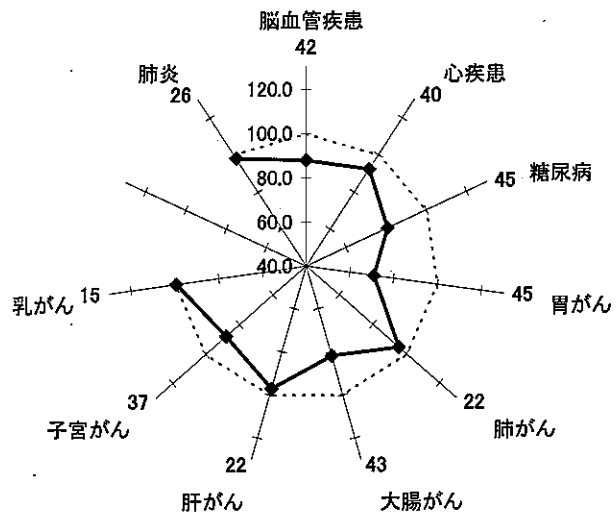
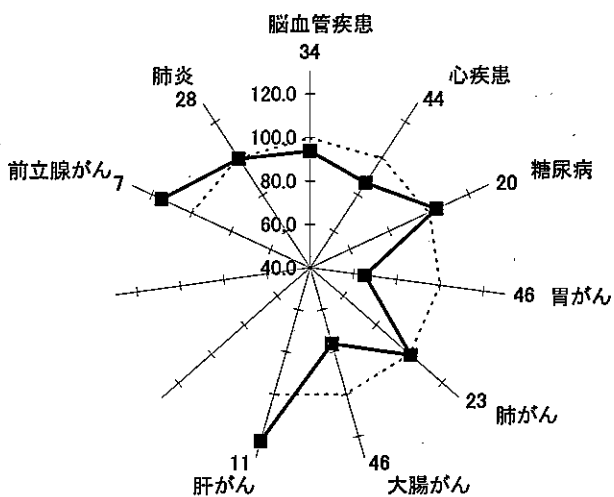
女



平成17年



平成16年

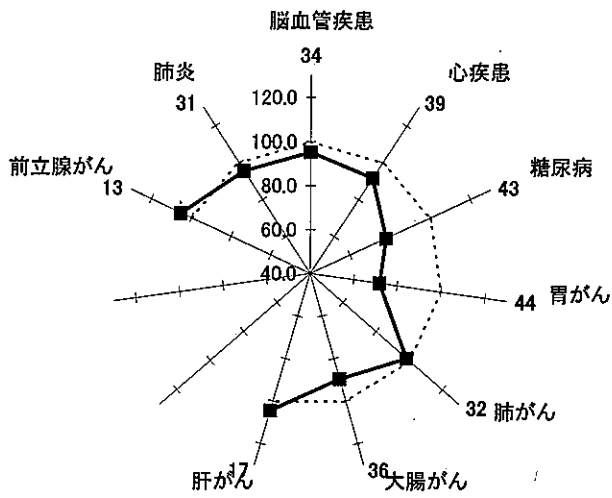


注：グラフ先端の数字は都道府県別の標準化死亡比の順位である。

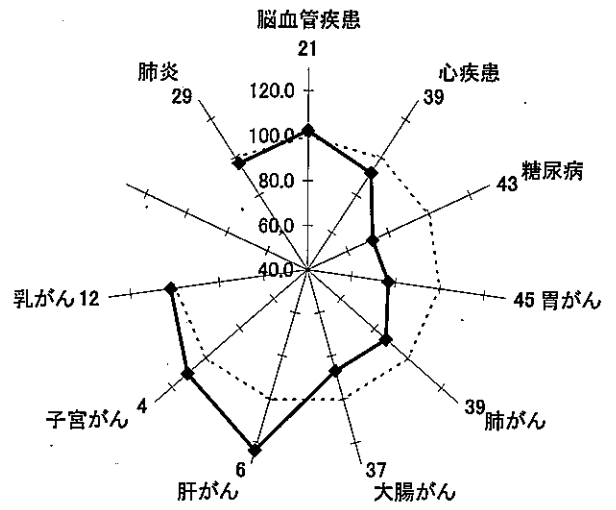
# 大分県

## 男

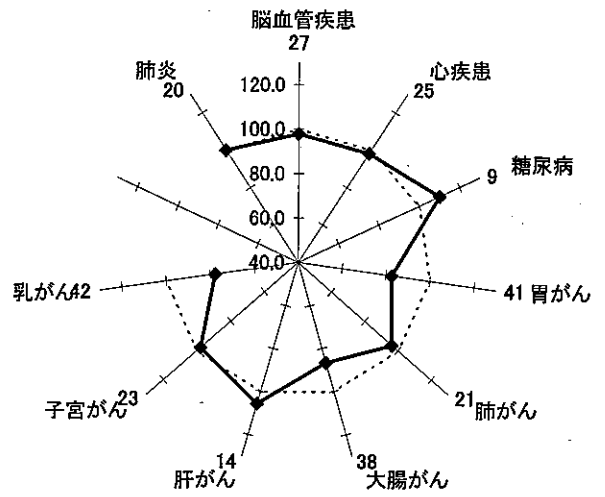
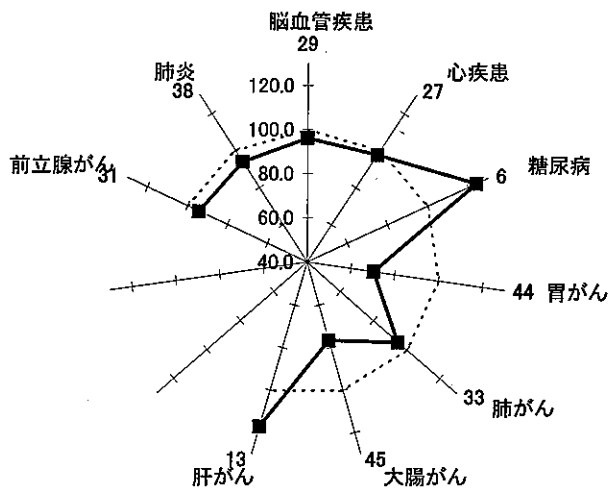
### 平成18年



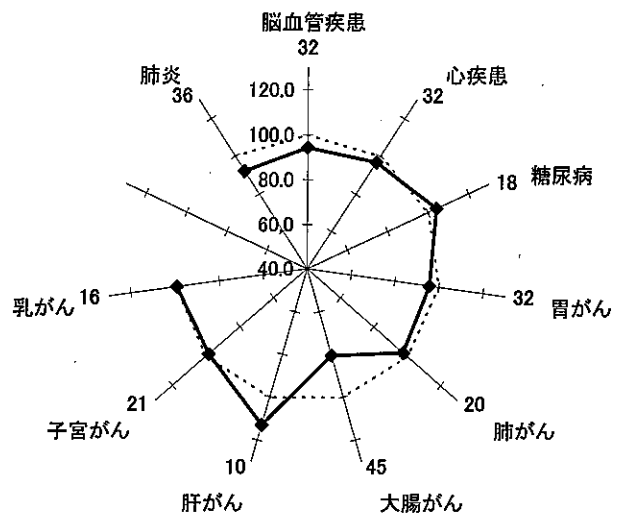
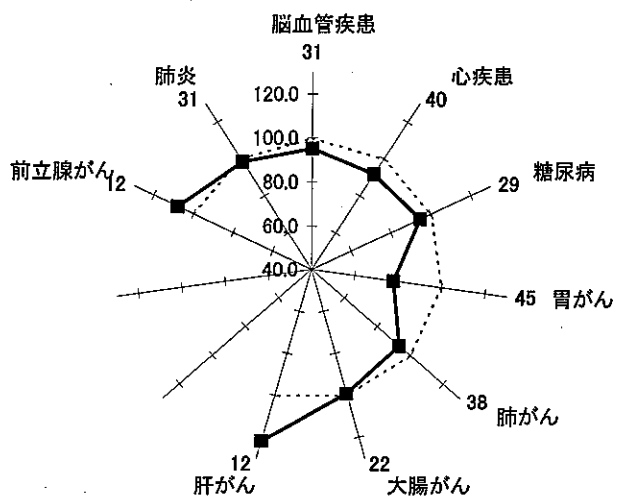
## 女



### 平成17年



### 平成16年



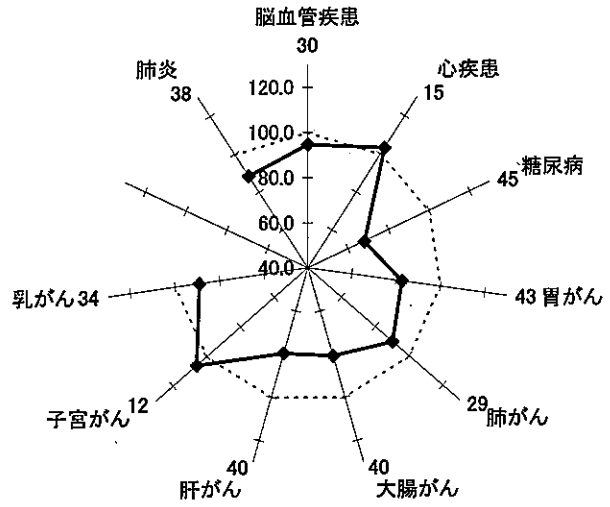
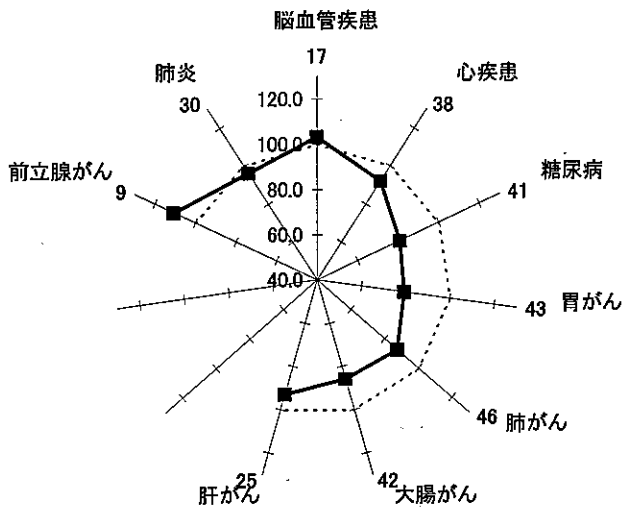
注：グラフ先端の数字は都道府県別の標準化死亡比の順位である。

# 宮崎県

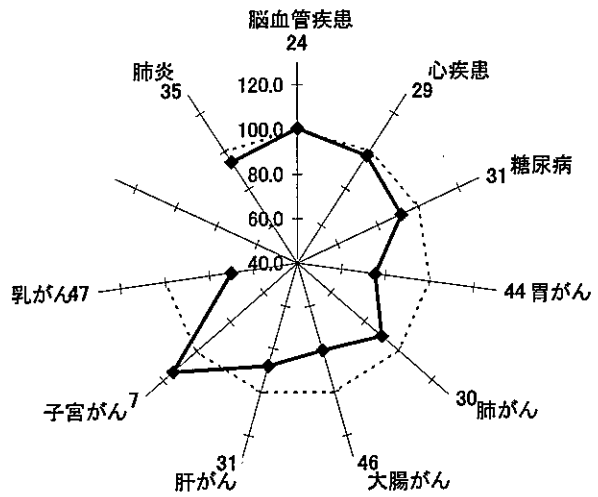
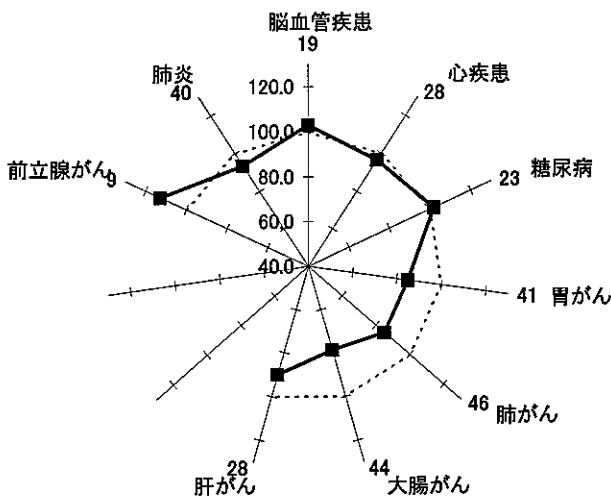
## 男

### 平成18年

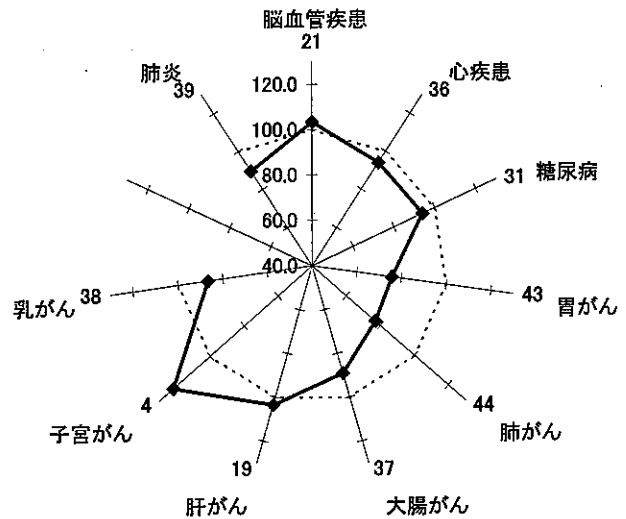
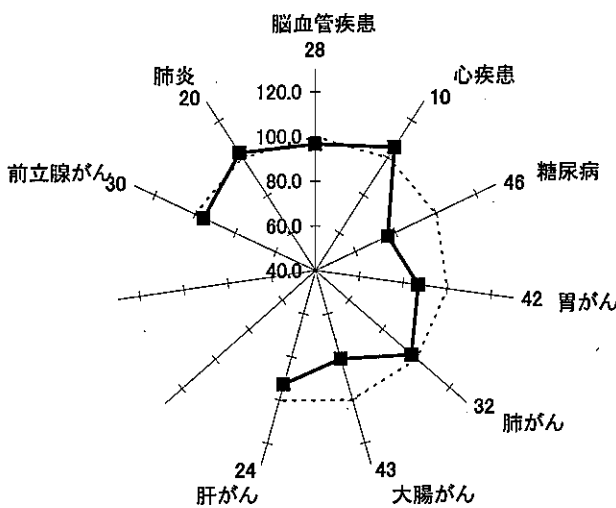
## 女



### 平成17年



### 平成16年



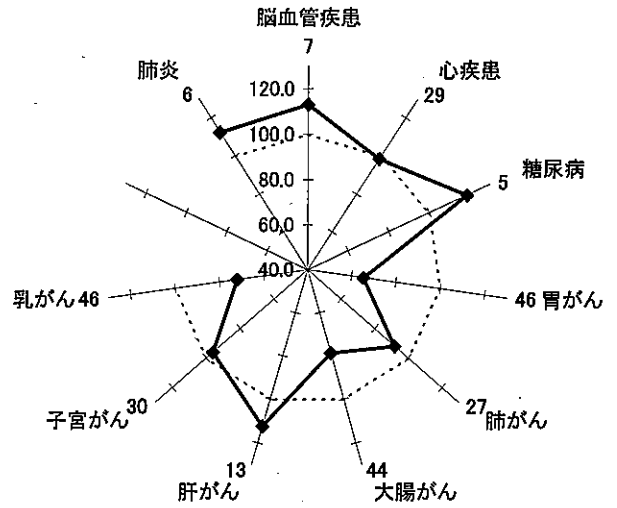
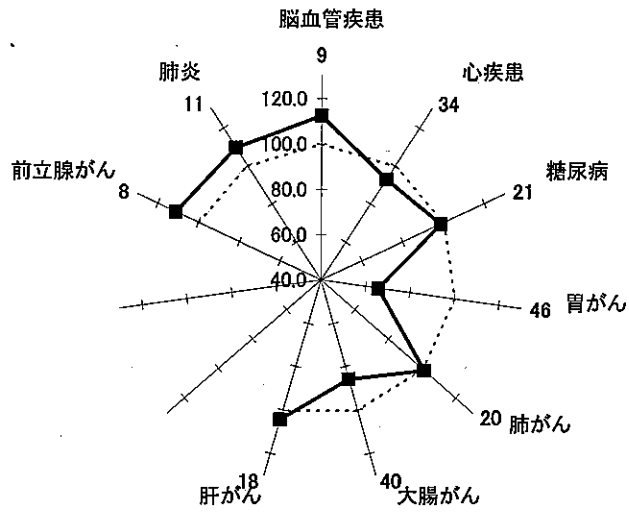
注：グラフ先端の数字は都道府県別の標準化死亡比の順位である。

# 鹿児島県

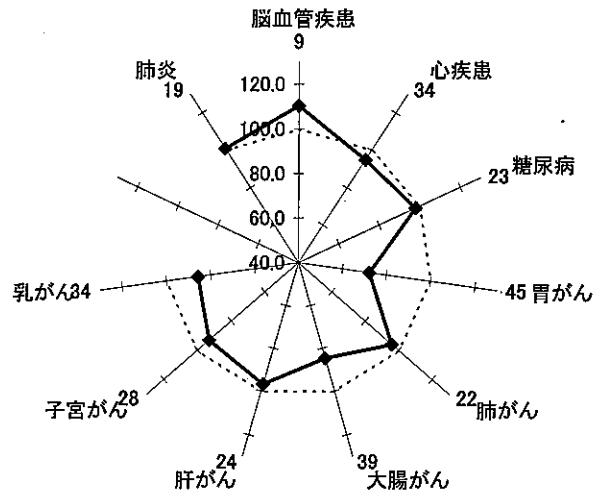
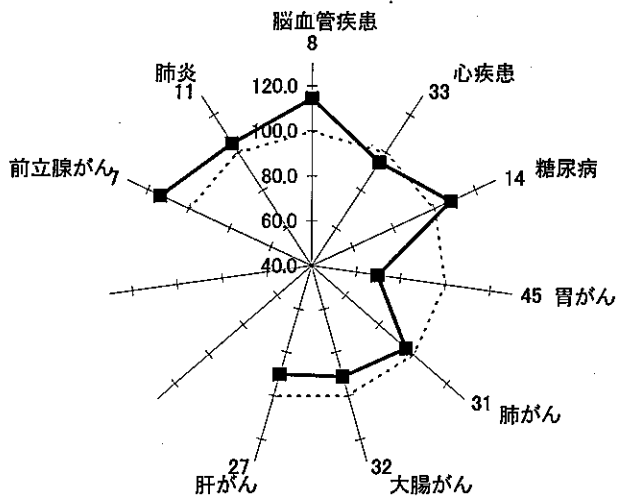
男

女

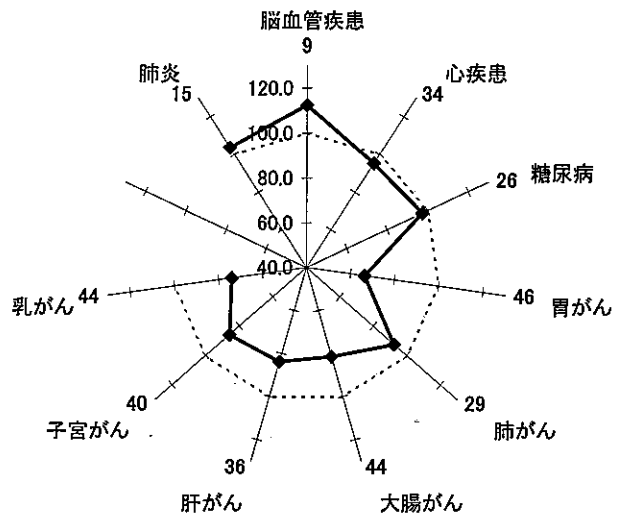
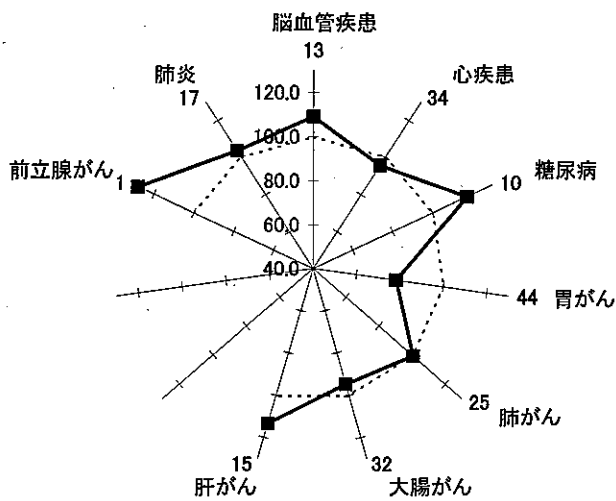
平成18年



平成17年



平成16年



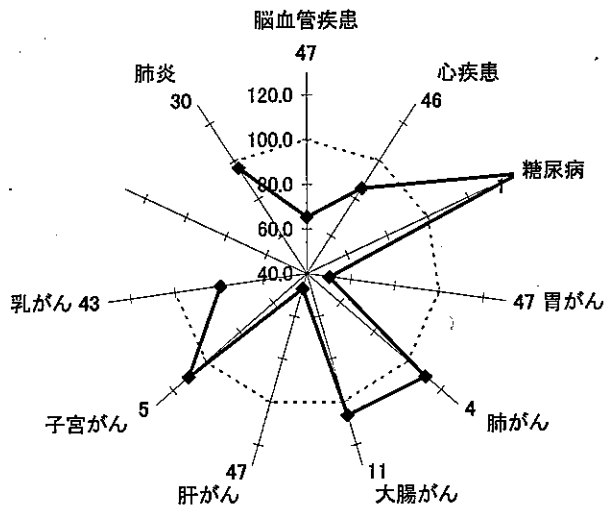
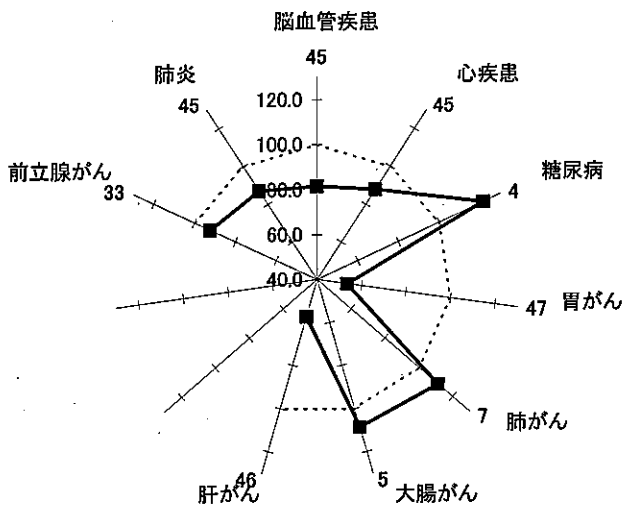
注：グラフ先端の数字は都道府県別の標準化死亡比の順位である。

# 沖縄県

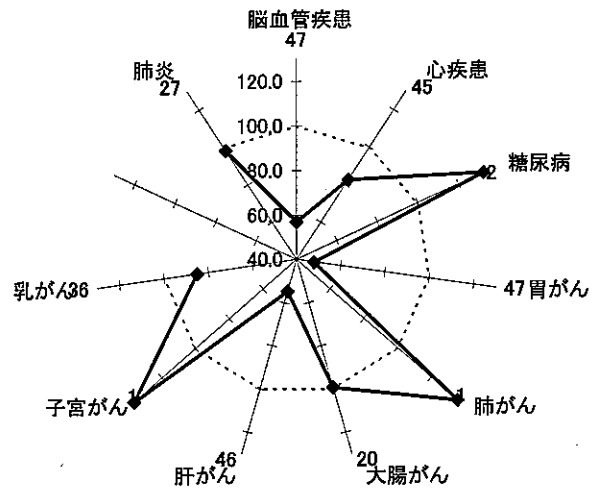
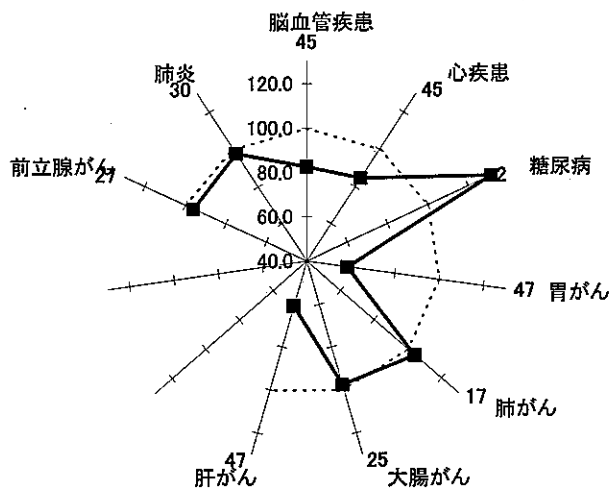
男

女

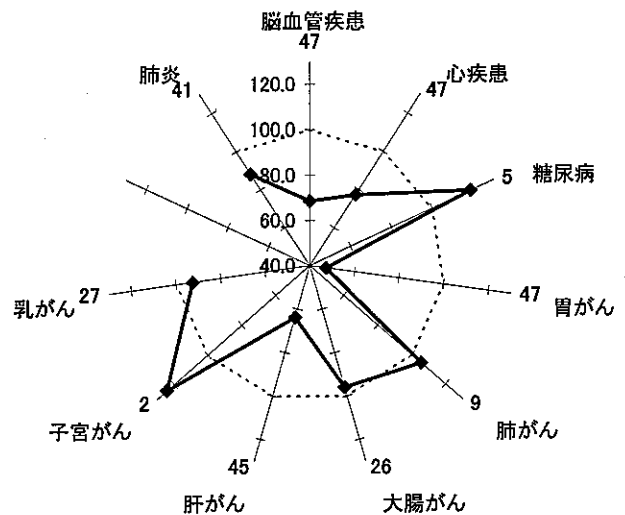
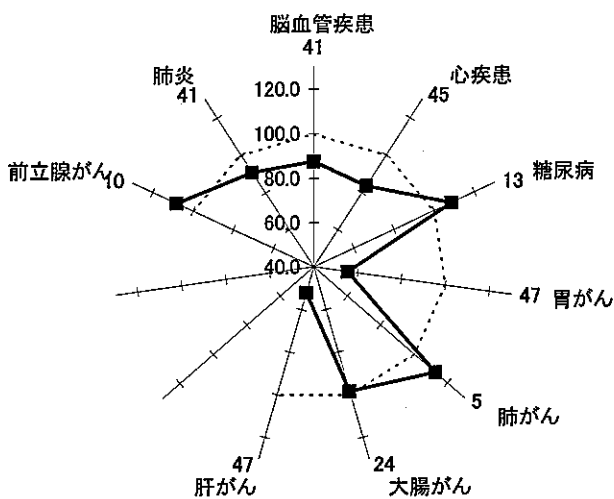
平成18年



平成17年



平成16年



注：グラフ先端の数字は都道府県別の標準化死亡比の順位である。